

Annual Report of

YAMANASHI
INDUSTRIAL
TECHNOLOGY
CENTER



山梨県産業技術センター 年報

令和4年度

2023

山梨県産業技術センター



はじめに

最近、街中でもマスクを着用しない人が多く見られるようになり、コンサート会場でも「声出し」が解禁となるなど、長く続いたコロナ禍もようやく回復基調に移り、社会全体を覆っていた閉塞感が徐々に緩和されていることを実感しています。

とくに外国人観光客が一気に増加し、オーバーツーリズムへの心配はあるものの、旅行関連業やサービス業などが経済全般の活性化を牽引していくことが期待されます。

しかしながら、長期にわたる円安傾向や国際情勢の不安定さを背景にガソリン価格に象徴される異常ともいえる諸物価の高騰、慢性的な人手不足、事業承継への懸念など、中小企業を取り巻く環境は依然として先行き不透明な状況にあります。

こうしたなか、ものづくり産業においては、自らの技術に磨きを掛けつつ、新製品開発や新分野進出へのチャレンジ、新たな連携関係の構築などにより、経営革新を進めていくことが非常に重要であると思われます。私ども産業技術センターも、技術面を中心としたサポートを通して県内企業の皆さまの経営革新を支援して参りたいと考えており、引き続き皆さまのご期待に応えられるよう機能強化に努めて参ります。

さて、当センターでは、第1期中期運営計画が令和4年度で終了し、令和5年度から8年度までの第2期中期運営計画がスタートいたしました。第1期の最終年度となる令和4年度を顧みますと、甲府技術支援センターにおいては、イノベーション支援棟の開所や、国際標準規格に準拠した「電波暗室」、多種多様な製品開発に活用できる「フルカラー3Dプリンタ」の整備、また、富士技術支援センターにおいても、研究開発から製品化までの一貫した支援を行う新棟の建設準備を鋭意進めており、コロナ禍ではありましたが甲府・富士ともに施設や設備の充実を図ることができました。

第2期中期運営計画では、第1期計画を継承しながら、コロナ禍による事業環境の急激な変化、脱炭素化・水素利用社会への対応、DXへの技術的支援やスタートアップ支援の推進など、本県が重点的に取り組むべき成長性の高い分野への支援を強力に進めることとしています。

こうした新たな課題に対応するため、職員の資質向上を図りながら、センター内の各部門の連携や外部の支援機関との連携の更なる強化に務めて参ります。

本年報は、令和4年度における当センターの業務成果をまとめたものです。

内容は多岐にわたりますが、どうかご高覧いただき、センターへのご理解を一層深め、更なる活用にお役立ていただければ幸いです。

令和5年9月吉日

山梨県産業技術センター
所長 丹沢 竜

目次

山梨県産業技術センターの概要	1
1. 沿革	1
2. 土地・建物	1
3. 組織と業務（令和5年3月31日現在）	3
4. 職員名簿（令和5年3月31日現在）	4
5. 職員配置（令和5年3月31日現在）	5
6. 令和4年度決算	6
7. 新設機器・設備	7
8. 山梨県産業技術センター 中期運営計画	9
9. 令和4年度業務体系	11
10. 令和4年度業務実績一覧表	14
運営	15
1. 運営会議	15
(1) 会議の概要	15
(2) 構成員（委員）名簿	15
2. 試験・研究課題等の外部評価会議	16
(1) 評価に対する考え方	16
(2) 評価対象課題	16
(3) 評価結果	17
(4) 委員名簿	17
3. 業界との意見交換	18
技術支援業務	19
1. 技術相談、現地技術支援の担当別実績	19
2. 中小企業重点支援事業	19
(1) テーマ一覧	19
(2) 担当別実績	19
3. 客員研究員による支援	20
4. 依頼試験・設備利用等	21
(1) 実績一覧	21
(2) 依頼試験の内訳	21
(3) 依頼加工等の内訳	21
(4) 設備使用の内訳	21
(5) 試験成績証明書交付の内訳	21
(6) その他（酒母）	22

(7)設備利用研修会	22
(8)設備利用研修（個別）	22
5. 研究会への支援	23
6. やまなしテキスタイルブランド確立強化支援事業	24
研究業務	25
1. 産学官連携研究の促進	25
(1)研究の形態	25
(2)研究テーマ	25
2. 産業財産権の取得状況	31
(1)産業財産権（県単独）	31
(2)産業財産権（共同出願）	32
(3)産業財産権（国際特許）	33
(4)産業財産権出願中（県単独）	33
(5)産業財産権出願中（共同出願）	33
3. 課題対応受託研究	35
4. 業績発表	35
(1)口頭発表（学会等）	35
(2)口頭発表（その他）	37
(3)ポスター発表（学会等）	37
(4)学会誌掲載	38
(5)専門誌等掲載	39
人材育成業務	40
1. 出前技術講座	40
(1)講座一覧	40
(2)担当別実績	42
2. ものづくり人材育成研修	43
(1)通年	43
(2)担当別実績	44
3. 県産ワイン・日本酒品質強化支援事業	44
4. 講習会・研修会	44
(1)講座一覧	44
(2)担当別実績	48
5. 技術者研修	48
(1)テーマ一覧	48
(2)担当別実績	49
6. インターンシップ研修	49
7. その他	49

情報提供業務.....	50
1. 研究成果発表	50
2. 刊行物の発行	50
3. センター利用の手引きおよびメールマガジンの発行.....	50
4. その他	51
技術交流	52
1. 研究機関連絡会議	52
2. 学会等の会議	53
3. 職員派遣	54
4. その他会議	59
報道関係	64
職員の資質向上.....	66
1. 派遣研修	66
2. その他研修	67
学会・協会等からの表彰.....	70
加入学会・協会等.....	73
付録	74
1. 組織と業務（令和5年4月1日現在）	74
2. 職員名簿（令和5年4月3日現在）	75
3. 職員配置（令和5年4月3日現在）	76
4. 令和5年度予算	77

山梨県産業技術センターの概要

1. 沿革

明治38年12月	山梨県工業試験場開設
大正12年 4月	山梨県工業試験場上野原分場開設
昭和 4年12月	山梨県醸造研究所開設
昭和10年 4月	山梨県工業試験場吉田分場開設
昭和14年11月	山梨県工業試験場吉田分場を本場とし、旧本場は谷村試験工場に変更
昭和25年12月	山梨県繊維工業試験場開設（条例改正による山梨県工業試験場の名称変更）
昭和26年 8月	山梨県立研磨工業指導所開設
昭和28年 5月	山梨県繊維工業試験場大月分場開設
昭和30年 7月	山梨県立メリヤス工業指導所開設
昭和42年 9月	山梨県機械金属工業指導所開設
昭和43年 4月	山梨県食品工業指導所開設（山梨県醸造研究所の整備による名称変更）
昭和43年 4月	山梨県繊維工業試験場上野原、大月分場廃止
昭和43年 4月	山梨県木工指導所開設
昭和46年 4月	山梨県繊維工業試験場新庁舎開設
昭和49年10月	ワインセンターを山梨県食品工業指導所に併設
昭和61年 4月	山梨県工業技術センター開設（工業関係研究機関再編整備による5所統合）
昭和61年 4月	山梨県富士工業技術センター開設 （工業関係研究機関再編整備による山梨県繊維工業試験場の名称変更）
平成 4年 4月	山梨県工業技術センター新庁舎開設
平成12年 4月	山梨県高度技術開発センター新庁舎開設
平成29年 4月	山梨県産業技術センター開設（両センターの統合）
平成30年 4月	富士技術支援センター研究開発支援棟開設
令和 4年 6月	甲府技術支援センターイノベーション支援棟開設

2. 土地・建物

[甲府技術支援センター]

所在地	山梨県甲府市大津町2094
敷地面積	16,893 m ²
建物延面積	14,388 m ²
研究管理棟（鉄骨鉄筋コンクリート造り6階建）	7,008 m ²
デザイン棟（鉄筋コンクリート造り2階建）	2,158 m ²
実験棟（鉄骨造り2階建）	3,189 m ²
イノベーション支援棟（鉄骨造り2階建）	1,750 m ²

付属施設	283 m ²
------	--------------------

[ワイン技術部]

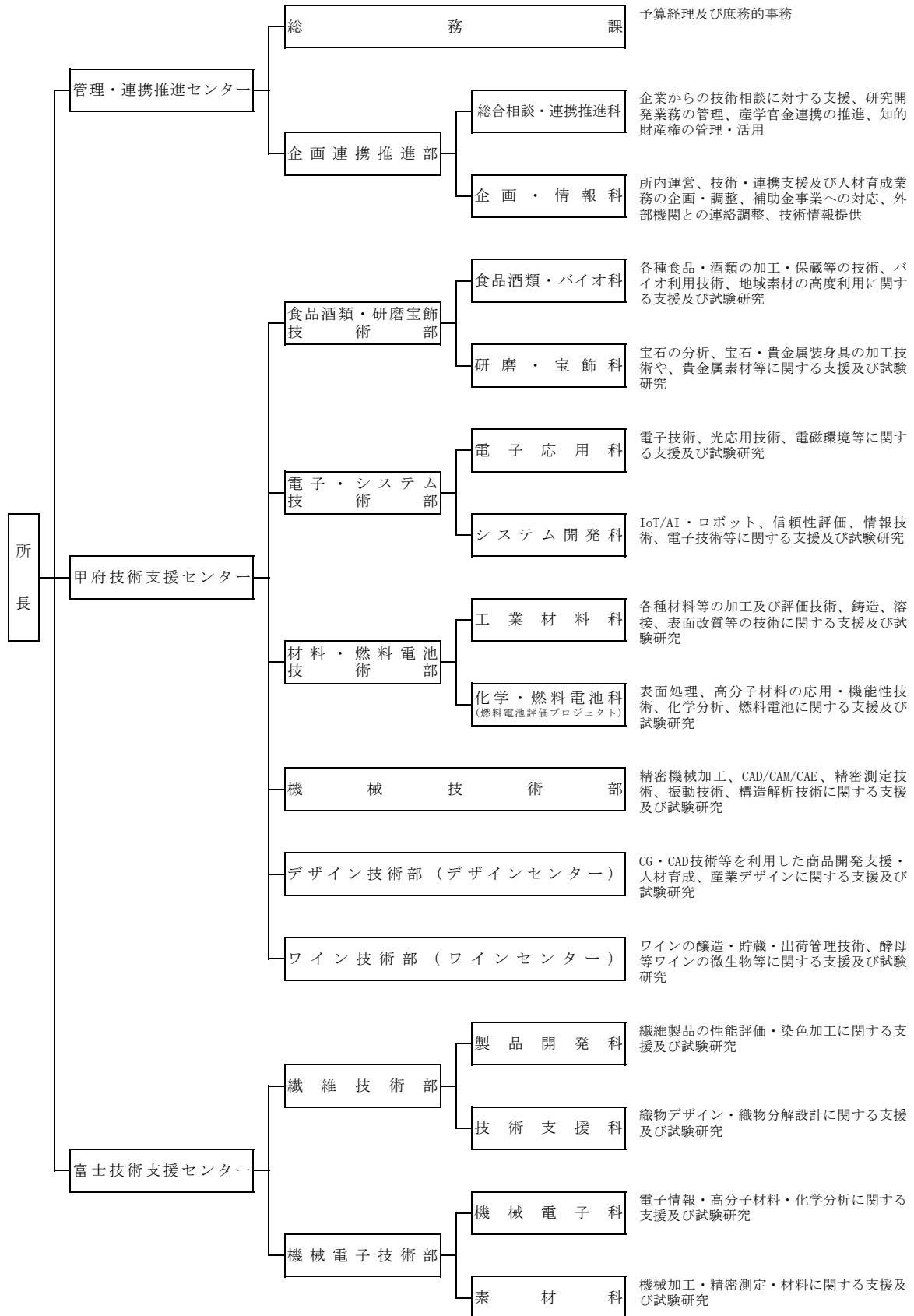
所在地	山梨県甲州市勝沼町勝沼2517	
敷地面積		4,280 m ²
建物延面積		914 m ²
ワイン試験棟（鉄筋コンクリート平屋・地下1階）		868 m ²
付属施設		46 m ²

[富士技術支援センター]

所在地	山梨県富士吉田市下吉田6-16-2	
敷地面積		10,117 m ²
建物延面積		3,583 m ²
管理棟（鉄筋コンクリート造り2階建）		1,177 m ²
試験棟（鉄骨造り平屋）		1,339 m ²
開放試験棟（鉄骨造り1階建）		222 m ²
研究開発支援棟（鉄骨造り平屋）		598 m ²
付属施設		247 m ²

3. 組織と業務

(令和5年3月31日現在)



4. 職員名簿

(令和5年3月31日現在)

所長	内藤 裕利	[研磨・宝飾科]		デザイン技術部	
管理・連携推進センター		主任研究員	宮川 和博	部長	金丸 勝彦
センター長(兼1)	清野 浩	専門員	佐野 照雄	主任研究員	串田 賢一
特別研究員	岩間 貴司	研究員	佐藤 貴裕	主任研究員	鈴木 文晃
特別研究員(兼2)	河西 伸一	会計年度任用職員	山本 季彦	研究員	佐藤 博紀
研究管理幹	高尾 清利	会計年度任用職員	鶴田 裕太	会計年度任用職員	数野 真裕美
特別職非常勤	大丸 明正	電子・システム技術部		会計年度任用職員	岡 治美
		部長	河野 裕		
総務課		[電子応用科]		ワイン技術部	
課長(事務取扱)	清野 浩	主任研究員	清水 章良	主幹研究員・部長	恩田 匠
主査(兼2)	矢野 貴士	研究員	中村 卓	主任研究員	木村 英生
副主査	阿部 純	技師	富永 裕輝	研究員	佐藤 憲亮
専門員	若林 貴義	会計年度任用職員	和光 順子	会計年度任用職員	三科 浩仁
主任	杉野 巧	[システム開発科]		会計年度任用職員	窪田 守
会計年度任用職員	流石 由香理	主任研究員	布施 嘉裕	富士技術支援センター	
会計年度任用職員	飯田 恵子	専門員	阿部 正人	センター長	萩原 茂
会計年度任用職員	中村 澄香	研究員	永田 靖貴	副センター長	柴田 克己
企画連携推進部		研究員	中込 広幸		
主幹研究員・部長	山田 博之	技師	保坂 響	繊維技術部	
		材料・燃料電池技術部		主幹研究員・部長	渡辺 誠
[総合相談・連携推進科]		主幹研究員・部長	八代 浩二	[製品開発科]	
主任研究員	三井 由香里	[工業材料科]		主幹研究員	望月 威夫
主任研究員(兼1)	上垣 良信	主幹研究員	阿部 治	主任研究員(兼1)	上垣 良信
研究員(兼1)	林 善永	主任研究員	石田 正文	主任研究員	尾形 正岐
		主任研究員	鈴木 大介	専門員(兼1)	若林 貴義
[企画・情報科]		研究員	長田 和真	研究員	塩澤 佑一朗
主任研究員	宮本 博永	[化学・燃料電池科]		会計年度任用職員	渡邊 直子
主任研究員	宮川 理恵	主任研究員	三神 武文	会計年度任用職員(兼1)	流石 由香理
主任研究員	上垣 良信	主任研究員	小松 正和	[技術支援科]	
研究員	林 善永	主任研究員	芦澤 里樹	主幹研究員	五十嵐 哲也
会計年度任用職員	望月 美菜	研究員	宮澤 航平	主任研究員	秋本 梨恵
甲府技術支援センター		(燃料電池評価プロジェクト)		会計年度任用職員	勝俣 久美
センター長	清野 浩	研究員	川本 鉄平	会計年度任用職員	高山 美和
副センター長	吉村 千秋	研究員	小林 誉	機械電子技術部	
		会計年度任用職員	加賀 爪広	主幹研究員・部長	中村 聖名
食品酒類・研磨宝飾技術部		会計年度任用職員	穴水 弘一	[機械電子科]	
主幹研究員・部長	有泉 直子	会計年度任用職員	平賀 庸子	主幹研究員	勝又 信行
		会計年度任用職員	丸山 知子	研究員	古屋 雅章
[食品酒類・バイオ科]		機械技術部		技師	渡邊 慧輔
主任研究員	長沼 孝多	主幹研究員・部長	佐野 正明		
主任研究員	尾形 美貴	主幹研究員	石黒 輝雄	[素材料]	
主任研究員	橋本 卓也	主任研究員	西村 通喜	主任研究員	萩原 義人
研究員	小嶋 匡人	主任研究員	小松 利安	主任研究員	寺澤 章裕
研究員	樋口 かよ	主任研究員	早川 亮	研究員	望月 陽介
		主任研究員	米山 陽		
(兼1)：所内兼務		研究員	坂本 智明		
(兼2)：総合理工学研究機構と兼務		会計年度任用職員	神澤 隆彦		

5. 職員配置

(令和5年3月31日現在)

	行政職							研究職											合計		
	所長	センター長	副センター長	課長	主任	副主任	専門員	センター長	副センター長	特別研究員	研究管理幹	特別職非常勤	主幹研究員・部長	部長	主幹研究員	主任研究員	専門員	研究員		技師	会計年度任用職員
山梨県産業技術センター	1																				1
管理・連携推進センター		(1) ¹								1(1) ²	1	1									3 (2)
総務課				(1) ¹	(1) ²	1	1	1												3	6 (2)
企画連携推進部													1								1
総合相談・連携推進科															1(1) ¹		(1) ¹				1 (2)
企画・情報科															3		1		1		5
甲府技術支援センター		1																			2
食品酒類・研磨宝飾技術部													1								1
食品酒類・バイオ科															3		2				5
研磨・宝飾科															1	1	1		2		5
電子・システム技術部														1							1
電子応用科															1		1	1	1		4
システム開発科																1	1	2	1		5
材料・燃料電池技術部													1								1
工業材料科															1	2		1			4
化学・燃料電池科																3		1			4
(燃料電池評価プロジェクト)																		2			4
機械技術部													1		1	4		1		1	8
デザイン技術部														1		2		1		2	6
ワイン技術部													1			1		1		2	5
富士技術支援センター			1						1												2
繊維技術部													1								1
製品開発科								(1) ¹							1	1(1) ¹		1		1(1) ¹	4 (3)
技術支援科															1	1				2	4
機械電子技術部													1								1
機械電子科														1				1	1		3
素材科																2		1			3
合計	1	1(1) ¹	1	(1) ¹	(1) ²	1	1	1	1	1	1	1	7	2	5	26(2) ¹	2	17(1) ¹	3	19(1) ¹	92(9)

(括弧)¹: 所内兼務

(括弧)²: 総合理工学研究機構と兼職

6. 令和4年度決算

(1) 歳入

(単位：円)

区分	収入済額
依頼試験等証紙収入	11,646,400
行政財産使用料	70,541
機械使用料	27,786,950
生産物売払収入	164,070
受託事業収入	2,293,176
家屋貸付料	121,220
雑入	2,896,948
計	44,979,305

(2) 歳出

(単位：円)

区分	支出済額
技術支援 ・機器整備((公財)JKAによる補助事業) ・保有機器の保守・校正・修繕 ・やまなしテキスタイルブランド確立強化支援事業	161,455,888
研究開発 ・経常研究 ・成長戦略研究 ・総理研研究 ・受託研究 ・競争的資金研究 ・技術情報取得 ・客員研究員事業費	40,577,728
人材育成 ・ものづくり人材育成研修 ・講習会、研修会	2,231,459
情報提供 ・研究報告、年報、センターニュース、デザイン情報紙の発行	1,053,620
技術移転・事業化支援 ・フォローアップ、企業ニーズ対応試作開発	338,912
職員職務発明特許出願費 ・特許等出願費、維持管理費	1,090,140
地方創生交付金事業 ・県産ワイン日本酒品質強化支援事業 ・電波暗室整備事業 ・やまなしものづくり企業DX推進事業等	439,258,855
燃料電池評価解析技術高度化事業	64,460,289
その他 管理費等(会計年度任用職員等人件費、庁舎管理費 等)	268,906,593
計	979,373,484

7. 新設機器・設備

(1) 甲府技術支援センター

区分	機器名	メーカー名・型式	用途
競輪の補助金 (JKA)	エックス線非破壊検査装置	島津産機システムズ (株) FI-3100M	測定物内部を非破壊で観察
競輪の補助金 (JKA)	大型複合サイクル試験機	スガ試験機 (株) CYP-160	塩水噴霧、乾燥/湿潤環境下での耐食性試験
地方創生交付金	電波暗室	(株) リケン環境システム	電子機器の電磁波測定のための設備
地方創生交付金	エミッション測定システム	(株) テクノサイエンスジャパン TEPTO-DV/RE	電子機器の電磁波を測定
地方創生交付金	イミュニティ試験システム	(株) テクノサイエンスジャパン TEPTO-RS	電子機器に電磁波を照射して誤作動しないかを評価
地方創生交付金	レーザーアブレーション ICP 質量分析装置	Elemental Scientific LASERS 社 ESL213 アジレント・テクノロジー (株) Agilent7900	固体試料内の微量元素の定性・定量分析
地方創生交付金	顕微ラマン分光装置	レニショー (株) inVia Qontor	ラマン散乱光から分子構造や物性を評価
地方創生交付金	3D プリンタ	Stratasys 社 J850 Prime	立体モデルの造形
地方創生交付金	3D スキャナ	東京貿易テクノシステム (株) FLARE Pro 16M	物体の3次元形状データを取得
地方創生交付金	高速アミノ酸分析装置	(株) 日立ハイテック LA8080	酒類および食品全般のアミノ酸の定性・定量分析
地方創生交付金	ヘッドスペースサンプラー付きガスクロマトグラフ	(株) 島津製作所 GC-2030AF HS-20NX	酒類の香り成分等の分析
県単独	真空包装機	(株) TOSEI V-307G2	食品の真空包装
県単独	大型ミキサー	(株) 愛工舎製作所 マイティ S30	攪拌装置
県単独	光ファイバリンク	(株) 精工技研 ET-615 ER-615	電気信号を光信号に変換する機械
県単独 (総理研)	3D-LiDAR	Ouster 社 OS-1 64 センサモジュール	周囲環境の形状測定
県単独 (総理研)	3D-LiDAR 用補助電源内蔵情報処理装置	Ouster 社 OS-1 64 センサモジュール用補助電源内蔵情報処理装置	3D-LiDAR データ出力、補助電源及び保護回路内蔵装置
県単独 (総理研)	CNF 調製機器	(株) スギノマシン スターバースト HJP-2500IV2	湿式での微粒化
県単独	データレコーダ	リオン (株) DA-21	振動計測
県単独	ミオレックス板オープン	戸倉商事 (株) トークオープン UT4 枚 2 段	食品の加熱調理
県単独	瓶詰兼用ガス圧計	(株) 長嶋製作所 KN-Y10	飲料のガス圧測定

(2) 富士技術支援センター

区分	機器名	メーカー名・型式	用途
県単独	数値解析システム	DELL Inspiron 14 5420 MathWorks MATLAB R2022a	分析データの定量解析
県単独（総理研）	デジタル・オシロスコープ	テレデザイン・ジャパン T3DSO2104A	電氣的な振動の可視化
県単独（総理研）	カッティングマシン	グラフテック（株） シルエットカメオ4 PRO (SILH-CAMEO-4-PRO-J)	カッティングシートを用いた文字・図形 のカット

8. 山梨県産業技術センター 中期運営計画

支援機能を強化・拡充することに加え、「オープンイノベーション^{※1}」を創出する場と機会を提供することにより、県内中小企業の高付加価値製品づくりの促進と ODM 型企业^{※2}への転換を図ることを目的に、令和2年度から令和4年度までの3年間の中期計画を策定した。

※1 オープンイノベーション：既存の組織の枠組みを超え、広く知識や技術を集結してイノベーションを起こすこと

※2 ODM 型企业：自ら製品開発・設計、提案、試作・製造までを行う企業

【産業界が直面している状況】

■世界的な潮流

- ・経済のグローバル化による生産拠点の海外流出
- ・新興国との技術、価格の競合による競争力低下
- ・第4次産業革命による産業・社会構造等の激変
- ・高付加価値化の競争が激化
- ・製造業から IT 企業にメインプレイヤーが移行

■地域固有の課題

- ・基幹産業である機械電子業界は、下請け形態が多数を占め、研究開発機能が脆弱
- ・従業員の確保や技術の継承に難
- ・AI/IoT を利活用した生産性向上への取り組み
- ・新事業を展開するための余剰体力、技術資源の不足

【計画の方向性とアクション】

<Action1：技術支援機能の強化>

産業構造の変革や製品の多様化に伴う企業ニーズの変化に柔軟に対応していくために、出口を見据えたソリューション機能を充実させ技術支援機能を強化する。

- ①技術支援業務の推進
- ②総合相談窓口業務の強化
- ③要素技術分野および戦略産業分野の支援
- ④重点支援事業の実施

<Action2：技術移転・事業化支援機能の強化・拡充>

成長分野進出や未来の山梨の創造につながる研究などに取り組み、その成果を技術移転することにより企業の技術力・製品開発力、さらには競争力を強化し、新たな事業展開へとつなげていく。

- ①「戦略的研究」の推進
- ②戦略的な知財の権利化・ノウハウ蓄積
- ③研究成果の普及および情報発信の推進
- ④研究成果の技術移転の推進
- ⑤「ものづくりプラットフォーム」による事業化支援
- ⑥多様な企業ニーズに応える受託研究や共同研究の推進

<Action3：イノベーションを推進する拠点作り>

他の研究機関や産業支援機関、金融機関等との連携を強化することでオープンイノベーションを推進し、企業が求める課題に迅速かつ的確に対応できる支援体制を整える。

- ①他機関との連携推進（国研、近隣都県公設試験研究機関、大学、県内産業支援機関・金融機関等）
- ②オープンイノベーションを推進する人材の育成
- ③試作創作機能の整備・強化
- ④AI/IoT・ロボット等導入支援体制の構築
- ⑤技術分野ごとに支援体制を整備・強化
- ⑥「ものづくりプラットフォーム」による事業化支援
- ⑦総合的なブランド・デザイン戦略の強化

<Action4：組織運営の最適化>

社会情勢や経済状況、変化する技術ニーズに適確に対応できる組織体制を構築する。

- ①計画的な職員の技術ポテンシャルの向上
- ②危機管理対策の推進
- ③センター運営の見える化・効率化
- ④中長期的な視野に立った戦略的な設備・機器の整備

【最終目標】

高付加価値製品づくりと ODM 型企業への転換（下請け脱却）

- ・ ODM 型企業への変革
- ・ 成長分野への参入
- ・ 新産業の創出
- ・ ブランドの創成・確立

9. 令和4年度業務体系

令和4年度は、「技術支援」「研究開発」「人材育成」「情報提供」「技術移転・事業化支援」を柱に、中小企業が抱える技術課題の解決や新技術・新製品開発の支援、次世代の産業展開に向けた支援等を実施した。

●事業の具体的な取り組み

【技術支援業務】

- 現地技術支援（企業等へ直接出向いた支援）
 - ・製造現場での技術支援
 - ・研究成果を活用した技術支援
 - ・未利用企業訪問
 - ・各種団体等の要請による職員派遣
- 技術相談・依頼試験・設備利用
 - ・依頼試験、設備利用への対応
 - ・各部及び各担当間で連携した技術支援
 - ・設備利用研修の実施
 - ・設備機器の利用促進
- 総合相談窓口の体制強化
 - ・関係機関との連携強化
 - ・甲府と富士の連携強化（オンラインシステムの活用）
- 中小企業重点支援事業の実施（職員を一定期間企業に派遣しての技術支援）
 - ・研究員を派遣し、企業の直面する課題を解決
 - ・特に高度な知識、技術を要する課題等に対しては客員研究員を派遣
- 成長産業への参入促進
 - ・やまなし産業支援機構など関係機関と連携し、クリーンエネルギー、燃料電池、医療関連機器などの成長分野の事業化に取り組む企業へ技術支援を実施
- 中小企業の海外展開支援事業
 - ・規格適合性評価試験サービス
 - ・海外規格情報の閲覧サービス
 - ・専門相談員による技術相談
 - ・JETRO との連携による支援
- IoT化による生産性向上の支援
 - ・IoT、ロボットに関する研究開発に取り組み、技術やノウハウを蓄積
 - ・AI/IoT 技術導入に関する支援
- 戦略産業分野への支援
 - ・燃料電池関連技術及び医療機器関連産業分野への支援
- 地域産業の個別課題を地域内で解決する取り組み
 - ・オープンイノベーション推進の取り組み
- 公設試験研究機関との連携強化を図る中で機器整備や支援事業を実施
 - ・IoT 産業への参入支援のための機器整備
 - ・医療産業などの成長分野関連技術の支援

- やまなしテキスタイルブランド確立強化支援事業
 - ・これからの産地を先導する若手従業者等のネットワーク構築を支援
- 技術研究会
 - ・技術を核とした研究会活動を支援

【研究開発業務】

- 産学官連携研究の促進
 - ・研究テーマ 22 課題を実施。このうち 19 課題を企業、大学及び総合理工学研究機構等と連携して実施
 - ・国の委託事業（戦略的基盤技術高度化支援事業等）の積極的な取り組み
 - ・早期事業化に向けた研究の推進
- 競争的資金の積極的な獲得と活用支援
 - ・競争的研究資金の導入支援
- 産業財産権取得と有効活用促進
 - ・産業財産権等の取得を意識しながら研究開発業務を実施
- 課題対応受託研究への対応
 - ・企業で対応が困難な研究開発課題をセンターが実施
- 燃料電池評価プロジェクト推進事業
 - ・燃料電池セルの特性評価を行える機能を確立し、技術支援体制を強化
- オープンイノベーションの推進
 - ・企業ニーズを把握して大学等の技術シーズを探索し、国・県・産業支援機関等の補助制度を活用できるように支援
 - ・信州大学繊維学部との連携推進
 - ・産業技術総合研究所との連携推進（産総研 IC 事業の推進）
- 研究成果の普及啓発及び情報発信の促進
 - ・出前技術講座、企業巡回、ホームページなどにより周知

【人材育成業務】

- 技術講習会・研修会
 - ・最新の技術情報や、事業化、経営支援に関する情報提供を行う講習会・研修会を開催
- 出前技術講座
 - ・センター職員を企業、組合等に直接派遣して講座を実施
- ものづくり人材育成研修
 - ・県内企業を対象に、製造技術、開発技術、評価技術等について、座学、実習形式で研修を開催
- 県産ワイン・日本酒品質強化支援事業
 - ・アミノ酸分析装置、ヘッドスペースサンプラー付きガスクロマトグラフの整備
 - ・企業技術者の交流会や導入機器に関するセミナー等の開催
- 技術者研修
 - ・中小企業の従業員等を一定期間受け入れて行う研修を実施
- オープンイノベーション推進のための人材育成
 - ・オープンイノベーションの理解度を高め、効果的にオープンイノベーションを推進

【情報提供業務】

- 研究成果速報の配信、研究報告の発行、研究成果の動画配信
- 刊行物（年報、センターニュースおよびデザイン情報紙）の発行
- Web（甲斐絹ミュージアム、フェイスブック、YAMANASHI DESIGN ARCHIVE）による情報発信
- やまなし産学官連携研究交流事業での研究成果発表（オンライン開催）
- プロポーザルページによる情報発信
- センター利用の手引き及びメールマガジンの提供

【技術移転・事業化支援業務】

- 研究成果の技術移転促進
 - (a) 研究成果フォローアップ事業
 - ・終了した研究テーマの追試験や試作等を行うことで研究成果を発展させ、技術移転を促進
 - (b) 企業ニーズ対応試作開発事業
 - ・研究成果に対して、企業から技術移転や事業化の要望がある場合に、試作等による補完研究を実施
- 産学官金連携による事業化支援
 - ・「オープンイノベーション推進ネットワーク」により、ニーズの把握から研究開発の実施、販路開拓等を一元的に支援

【その他の事業】

- センターの運営に関すること
 - ・運営会議の開催
 - ・外部評価会議の開催
 - ・業界との意見交換（個別訪問）
- 技術支援に資する機器の設置
 - ・計画的な設備機器の新規導入・更新等
- 技術交流
 - ・産業技術連携推進会議、学会等への参加・発表
 - ・各種会議・審査会等への派遣
- 職員の資質向上
 - ・職員のスキルアップに向けた計画的な研修派遣

運営

1. 運営会議

(1) 会議の概要

実施日	議題
令和4年7月29日 (会場:甲府技術支援センター)	(1) 中期運営計画及び令和4年度事業計画 ①基本方針 ②行動指針 ③主な取り組み [1 技術支援業務 2 研究開発業務 3 技術移転・事業化支援業務 4 人材育成業務 5 情報提供業務 6 その他の事業] (2) 意見交換 (3) その他

(2) 構成員（委員）名簿

[学識経験者]		
氏名	所属	役職
熊田伸弘	国立大学法人 山梨大学	理事・副学長
早川正幸	公立大学法人 山梨県立大学	理事長・学長
名取貴光	学校法人 C2C Global Education Japan 山梨学院大学	健康栄養学部長
[業界関係者]		
氏名	所属	役職
内田長久	山梨県菓子工業組合	理事長
北原兵庫	山梨県酒造組合	会長
武田信彦	山梨県味噌醤油工業協同組合	理事長
柳本 力	山梨県水晶宝飾協同組合	副理事長
中込 裕	一般社団法人 山梨県情報通信業協会	副会長
板橋明好	一般社団法人 山梨県鉄構溶接協会	副会長
望月英昭	一般社団法人 山梨県機械電子工業会	副会長
安蔵光弘	山梨県ワイン酒造組合	会長
渡辺教一	山梨県絹人織織物工業組合	理事長
[関係機関]		
氏名	所属	役職
手塚 伸	公益財団法人 やまなし産業支援機構	理事長

2. 試験・研究課題等の外部評価会議

(1) 評価に対する考え方

評価を受ける目的	「山梨県立試験研究機関における評価指針（H13.3策定）」に基づき、山梨県産業技術センターが計画・実施する試験研究が、効率的かつ効果的に実施されるよう、公平中立の立場から客観的な意見をいただくために実施する。		
評価を受ける課題	山梨県産業技術センターが実施する研究は、すべて評価対象研究課題とする。ただし、国や企業等からの受託研究は、評価対象研究から除く。 (受託研究は国や企業等の目的に基づいて行うものであり、研究費も委託者が負担するものであるため。)		
研究課題の評価方法	評価の種類は、「事前評価」「中間評価」「事後評価」の3種類とする。評価方法は、効果的・効率的な研究の推進と、研究員の意識啓発をねらいに、客観的判断が可能な5段階評価方式とする。		
	事前評価項目	中間評価項目	事後評価項目
	①研究の必要性 ②研究内容の新規性 ③研究目標、研究計画の妥当性 ④研究体制、研究予算の妥当性	①研究計画の進捗度	①研究目標の達成度
評価結果に対する対応	<p>事前評価、中間評価では、評価の平均点に対し、次のとおり対応する。</p> <p>評価の平均点が2点以下の課題は、原則不採用または中止とする。</p> <p>評価の平均点が2点を超え、3点未満の課題は、コメントを参考に実施について再検討する。</p> <p>評価の平均点が3点以上の課題は、評価コメントを参考に必要に応じて修正し実施する。</p> <p>事後評価は、次の基準で採点される。</p> <p>5点：計画を上回る成果となった 4点：計画どおりの成果となった 3点：おおむね計画どおりの成果となった 2点：計画を下回る成果となった 1点：成果が得られていない</p> <p>それぞれの評価コメントを、技術移転や研究立案に役立てていく。また、評価点は、研究者が自らの研究を客観的に評価するための参考としていく。</p>		

(2) 評価対象課題

実施日	対象課題	評価種別
(基盤分野) 令和4年8月24日	(基盤分野 6テーマ) ・ CNF技術を活用した素材開発 ・ 高強度ステンレス鋼線の新しい伸線加工技術に関する研究 ・ 放射EMI試験における可視化システムの効率的な適用に関する研究 ・ AIを用いた製品検査の効率化と製造現場への適用に関する研究 ・ 燃料電池用小型パワーコントローラの放熱構造に関する研究 ・ 3Dプリンティングで作製した樹脂型の射出成形への適用について	事後評価
	(基盤分野 1テーマ) ・ プラスチック材料の耐候性における水噴霧の影響	中間評価
	(基盤分野 9テーマ) ・ マグネシウム合金耐食性皮膜の高品質化に関する研究 ・ NC制御による局所的ピーニング処理法の研究 ・ ダイカスト金型の高機能化に関する研究 ・ AI検査に適した検査環境構築に関する研究 ・ マグネシウム合金鋳造時の金型不具合に関する研究 ・ 3次元座標測定機の定期管理方法についての研究 ・ トポロジー最適化解析による製品の高付加価値化に関する研究 ・ 多軸ロボットの耐久試験機への適用とその評価 ・ 金属積層造形条件と造形物の機械的特性に関する研究	事前評価

実施日	対象課題	評価種別
(地場分野) 令和4年8月31日	(地場分野 4テーマ) ・山梨県産ワインの多様化および品質安定に関する研究 ・蛍光分光分析を用いた色石評価に関する研究 ・郡内織物産地の織機部品に関する調査研究 ・真空熱セットにおける繊維製品の温度管理に関する研究	事後評価
	(地場分野 3テーマ) ・県産日本酒の競争力向上のための新規日本酒酵母に関する研究 ・高級ノンアルコール飲料の開発 ・山梨県の新しいブレンド白ワインに関する研究	中間評価
	(地場分野 3テーマ) ・宝石鑑別支援ツールの開発 ・パラメトリックデザインの地場産業への活用に関する研究 ・デジタルジャカード技術を応用したテキスタイル開発	事前評価

(3) 評価結果

①令和3年度に完了した研究課題の事後評価について

令和3年度に研究が完了した10研究課題の事後評価の評点は、地場分野では平均点4.0、基盤分野では3.0～4.0の範囲（平均点3.7）であった。これらについては、今後、評価委員のコメントを参考に技術移転等に努めていく。

②令和5年度に実施する研究課題の事前評価及び令和4年度における中間評価について

事前評価対象12課題の評点は、地場分野では3.3～3.8の範囲（平均点3.6）、基盤分野では3.0～3.8の範囲（平均点3.5）であった。中間評価対象4課題の評点は、すべて4.0であった。平均点が3点以上の課題については、外部評価委員からのコメントを参考に研究を実施・継続することとした。

(4) 委員名簿

基盤分野

氏名	所属	役職
郷健太郎	国立大学法人 山梨大学	教授
平晋一郎	国立大学法人 山梨大学	准教授
青木一樹	キャノンアネルバ株式会社	富士事業所長
小澤一昭	株式会社山梨県環境科学検査センター	代表取締役社長
菊地明久	株式会社長田電材工業	代表取締役社長

地場分野

氏名	所属	役職
奥田 徹	国立大学法人 山梨大学	学部長
中川裕子	学校法人 C2C Global Education Japan 山梨学院短期大学	教授
柳本知一	山梨県貴金属装身具技能士会	理事

氏名	所属	役職
中澤智子	一般社団法人 山梨県食品衛生協会	常務理事
中村哲也	株式会社富士セイセン	代表取締役社長

3. 業界との意見交換

業種	業界団体	内容	実施日
食品・酒類	山梨県酒造組合	(1) 景況について (2) 意見交換 ※新型コロナウイルス感染拡大防止 対策として個別訪問により実施 ※各業界団体から、意見交換の場 の要望を確認したうえで実施を判断	未実施
	山梨県漬物協同組合		〃
	山梨県パン協同組合		令和4年9月28日
	山梨県ワイン酒造組合		未実施
研磨・宝飾	山梨県水晶宝飾協同組合		〃
機械電子	一般社団法人 山梨県機械電子工業会		〃
繊維	山梨県絹人織織物工業組合		令和4年9月13日

技術支援業務

1. 技術相談、現地技術支援の担当別実績

部	担当	技術相談 (件)	現地技術支援 (企業数)	見学者 (名)
企画連携推進部		134	126	176
食品酒類・研磨宝飾技術部	食品酒類・バイオ科	292	89	160
	研磨・宝飾科	348	22	
電子・システム技術部	電子応用科	274	10	16
	システム開発科	261	55	
材料・燃料電池技術部	工業材料科	504	10	160
	化学・燃料電池科	506	24	
機械技術部		560	15	176
デザイン技術部		165	126	16
ワイン技術部		219	37	0
繊維技術部	製品開発科	289	46	24
	技術支援科	107	72	
機械電子技術部	機械電子科	602	9	10
	素材科	402	36	
合計		4,663	677	738

2. 中小企業重点支援事業

(1) テーマ一覧

テーマ	担当	期間
バナジウム染色技術を適用した繊維素材の光吸収発熱保温性評価	製品開発科	R4/5/9～8/31
IoTシステムの高付加価値化に関する検討	システム開発科	R4/5/23～R5/2/10
マイコン等を活用した重機の電子制御化に関する検討	システム開発科	R4/7/20～R5/2/28
甲州とマスカット・ベリーAのワイン製造過程の成分解析	ワイン技術部	R4/9/20～12/28
小麦原麦入りパンの試作開発	食品酒類・バイオ科	R4/9/29～12/28
原料開発に関する支援	化学・燃料電池科	R4/12/23～R5/3/31
装置の外観デザインと3Dプリンタによる部品作製に関する検討	デザイン技術部	R5/1/13～3/24

(2) 担当別実績

部	食品酒類・ 研磨宝飾 技術部	電子・ システム 技術部	材料・ 燃料電池 技術部	機械 技術部	デザイン 技術部	ワイン 技術部	繊維 技術部	機械電子 技術部	合計
件数	1	2	1	0	1	1	1	0	7

3. 客員研究員による支援

中小企業の技術及びデザインの高度化を図るとともに、産業技術センターの研究開発力を促進するため、特定分野で専門的な知識を持ち、高度な見識を有する人材を国内外から客員研究員として招聘する。

○食品関連（食品酒類・バイオ科）

氏名 田中 浩（たなか ひろし）
所属 諏訪杜氏
支援概要 日本酒製造分野における技術支援
支援実績

- ・日本酒製造技術の向上に係る研究の推進
- ・日本酒製造分野における職員の人材育成に必要な技術情報の収集
- ・日本酒製造技術に係る課題の解決に必要な技術支援

○ロボット、IoT/AI関連（システム開発科）

氏名 小谷 信司（こたに しんじ）
所属 山梨大学 大学院総合研究部 教授
支援概要 ロボット、IoT/AI等に関する指導・企業支援
支援実績

- ・県内企業への技術支援
- ・センター職員への研究および技術指導

○オープンイノベーション関連（企画連携推進部）

氏名 角田 義人（つのだ よしと）
所属 株式会社ファーストスクリーニング 取締役
支援概要 オープンイノベーションの取り組みに対する指導・企業支援
支援実績

- ・オープンイノベーションによる装置の開発に関する支援
- ・オープンイノベーションによる知財戦略に関する支援
- ・自社製品等の開発・販売に関する支援

○精密測定関連（機械技術部）

氏名 中村 哲夫（なかむら てつお）
所属 CDT研究所 代表
支援概要 幾何公差方式に関する技術支援
支援実績

- ・中小企業重点支援事業による技術支援
- ・県内企業への技術支援
- ・技術講習会、ものづくり人材育成研修、出前技術講座での講演
- ・センター職員への技術指導

○デザイン（デザイン技術部）

氏名 高橋 正実（たかはし まさみ）
所属 有限会社マサミデザイン 代表
支援概要 地場産業、伝統工芸の技術・素材の潜在能力の把握～商品開発への展開支援
支援実績

- ・県内企業への技術支援
- ・センター職員への研究および技術指導

○デザイン（デザイン技術部）

氏名 大沼 敦（おおぬま あつし）
所属 株式会社大沼デザインスタジオ 取締役
支援概要 地場産業、伝統工芸の技術・素材の潜在能力の把握～商品開発への展開支援
支援実績

- ・県内企業への技術支援
- ・センター職員への研究および技術指導

○デザイン（繊維技術部）

氏名 家安 香（いえやす かおり）
所属 Edelkoort East (株) /トレンドユニオン日本支社 代表
支援概要 織物産業におけるブランド力の向上
支援実績

- ・やまなし地場産品ブランド化支援事業による総合プロデュース
- ・個別相談支援、合同勉強会等

4. 依頼試験・設備利用等

(1) 実績一覧

項目	依頼試験	依頼加工	設備使用	証明書等交付	合計
件数	6,721	1,735	23,590	64	32,110

(2) 依頼試験の内訳

①項目別

項目	機械 金属	精密 測定	環境 試験	電気 電子	化学 分析	貴金属 ・ 宝鉱石	食品・ 酒類・ 微生物	ニット ・ 縫製	設計 解析	繊維	合計
件数	1,111	528	3,226	0	535	0	602	67	0	652	6,721

②担当別

部	食品酒類・ 研磨宝飾 技術部	電子・ システム 技術部	材料・ 燃料電池 技術部	機械 技術部	デザイン 技術部	ワイン 技術部	繊維 技術部	機械電子 技術部	合計
件数	459	0	4,204	546	67	269	652	524	6,721

(3) 依頼加工等の内訳

部	食品酒類・ 研磨宝飾 技術部	電子・ システム 技術部	材料・ 燃料電池 技術部	機械 技術部	デザイン 技術部	ワイン 技術部	繊維 技術部	機械電子 技術部	合計
件数	1,577	0	111	0	0	0	0	47	1,735

(4) 設備使用の内訳

①項目別

項目	機械 設計	工作 機械等	電気 電子	化学 分析	研磨 宝飾	食品 加工機	繊維	その他	合計
件数	17,657	526	2,142	1,810	968	173	295	19	23,590

②担当別

部	食品酒類・ 研磨宝飾 技術部	電子・ システム 技術部	材料・ 燃料電池 技術部	機械 技術部	デザイン 技術部	ワイン 技術部	繊維 技術部	機械電子 技術部	合計
件数	1,558	7,242	6,440	2,951	268	569	302	4,260	23,590

(5) 試験成績証明書交付の内訳

部	食品酒類・ 研磨宝飾 技術部	電子・ システム 技術部	材料・ 燃料電池 技術部	機械 技術部	デザイン 技術部	ワイン 技術部	繊維 技術部	機械電子 技術部	合計
件数	2	0	20	0	36	3	0	3	64

(6) その他 (酒母)

項目	件数	担当
酒母	9	ワイン技術部

(7) 設備利用研修会

①一覽

設備	実施日	担当	参加者数
(公財) JKA 補助事業導入機器 「ワイヤ放電加工機技術者向けセミナー」	R4/6/14、15	機械技術部	7
第1回「ワインの揮発酸測定」	R4/6/15	ワイン技術部	11
第2回「ワインの比重とアルコール測定」	R4/6/22	ワイン技術部	12
第3回「総酸およびホルモール態窒素測定」	R4/6/29	ワイン技術部	10
(公財) JKA 補助事業導入機器 「X線非破壊検査装置の操作方法について」	R5/3/10	工業材料科	25
(公財) JKA 補助事業導入機器 「大型複合サイクル試験機の操作方法について」	R5/3/16	化学・燃料電池科	15
合計			80

②担当別実績

部	食品酒類・ 研磨宝飾 技術部	電子・ システム 技術部	材料・ 燃料電池 技術部	機械 技術部	デザイン 技術部	ワイン 技術部	繊維 技術部	機械電子 技術部	合計
人数	0 (0設備)	0 (0設備)	40 (2設備)	7 (1設備)	0 (0設備)	33 (3設備)	0 (0設備)	0 (0設備)	80 (6設備)

(8) 設備利用研修 (個別)

部	食品酒類・ 研磨宝飾 技術部	電子・ システム 技術部	材料・ 燃料電池 技術部	機械 技術部	デザイン 技術部	ワイン 技術部	繊維 技術部	機械電子 技術部	合計
人数	25	13	61	0	13	0	14	35	161

5. 研究会への支援

食品酒類・研磨宝飾技術部

※参加人数 () はオンライン参加

担当	研究会名	会員数	期日	事業内容	会場	参加人数
食品酒類 ・ バイオ科	山梨県食品技術研究会	124	R4/7/11	通常総会	アイメッセ山梨	40 (20)
			R4/7/11	特別講演会	アイメッセ山梨	40 (20)
			R4/9/22	技術講座	甲府技術支援センター	24 (16)
			R5/3/13	技術講演会	甲府技術支援センター	30 (15)
合計						134

材料・燃料電池技術部

担当	研究会名	会員数	期日	事業内容	会場	参加人数
化学 ・ 燃料電池科	山梨県表面処理研究会	17	R4/6/6	総会	書面開催	-
			R4/8/30	合同勉強会	甲府技術支援センター	20 (16)
			R4/11/11	見学会	東京ビッグサイト	10
			R4/12/15	第36回研究発表会	甲府技術支援センター	13
			R5/3/16	勉強会	甲府技術支援センター	6
			R5/3/27	役員会	甲府技術支援センター	4
合計						53

機械技術部

研究会名	会員数	期日	事業内容	会場	参加人数
山梨県型技術研究会	15	R4/11/11	見学会	東京ビッグサイト	4
合計					4

デザイン技術部

研究会名	会員数	期日	事業内容	会場	参加人数
山梨県ニット研究会	19	R4/5/31	定期総会	書面開催	-
合計					-

機械電子技術部

研究会名	会員数	期日	事業内容	会場	参加人数
テクノネット「ふじざくら」	32	R4/5/23	幹事会	富士技術支援センター	9
		R4/7/21	総会	富士技術支援センター	10
		R4/7/21	講演会 「医用機器開発企業 団体 F-met+(エフメ ットプラス)の活動 紹介」	富士技術支援センター	14 (1)
		R4/7/21	「山梨医療機器研究 会の活動紹介」	富士技術支援センター	14 (1)
		R4/7/21	「MDC 推進センター の活動実績と本年度 の活動について」	富士技術支援センター	14 (1)
		R4/12/13	講演会 「自動車業界の現状 と未来」	富士技術支援センター	10
		R4/12/13	講演会 「金属 AM 業界の現 状と国内普及への課 題と将来像」	富士技術支援センター	10
合計					81

6. やまなしテキスタイルブランド確立強化支援事業

新時代の担い手ネットワーク構築事業

これからの産地を先導する若手従業者が専門家とともに情報交換、ディスカッションを行う場を設け相互のネットワーク構築を支援した。

繊維技術部

テーマ	講師	期日	会場	参加者数
「産地とデザインの不易流行 ~変わるカタチ、変わらないカタチ~」	Design Studio S 柴田文江、東京造形大学 高須賀活良	R4/12/2	ワタトウビル2Fギャラリースペース	29
「IGARASHI TROUSERSが考えるこれからの技術と価値」	(株) RIFORMA 五十嵐徹	R5/3/1	(株) RIFORMA	16
「ファッションと産地をめぐる風土と営み」	writtenafterwards 山縣良和	R5/3/20	富士技術支援センター	20

研究業務

1. 産学官連携研究の促進

(1) 研究の形態

区分	テーマ数	概要
成長戦略研究	9	やまなし科学技術基本計画に掲げる成長促進分野において、新技術の開発や新産業創出に資する研究
総理研研究	5	山梨県総合理工学研究機構※がコーディネートする産学官連携研究
経常研究	6	技術支援や企業の課題解決等のうえで必要となる研究
競争的資金研究	2	国や特殊法人が公募する競争的資金研究に採択された研究

※山梨県総合理工学研究機構は、県立試験研究機関の人的資源や設備、研究ノウハウを横断的、有機的に連携させ、新しい技術や、新しい産業創出につながる研究開発を行うとともに、産学官の連携を積極的に推進している県の組織

(2) 研究テーマ

①成長戦略研究

県産日本酒の競争力向上のための新規日本酒酵母に関する研究 (R2~R6)

長沼孝多・橋本卓也・小嶋匡人・尾形美貴 (食品酒類・バイオ科)・有泉直子 (食品酒類・研磨宝飾技術部)・北原兵庫 (山梨県酒造組合)・山村英樹 (山梨大学)

自然界から分離した酵母5株について、重イオンビーム照射 (FeあるいはAr) による変異処理を実施した。取得株の性質としては、①オフフレーバーのもととなるピルビン酸低生産性、②リンゴ酸高生産性、③吟醸香であるカプロン酸エチル高生産性を目標とし、選択薬剤を含む液体培地を使用して選抜を実施した。選抜株について、麹エキス培地を用いて発酵試験を実施したところ、目的とする性質が得られていることが確認できた。

また、県酒造組合員の酒造用水を5期にわたり採取し、酒類総合研究所標準分析法にしたがい分析を実施した。カルシウム及びマグネシウムの量を示す硬度は、ほとんどの採水地で50未満の「軟水」であった。主成分分析の結果、同じ採水地では大きなばらつきはなく、また採水の時期による違いもなかった。このことから、県酒造組合員の酒造用水は成分の変動が少なく、その性質は安定していることが分かった。

金属3Dプリンタを活用した高付加価値製品創出に関する研究 (R2~R4)

萩原義人・寺澤章裕 (素材科)・古屋雅章 (機械電子科)・石黒輝雄・西村通喜・小松利安・早川亮・米山陽・坂本智明・佐野正明 (機械技術部)・鈴木大介 (工業材料科)・清水毅・孕石泰丈 (山梨大学)・田中隆三・加納佳明・岩尾翔太 (株式会社松浦機械製作所)

金属3Dプリンタは、既存の製造法では実現困難な形状を作製できることから今後の主な製造法の一つとして期待されている。一方で、造形時の残留応力の発生による変形、仕上げ加工時の高精度加工の必要性、表面粗さの悪化等、いくつかの課題がある。

それらの課題を解決するため、金属3Dプリンタ造形物の造形条件ごとの残留応力、切削加工時の工具の摩耗量、電子ビーム加工による表面改質等に関する評価を実施した。その結果、SUS316L造形物表面の残留応力がレーザー走査速度1000 mm/sec前後で大きく変化すること、SUS316L及びニッケルアロイ718の造形材の加工性は市販材より良いこと、SUS316L造形物表面にTiN粉末 (粒径約1.6 μm) を塗布して電子ビーム加工を施すことで耐摩耗性が向上することなどを確認することができた。

高級ノンアルコール飲料の開発 (R3~R5)

尾形美貴・小嶋匡人・長沼孝多 (食品酒類・バイオ科)・有泉直子 (食品酒類・研磨宝飾技術部)・奥水精一 (株式会社ハセラボ)・久保田勇 (萌木の村株式会社)

我が国では、20歳以上のアルコールを飲まない人の割合が半数以上を占め、ノンアルコール市場は拡大を続けている。しかし、現在、上市されている商品の多くは、原材料の調合で製造された非発酵のビールテイスト飲料

であり、選択肢は十分ではない。本研究では、発酵工程を経たノンアルコール飲料を「高級ノンアルコール飲料」と定義し、その製造技術を確立して、新たな市場を開拓することを目的とした。

本年度は、マルトース非資化性酵母 *Saccharomyces ludwigii* を使用した、ノンアルコール飲料の製造のための、酒母の調製方法を検討し、発酵試験を実施した。

前培養はYPD培地5mLを使用し、25°Cで静置培養した。本培養は同培地100mLで行い、25°Cで振盪培養をした。その結果、いずれも24時間の培養で十分な菌の増殖が認められ、酒母が調製できた。また、炭素源をマルトースとした培地で、*S. ludwigii*を用い、発酵試験を実施したところ、マルトースの資化は起きず、エタノールも生成されなかった。

マグネシウム合金の表面処理による生体内分解速度制御に関する研究 (R3~R4)

鈴木大介・長田和真(工業材料科)・佐野正明(機械技術部)・八代浩二(材料・燃料電池技術部)・三井由香里(総合相談・連携推進科)・瀧川俊介(株式会社荏原製作所)・諸井明德(山梨大学)

本研究は、インプラント材としてマグネシウム合金の適用を検討するものである。マグネシウムは生体内での分解速度が速く、治癒が完了する前に完全に分解してしまうという課題がある。これに対して生体内での分解速度を調節することでこの課題の解決を試みることにした。マグネシウム表面に表面処理膜を形成し、その分解挙動について検討を行うことで、最適な期間健全性を保ちつつ、最終的に生分解を示す表面処理方法の提案を行った。

本年は純マグネシウムの圧延まま材、及び純マグネシウム圧延板に、2種類の前処理を行い、このサンプルに対して水酸化皮膜を形成し、生体内での分解、及び安定性について評価を実施した。その結果、未処理のマグネシウムと比較して、作製したサンプルは生体内での分解速度が緩やかであり、分解速度をコントロールすることに成功した。

第5世代移動通信システム(5G)用プリント配線基板材料の表面改質に関する研究 (R3~R4)

阿部治・石田正文(工業材料科)・塩澤佑一朗(製品開発科)・久保博義・須賀隆明・眞壁健司・渡辺なお記・中込雄基・工藤亜美(コミヤマエレクトロン株式会社)

第5世代移動通信システム(5G)用プリント配線基板材料として四フッ化エチレン樹脂(PTFE)が有望であるが、配線パターンを形成する銅との密着性が悪いことが課題である。そこで本研究ではPTFEを表面改質することで、PTFE基板と銅の密着性向上を目指した。

表面改質を行い銅めっきしたPTFE基板のピール強度を測定し、最適な表面改質条件について検討した。またフレキシブルプリント基板としての実用性を評価するために、260°Cのはんだ槽に5秒間浮かべるはんだ耐熱性の評価、及び2 mol/Lの塩酸または水酸化ナトリウム水溶液に5分間浸漬させる耐薬品性の評価を行ったところ、銅部分にふくれやはがれが生じないことを確認した。

山梨県の新しいブレンド白ワインに関する研究 (R3~R5)

佐藤憲亮・木村英生・恩田匠(ワイン技術部)・小松正和(化学・燃料電池科)

ワイン製造ではブレンド技術が重要な役割を果たしている。「ボルドー」などのワイン産地では2種以上の品種をブレンドすることで、より特徴的なワインの製造につながっている。一方で、本邦では、ワインのブレンド技術に関する検討例は少なく、いまだ日本ワインコンクールの「ブレンド白ワイン」カテゴリーにおいて金賞を受賞したワインはない。そこで、本研究では高品質な、山梨県産のブレンド白ワインを開発することを目的として検討を行った。

令和4年度は昨年度製成したブレンド用ベースワインを用いてブレンドワインを試作し、成分分析や官能評価を行った。また、昨年度と同様に、今年度収穫のブドウを用いてブレンド用ベースワインの試験醸造を行った。

ポーラス金属材料の射出成形金型への適用 (R3~R4)

寺澤章裕・望月陽介・萩原義人(素材料)・勝又信行・古屋雅章・渡邊慧輔(機械電子科)・石黒輝雄・早川亮・米山陽(機械技術部)・長田和真(工業材料科)・水越彦衛(株式会社道志化学工業所)

ポーラス金属材料は、材料内に多数の気孔を含んだ多孔質体であり、強度を保ちつつガスを通すことが可能なことから、金型ガス抜き部材等への活用が期待されている。また、金属3Dプリンタは、造形条件の設定によりポーラス金属の造形が可能である。そこで、金属3Dプリンタを用いて造形したポーラス金属材料を、金型ガス抜き部材へ適用することを目的として研究を実施した。

初年度は、金属3Dプリンタの造形条件と造形物の密度及び強度の関係性を明らかにした。今年度は、金型内のガス圧測定が可能な実験用金型に、金属3Dプリンタで造形したポーラス金属部分を有する入れ子を取り付けて射出成形実験を行った。その結果、ポーラス金属を金型ガス抜き部材に適用することで、射出成形時の金型内ガス圧の上昇を抑制でき、ガス排出効果の有効性を確認できた。

健康志向のパン製造技術の開発 (R4~R6)

樋口かよ・橋本卓也・長沼孝多(食品酒類・バイオ科)・有泉直子(食品酒類・研磨宝飾技術部)・芦澤里樹(化学・燃料電池科)

近年、健康志向や地産地消への関心の高まりから、本県的小麦奨励品種である「ゆめかおり」を原料とした小麦粉や全粒粉を使用したパンの開発が積極的に行われている。一方で、全粒粉を使用して試作したパンについて、比容積が小さく、独特の風味となるため、商品化や製造が難しいという相談が寄せられていた。そこで、県産小麦のふすまや全粒粉の成分分析や機能性の評価を行うとともに、風味や製パン性を向上できるような製造方法を研究した。

県産小麦「ゆめかおり」の成分分析の結果、小麦粉(A粉)よりふすま及び原麦に、食物繊維総量及び水溶性ビタミンB群が多く含まれることが確認され、機能性の高い食品素材として活用できることが分かった。

また、風味の改善について検討した結果、原麦の焙煎により、ピラジン系などの香り成分の増加が確認され、風味向上につながる事が分かった。

CNF技術を応用した新規和紙製品開発 (R4~R6)

芦澤里樹・宮澤航平(化学・燃料電池科)・塩澤佑一朗(製品開発科)・小嶋匡人(食品酒類・バイオ科)・佐藤博紀(デザイン技術部)・森長久豊(山梨大学)・一瀬清治(市川和紙工業協同組合)・笠井伸二(有限会社山十製紙)・望月秀一(身延町西嶋和紙の里)

セルロースナノファイバー(CNF)は、植物由来の新素材であり、軽量で高強度、高い乳化特性を有するなど多くの優位性を持つ材料のために産業応用が期待されている。本研究では、CNF応用技術を利用して和紙の耐水性、耐摩耗性を向上し新規和紙製品開発を行うことを目的としている。木材パルプから作られるセルロース系材料の一種であるカルボキシメチルセルロースの和紙への含浸と金属イオンによる架橋で、耐水性と耐摩耗性が向上することが分かった。また、カルボキシメチルセルロースにCNFを添加して含浸することで、これらの特性がさらに向上することが分かった。

②総理研研究

獣類侵入防止技術の確立 (R2~R4)

清水章良・中村卓・富永裕輝(電子応用科)・三神武文(化学・燃料電池科)・本田剛(総合農業技術センター)・宇佐美二郎(株式会社末松電子製作所)

※商品化に関する情報が含まれるため、本誌には掲載いたしません。

ICT・IoTを活用した農作物の生育と害虫発生の予測 (R2~R4)

布施嘉裕・保坂馨・中込広幸・永田靖貴(システム開発科)・池田博彦・内田一秀・芦澤勇太・鷹野公嗣・鈴木美奈子(果樹試験場)・上野直也・志村純子・石井利幸・高橋真史(総合農業技術センター)

近年は、気象変動により農作物の生育や害虫の発生時期がこれまでより著しく早くなる、あるいは遅くなる事例が多く見られ、農作業の計画的な実施や害虫の適期防除が難しくなっている。一方、最近ではICT(情報通信技術)、IoT(モノのインターネット)を利用し、気象や栽培環境を解析することで、農作物の生育や害虫の発生の予測が可能となっている。そこで、本研究では農研機構「メッシュ農業気象データシステム」を活用して、農作物の生育・害虫の発生・施設果樹の低温積算時間の予測を行う仕組みを構築し、県内農業の振興と生産の安定化を図る。

産業技術センターにおいて、令和4年度は、試作した強制通風筒搭載IoTシステムとメッシュ農業気象データシステム間の温度の相関分析及び画像解析によるモモの生育判断手法の検討を実施した。

山梨県固有のデザインソースの集積と「山梨らしさ」を付加価値とした製品等の開発に関する研究 (R3~R5)

串田賢一・佐藤博紀(デザイン技術部)・秋本梨恵(技術支援科)・中村卓・富永裕輝(電子応用科)・郷健太郎・木下雄一朗(山梨大学)・森原明廣・小畑茂雄・海老沼真治・中野賢治・松田美沙子・西願麻以・近藤暁子・丸尾依子(博物館)・山形敏貴(文学館)

本県の地域、地場産品のブランディングをデザインの視点から推進するため、①地域固有のデザイン資源の掘り起こし~コンテンツ化とデザインデータベースづくり、②付加価値の源泉となる「山梨らしさ」の構成要素の解明、③「山梨らしさ」を織り込んだ新たな名産となる地場産品の試作開発の3点に取り組んでいる。このうち、令和4年度は①、②について中心的に実施した。

①については、地域に古くから存在している「文字」や民俗資料群に着目し、地域に古くからある店舗看板、甲州文庫の取材を通して100点以上の特徴あるデザインソースをデジタルデータ化した。また、これらのデザインデータを流通させるための基盤システムとして、5年前から運用しているデザインデータベース「YAMANASHI DESIGN ARCHIVE」をより使いやすくするための改修を行った。

②については、人文科学、感性工学、深層学習の3つの異なる手段によりアプローチし、これまで指摘されてこなかった新たな山梨観の発見、本県のイメージを説明する4つの因子の特定、画像をベースとしたAIによる評価モデルの作成といった成果を得た。

Fe-Ga単結晶を用いた振動発電IoTデバイスの実用化に向けた研究 (R3~R4)

望月陽介(素材料)・八代浩二(材料・燃料電池技術部)・勝又信行・古屋雅章・渡邊慧輔(機械電子科)・萩原義人・寺澤章裕(素材料)・石黒輝雄・坂本智明(機械技術部)・中村聖名(機械電子技術部)・鈴木茂(東北大学)・上野敏幸(金沢大学)

製造業の生産性向上のためIoT技術の活用が有効であるが、費用や手間がかかることからシンプルで安価なIoTシステムへのニーズがある。これまで振動エネルギーを利用して自ら発電する新磁歪材料(Fe-Ga単結晶)を用いたIoTデバイスの開発・普及に取り組んできた。本研究ではFe-Ga単結晶から作製する素子の特性のばらつきについてその要因(加工位置や加工方法)を調査するとともに、各種処理によりその改善方法を検討し、素子特性を均質化することができた。またデバイス構造について錘や磁石、フレーム材料について共振周波数や振幅、出力電圧への影響を調査するとともに、解析ソフトを用いて振動をシミュレーションしフレーム構造を検討することで、同一振幅の振動に対して出力電圧を向上させたデバイスを作製することができた。

富士山噴火の減災に資する実験教材の開発 (R4~R6)

五十嵐哲也・秋本梨恵(技術支援科)・吉本充宏・久保智弘・石峯康浩・本多亮・西澤達治・古屋和仁・篠原良典・内山高・三ツ井聡美(富士山科学研究所)・酒井慎一(東京大学)・内山美恵子(都留文科大学)・秦康範(山梨大学)・横山光(北翔大学)・アディコ株式会社

富士山において噴火発生時に、被害を軽減するための要素の一つとして地域住民が主体的に行動できる能力(地域防災力)を向上させることがあげられる。本研究では、知識の学習に基づいて主体的に行動することができる災害に強い小中学生の育成に資する、災害に関する実験教材の開発を行う。これらの教材を活用して児童、教員、親世代の火山知識を向上させることにより減災を目指す。当センターでは研究のうち主に実験装置の設計、デザイン、改良について取り組んでいる。噴煙実験装置を使用した教員による研究会及び勝山小学校での防災授業において実験装置の組み立て～実験の様子を観察し、課題を抽出した。設計や素材の検討を行い、改良点を反映した試作を2点制作、組み立て～実験の検証を行った。また装置の組み立て方法を分かりやすく伝える説明資料案を作成した。

③経常研究

デジタルジャカード技術による色彩表現 (R3~R4)

五十嵐哲也・秋本梨恵(技術支援科)・豊浦正広・茅暁陽(山梨大学)

本県織物産地は厳しい経営環境のなかで、先染め、ジャカードなどの技術的特長を生かした提案型企業を目指す戦略が求められている。それに対応するため、デジタル技術によるジャカード表現方法について階調変化のスムーズさや高精細な分解能を再現する独自技術の開発と市場化支援を行ってきた。今後さらに市場化を推進するため、本研究ではこれまで重点を置いてきたモノクローム画像の再現性の向上から、色彩表現に重点を置いたアプローチにより新たな商品開発を可能とする独自技術の開発を行った。

その結果、これまでに確立した経糸に白または黒、緯糸に三原色の計4色を用いる手法に加え、新たに三原色のほかに経糸が黒のとき白、経糸が白のとき黒を緯糸に加え、緯糸4色とする手法についても、色数と織物組織の最適な組み合わせを選択することで良好な結果が得られることが分かった。

プラスチック材料の耐候性における水噴霧の影響 (R3~R5)

尾形正岐(製品開発科)・古屋雅章・渡邊慧輔・勝又信行(機械電子科)

耐候性試験機で屋外暴露を再現する際の基準となる試験条件を見出すために研究を行った。代表的なプラスチック材料(ABS、PP、PC)の試験片に対して、メタルハライドランプ式耐候性試験機(以下、メタハラと略記)による照射と屋外暴露を行った。メタハラによる照射は、①102分間照射のみ行った後に18分間照射とともに水噴霧を行うサイクル(120分/サイクル)、②48分間照射のみ行った後に12分間照射とともに水噴霧を行うサイクル(60分/サイクル)、③9分間照射のみ行った後に1分間照射とともに水噴霧を行うサイクル(10分/サイクル)の3つの条件を実施した。これら3つの条件の試験経過時間が同じとなるような試験サンプル(例えば、50、100時間)を作製し、屋外暴露サンプルと比較するために引張試験を行った。その結果、①~③の条件では屋外暴露を再現できなかったが、1サイクルあたりの時間を短くし、照射時間を多くすることで強度が低下することが分かった。屋外暴露を再現するためにはサイクル条件をさらに検討する必要がある。

EMI試験における特性改善に関する研究 (R4~R5)

清水章良・富永裕輝 (電子応用科)

全ての電子機器は電磁波を放射しており、各国や地域の規制により許容値が設定されている。当センターにおいても電子機器から放射される電磁波の測定を実施しているが、アンテナや測定ケーブルの特性、外部からの不要な電磁波などにより測定結果にノイズ成分が含まれてしまっている。本研究では測定系統で生じているノイズ成分について調査を行い、それらの低減化について検証を行い、試験結果がノイズ成分に埋もれることの無い信頼性の高い測定ができるような環境の構築を目指すことにした。令和4年度は伝送ケーブルに着目し、光伝送方式について検証を行った。

めっき工場における生産工程データを活用した製品不良原因の検討 (R4)

塩澤佑一朗 (製品開発科)・小松正和 (化学・燃料電池科)・田中勇一郎 (株式会社エム・エフ・ピー)

めっきは、工業製品に耐食性や装飾性を付与する目的で施される。その処理工程や仕上がった製品の経時変化において、めっきの剥離や腐食といったトラブルが発生することがある。この原因の追究は品質を保つ上で重要であるが、めっき製品は多くの製造工程を経るため最終製品から不良原因を特定するのが困難な場合がある。そこで本研究では、製品だけでなく、工程の詳細なデータを取得することに注目した。従来よりも短い時間間隔でデータを取得して分析することにより、めっきの処理工程や製品の高品質化につなげることを目的とした。工場において取得しためっき電流値のログデータを解析したところ、めっき品質の向上につながる情報を得ることができた。

水素・燃料電池システムの多用途展開に関する研究 (R4)

坂本智明・石黒輝雄・佐野正明 (機械技術部)・岩間貴司 (管理・連携推進センター)・稲垣有弥 (山梨大学)・佐藤幸徳・雨宮章悟・平川文洋・金子洸三 (日邦プレジジョン株式会社)

産学官連携事業による小型・軽量の燃料電池スタックの研究が進み、電動アシスト自転車向け電源ユニットとして技術開発が進展している。本研究では、燃料電池アシスト自転車の試作・開発時に必要不可欠となる使用時の安全性を担保するための再現試験方法を検討し、企業による製品の設計開発を支援するため研究を行った。様々な路面条件を想定した実走行を実施し、車両に加わる振動・衝撃を加速度センサにより計測収集し、走行条件ごとにデータを解析し振動・衝撃の強さ・振動数を特定した。衝撃値の測定結果からは衝撃試験時に使用するパラメータとして最も厳しい試験条件を得た。また振動の測定結果を解析し、使用開始後6年間に受ける想定される振動耐久性の評価を、6.5時間で行えるような振動試験条件を得ることができた。この条件を産業技術センターが保有する振動試験機により実施可能なことを確認した。

バナジウム染色加工製品の品質化に関する研究 (R4~R5)

宮澤航平・芦澤里樹 (化学・燃料電池科)・上垣良信 (企画・情報科)・望月威夫・塩澤佑一朗 (製品開発科)・佐藤哲也 (山梨大学)

当センターではこれまでに、バナジウム染色加工技術を開発してきた。この技術ではすでに特許を取得し、県内企業により新製品開発に活用されている。一方で、調色の容易化や機能性の向上が製品化を推進する上で課題となっている。製品の色や機能性は繊維上のバナジウムの化学構造が大きく関与している可能性がある。そこで本研究は、繊維上に担持されたバナジウム化合物の化学構造と繊維の色及び機能性等を比較検討し、課題解決に役立てるとともに、更なる製品開発の促進を図ることを目的として実施した。令和4年度は、バナジウムの結合状態が異なる2種類のレーヨンサンプルを作製し、バナジウムの結合状態の解析手法についての検討と光吸収発熱特性の変化についての調査を行った。その結果、ESRを用いることで繊維上のバナジウムの結合状態の違いを識別可能であることが分かった。またバナジウムの結合状態が繊維の光吸収発熱特性に大きく関与していることが分かった。

④競争的資金研究

難燃性マグネシウム合金ダイカストによる自動車用大型部材製造技術の開発 (R4~R5)

佐野正明 (機械技術部)・八代浩二 (材料・燃料電池技術部)・鈴木大介・長田和真 (工業材料科)・三井由香里 (総合相談・連携推進科)

本事業の前身のプログラムで、「安価で量産効果の高い難燃性マグネシウム合金ダイカストによるホイール製造プロセス」、「ホイールに最適化した難燃性マグネシウム合金」を開発し、「①アルミニウムホイール比重量 20%削減、②コスト 6,000 円/本 (14 インチ)」という成果を得ることができた。一方で、国内における自動車販売の過半数を占める軽自動車及び小型普通自動車に求められるホイールサイズは 15 インチ及び 16 インチに集中して

いる。本事業は、今までに得られた成果を活用、発展させて自動車用大型ホイール製造技術を確立することを目的として行った。前事業で開発した難燃性マグネシウム合金 AEX610 に対する類似合金 (AEX500, AEX610 (R) 及び AEX810) との評価・検証を行うために、350t ダイカストマシンにより試験片を作成し耐食性試験を行った。AEX610 は他の合金と同様に、耐食性は良好で、表面処理を施すことで更に耐食性が向上することが確認できた。

※本研究は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) の助成を受けて実施した。

重複肢体不自由者の3次元空間把握のための視線入力訓練法と移動支援ロボットでの実証 (R4)

中込広幸 (システム開発科) ・石田和義・渡辺寛望・渡辺喜道・小谷信司 (山梨大学)

これまでの研究において、重複肢体不自由者 (両手・両足・指が動かず、発話も出来ない) に対して視線入力の研究・技術を利用して双方向のコミュニケーションを実現した。さらなる課題として、移動における自立の実現に取り組んだ。

産業技術センターにおいて、「絶対にぶつからない移動支援ロボット」のためのセンサ処理、地図作成に関する研究開発を担当した。センサーモジュール、及び ROS2 (Robot Operation System 2) を用いた電動車いすの制御プログラムを開発した。

さらに、ROS2 による電動車いすの制御が可能か検証するため、電動車いすの挙動、及び 3D-LiDAR の再現が可能なシミュレータを開発した。ROS2 により構築された自律移動システムを、シミュレータ内の電動車いすの制御に適用し、地図作成、及び自律移動が可能であることを確認した。

※本研究は、JSPS 科研費 JP21H00900 の助成を受けて実施した。

2. 産業財産権の取得状況

(1) 産業財産権（県単独）

種別	登録番号 (登録日)	出願番号 (出願日)	名称	発明者
特許	4963118 (H24/4/6)	2008-212725 (H20/8/21)	動物繊維における銀染色方法、2-メルカプトエタンスルホン酸塩水溶液を用いた銀染色の制御方法、及びこれらの方法を適用した動物繊維	上垣良信 渡辺 誠
	5948551 (H28/6/17)	2014-022852 (H26/2/7)	装身具用合金	宮川和博 有泉直子 望月陽介 鈴木文晃 清水 進
	6711983 (R2/6/2)	2015-232550 (H27/11/29)	光電界センサおよび電磁界計測装置	木島一広 萩原 茂 河西伸一 河野 裕 阿部 治 清水章良 中村 卓
	6716808 (R2/6/15)	2017-055305 (H29/3/22)	表示具と果実の生産方法	佐藤博紀 荻原栄揮 池田博彦 富田 晃
	6792108 (R2/11/10)	2019-569988 (H31/4/23)	光吸収発熱保温用複合体とその製造方法	上垣良信 阿部 治 塩澤佑一朗
	6823824 (R3/1/14)	2016-171295 (H28/9/1)	マイクロ流体デバイス	山田博之 西村通喜 長田和真 阿部 治 尾形正岐 高尾清利
	6980238 (R3/11/19)	2020-88529 (H31/4/23)	光吸収発熱保温用複合体	上垣良信 阿部 治 塩澤佑一朗
商標	5421791 (H23/7/1)	2011-001192 (H23/1/12)		五十嵐哲也 上垣良信
	6138451 (H31/4/19)	2018-165529 (H30/12/21)	URUSHINASHIKA	串田賢一
	6138452 (H31/4/19)	2018-165530 (H30/12/21)		串田賢一

種別	登録番号 (登録日)	出願番号 (出願日)	名称	発明者
商標	6278668 (R2/8/11)	2019-108323 (R1/7/25)		佐藤博紀
意匠	1578913 (H29/5/19)	2013-023371 (H25/10/4)	塗り絵用紙	串田賢一

(2) 産業財産権 (共同出願)

種別	登録番号 (登録日)	出願番号 (出願日)	名称	発明者	共有権者
特許	4444162 (H22/1/22)	2005-149471 (H17/5/23)	鋼材の熱処理方法および熱処理装置	八代浩二 清水誠司 鈴木大介	浅川熱処理 (株) (株) 丸真熱処理工業
	5396579 (H25/11/1)	2007-530913 (H18/3/16)	酸化亜鉛薄膜の製造方法及び製造装置	今津千竹 萩原 茂 木島一広 阿部 治	山梨大学 (株) 中家製作所
	6152520 (H29/6/9)	2014-094992 (H26/5/2)	ジャカード織物パターンの生成方法、装置およびプログラム	五十嵐哲也 秋本梨恵	山梨大学
	6302696 (H30/3/9)	2014-025174 (H26/2/13)	マグネシウム合金の表面処理方法	八代浩二 佐野正明 三井由香里 坂本智明	権田金属工業 (株)
	6306437 (H30/3/16)	2014-113615 (H26/5/31)	縦型成膜装置	萩原 茂 河野 裕 早川 亮 星野昌子	山梨大学 (株) 中家製作所
	6746830 (R2/8/11)	2016-15779 (H28/1/29)	ジャカード織物多色織パターンの生成方法、装置およびプログラム	五十嵐哲也	山梨大学
	7085731 (R4/6/9)	2018-042581 (H30/3/9)	発酵ゆば食品	小松正和 木村英生 佐藤憲亮	望月五夫
	7228139 (R5/2/15)	2019-86340 (H31/4/26)	白色革の製造方法	串田賢一 渡辺 誠	(有) レオン・インター ナショナル
意匠	1611314 (H30/7/27)	2017-008220 (H29/3/30)	ブリーフケース	串田賢一 佐藤博紀	やまなし森の紙推進 協議会

(3) 産業財産権 (国際特許)

種別	登録番号 (登録日)	登録国	名称	発明者	共有権者
特許	US7744965B2 (H22/6/29)	米国	酸化亜鉛薄膜の製造方法及び製造装置	今津千竹 萩原 茂 木島一広 阿部 治	山梨大学 (株)中家製作所
	1755154 (H23/2/16)	欧州			

(4) 産業財産権出願中 (県単独)

種別	出願番号 (出願日)	公開番号 (公開日)	名称	発明者
特許	2019-057866 (H31/3/26)	2020-156654 (R2/10/1)	ワックス模型及びその作製方法	林 善永 神藤典一 宮川和博 小松利安 有泉直子
	2019-057867 (H31/3/26)	2020-156655 (R2/10/1)	ワックス模型の作製方法	林 善永 神藤典一 宮川和博 小松利安 有泉直子
	2020-176430 (R2/10/21)	2022-067707 (R4/5/9)	手術器具	山田博之 阿部 治 西村通喜 高尾清利
	2023-042428 (R5/3/16)	—	パンの製造方法、生地 <small>の</small> 製造方法、小麦粉焼成物の製造方法およびパン	樋口かよ 橋本卓也 長沼孝多 有泉直子 芦澤里樹

(5) 産業財産権出願中 (共同出願)

種別	出願番号 (出願日)	公開番号 (公開日)	名称	発明者	共有権者
特許	2020-12516 (R2/1/29)	2021-116395 (R3/8/10)	硬化性樹脂組成物、硬化体、セルロースナノファイバー材料、及びセルロースナノファイバー材料の製造方法	芦澤里樹	山梨大学
	2020-173626 (R2/10/14)	2022-064790 (R4/4/26)	耐水紙の製造方法および耐水紙	芦澤里樹	(有)山十製紙 身延町
	2021-006211 (R3/1/19)	2022-110667 (R4/7/29)	磁気バレル研磨方法	林 善永 宮川和博 小松利安 有泉直子	山梨大学

種別	出願番号 (出願日)	公開番号 (公開日)	名称	発明者	共有権者
特許	2022-79503 (R4/5/13)	—	伸線加工方法及び鋼線	長田和真 石田正文 鈴木大介 阿部 治 佐野正明 深澤郷平	(株)降矢技研
	2022-133714 (R4/8/25)	—	マグネシウム合金の表面改質方法	八代浩二 佐野正明 三井由香里 鈴木大介	(株)グローバルマグネシウムコーポレーション

3. 課題対応受託研究

企業が新技術・新製品の研究開発等を行う際に、実施が困難な課題について、専門知識を持つ職員が、センターの所有する設備や機器を利用し当該課題解決のために研究を行った。

部	食品酒類・ 研磨宝飾 技術部	電子・ システム 技術部	材料・ 燃料電池 技術部	機械 技術部	デザイン 技術部	ワイン 技術部	繊維 技術部	機械電子 技術部	合計
件数	0	0	2	1	0	2	1	0	6

4. 業績発表

(1) 口頭発表（学会等）

題名	発表者氏名（所属）	発表学会名	会場	期日
蛍光指紋によるルビーの産地鑑別の可能性	佐藤貴裕・宮川和博・佐野照雄（研磨・宝飾科）・有泉直子（食品酒類・研磨宝飾技術部）・笠原茂樹・小泉一人（宝石貴金属協会）・高橋泰（宝石美術専門学校）・松本一雄（山梨県水晶宝飾協同組合）	2022年度宝石学会（日本）講演会・総会	（オンライン開催）	R4/6/11
難燃性マグネシウム合金の耐食性向上に関する研究	佐野正明（機械技術部）・八代浩二（材料・燃料電池技術部）・鈴木大介（工業材料科）・三井由香里（総合相談・連携推進科）	（一社）表面技術協会第146回講演大会	埼玉工業大学	R4/9/7
マグネシウム合金の耐食性皮膜形成に及ぼす表面性状の影響（第1報）-表面仕上げの影響-	八代浩二（材料・燃料電池技術部）・佐野正明（機械技術部）・鈴木大介（工業材料科）・三井由香里（総合相談・連携推進科）	（一社）表面技術協会第146回講演大会	埼玉工業大学	R4/9/7
マグネシウム合金の耐食性皮膜形成に及ぼす表面性状の影響（第2報）-加工影響層の挙動-	鈴木大介（工業材料科）・八代浩二（材料・燃料電池技術部）・佐野正明（機械技術部）・三井由香里（総合相談・連携推進科）	（一社）表面技術協会第146回講演大会	埼玉工業大学	R4/9/7
電子ビーム加工による金属AM造形物の表面改質に関する研究	萩原義人・寺澤章裕（素材科）・早川亮・佐野正明（機械技術部）・鈴木大介（工業材料科）	電気加工学会全国大会（2022）	名古屋工業大学	R4/11/24~25
難燃性マグネシウム合金の耐食性向上に関する研究（第2報）-実用化に向けた表面処理面の特性評価-	佐野正明（機械技術部）・八代浩二（材料・燃料電池技術部）・鈴木大介（工業材料科）・三井由香里（総合相談・連携推進科）	（一社）表面技術協会第147回講演大会	千葉工業大学	R5/3/8
マグネシウム合金の耐食性皮膜形成における表面性状の影響（第3報）-鋳造材のひずみ分布-	鈴木大介（工業材料科）・八代浩二（材料・燃料電池技術部）・佐野正明（機械技術部）・三井由香里（総合相談・連携推進科）	（一社）表面技術協会第147回講演大会	千葉工業大学	R5/3/8

題名	発表者氏名 (所属)	発表学会名	会場	期日
大気圧熱水処理によるマグネシウム合金の耐食性向上技術の開発	八代浩二 (材料・燃料電池技術 部)・佐野正明 (機械技術 部)・鈴木大介・長田和真 (工業材料 科)・三井由香里 (総合相談・ 連携推進科)・野坂洋一 ((株)カ ローハルマグネシウムコーポ レーション)	(一社)表面技術協会 第 147 回講演大会	千葉工業大学	R5/3/8
SUS316L 材へのボールエンドミル による超音波ピーニング加工	米山陽・石黒輝雄 (機械技術 部)・孕石泰丈・清水毅 (山梨 大学)	2023 年度精密工学会 春季大会学術講演会	東京理科大学	R5/3/14~16
往復運動平面摩耗試験装置を用 いた円柱形状試験片における硬 質アルマイトの摩耗特性評価	塩澤佑一朗 (製品開発科)	一般社団法人表面技術 協会 第 110 回 アノ ード酸化皮膜の機能化 部会 (ARS 部会) 例会 SURTECH2023 部会講 演会	東京ビッグサイ ト	R5/2/3
機械的振動に応答する機能性鉄 合金の特性の評価	鈴木茂・千葉雅樹 (東北大学)・ 熊谷正芳 (東京都市大学)・佐 藤成男 (茨城大学)・望月陽介 (素材科)・八代浩二 (材料・ 燃料電池技術部)	(一社) 日本鉄鋼協会 第 185 回春季講演大会	東京大学駒場 I キャンパス	R5/3/8~10
鋳造したマグネシウム合金の表 面ひずみ分析測定 (第 2 報)	鈴木大介 (工業材料科)・八代 浩二 (材料・燃料電池技術部)・ 佐野正明 (機械技術部)・三井 由香里 (総合相談・連携推進科)	(公社)日本材料学会 第 56 回 X 線材料強度に 関するシンポジウム	日本材料学会	R4/7/22
我が国で製造されたスパークリ ングワインの特性解析	恩田匠・佐藤憲亮・木村英生 (ワ イン技術部)	日本ブドウ・ワイン学 会 2022 甲府大会	(オンライン開 催)	R4/11/21~27
‘甲州’を原料としたオレンジ ワイン製成における色調の制御 について	木村英生・佐藤憲亮・恩田匠 (ワイン技術部)小松正和 (化 学・燃料電池科)	日本ブドウ・ワイン学 会 2022 甲府大会	(オンライン開 催)	R4/11/21~27
フッ素樹脂の親水化表面改質に 関する研究	久保博義・中込雄基 (コミヤマ エレクトロン)・佐藤哲也 (山 梨大学)・阿部治 (工業材料 科)・塩澤佑一朗 (製品開発 科)・石田正文 (工業材料科)	(公社)精密工学会 2023 年度精密工学会 春季大会	東京理科大学 葛飾キャンパス	R5/3/15
フッ素樹脂の表面改質を応用し た 5G、6G 向けプリント基板に関 する研究	久保博義・中込雄基 (コミヤマ エレクトロン)・佐藤哲也 (山 梨大学)・阿部治 (工業材料 科)・塩澤佑一朗 (製品開発 科)・石田正文 (工業材料科)	(公社)精密工学会 2023 年度精密工学会 春季大会	東京理科大学 葛飾キャンパス	R5/3/15

(2) 口頭発表（その他）

題名	発表者氏名（所属）	発表学会名	会場	期日
山梨県産業技術センターにおける ROS を使用したロボット開発の取り組みについて	中込広幸・保坂響・布施嘉裕（システム開発科）	第 18 回地域交流ワークショップ	SORA 札幌コンベンションセンター （オンライン開催）	R4/6/1
産業技術支援の取り組みについて	山田博之（企画連携推進部）	第 8 回山梨県産業技術支援交流会 2022	山梨県立図書館	R4/10/12
「山梨県における事例発表」生産性向上支援ツール yisPIP 及び DX 実証フィールド紹介	永田靖貴・阿部正人（システム開発科）	産業技術連携推進会議 情報通信・エレクトロニクス部会 第 20 回組込み技術研究会	甲府技術支援センター （オンライン開催）	R4/11/18
山梨県産業技術センターのワイン高品質化の取り組みについて	恩田匠（ワイン技術部）	東京国税局職員研修会	東京国税局	R5/2/17
山梨県産業技術センターにおける日本酒に関する支援について	長沼孝多（食品酒類・バイオ科）	第 111 回南部杜氏夏期酒造講習会	ホテル千秋閣 （オンライン開催）	R4/7/25
果樹残渣から作るバイオベースポリマーと補強材の複合体	芦澤里樹（化学・燃料電池科）	2022 年度 JST 新技術説明会	（オンライン開催）	R5/1/17

(3) ポスター発表（学会等）

題名	発表者氏名（所属）	発表学会名	会場	期日
山梨県の伝統発酵食品「しょうゆの実」の菌叢解析	長沼孝多・尾形美貴・小嶋匡人（食品酒類・バイオ科）・有泉直子（食品酒類・研磨宝飾技術部）・青山智彦（memes outdoor design）・早川正幸（山梨県立大学）・飯泉裕紀貴・山村英樹（山梨大学）	日本農芸化学会関東支部 2022 大会	東京農業大学アカデミアセンター	R4/8/27
TEMPO 酸化を利用したセルロース系繊維への光吸収発熱特性の付与	芦澤里樹（化学・燃料電池科）・塩澤佑一朗（繊維技術部）・宮澤航平（化学・燃料電池科）・上垣良信（企画・情報科）・村松正仁（カセン和紙工業(株)）	セルロース学会第 29 回年次大会	金沢市文化ホール	R4/7/21~22
新しい肉質のモモの調理・加工適性の検討	樋口かよ・長沼孝多・尾形美貴（食品酒類・バイオ科）・山下路子・桐原峻・加藤治・秋山友了・國友義博・新谷勝広（山梨県果樹試験場）	日本調理科学会 2022 年度大会	姫路市文化コンベンションセンターおよび兵庫県立大学姫路環境人間キャンパス （ハイブリッド開催）	R4/9/2~3

題名	発表者氏名 (所属)	発表学会名	会場	期日
色情報に基づくモモの開花率推定と満開日予測	保坂響・中込広幸・布施嘉裕(システム開発科)・池田博彦(山梨県果樹試験場)	動的画像処理実利用化ワークショップ DIA2023	ライトキューブ 宇都宮	R5/3/2~3
焙煎によるゆめかおりの二次加工適性について	橋本卓也・樋口かよ・長沼孝多(食品酒類・バイオ科)・有泉直子(食品酒類・研磨宝飾技術部)	令和5年日本食品科学工学会関東支部大会	実践女子大学	R5/3/11

(4) 学会誌掲載

題名	発表者氏名 (所属)	誌名	掲載巻・ページ
「材料」特集号発刊に際して	佐野正明 (機械技術部)	電気加工学会誌	Vol. 56, No. 142, 2022. 7, p93 (2022)
国産スパークリングワイン製造の最終工程における糖分添加の影響	恩田匠 (ワイン技術部)・小松正和 (化学・燃料電池科)・中山忠博 (元ワイン技術部)	日本食品科学工学会誌	Vol. 69(4), pp155-162 (2022)
Magnetic Properties and Substructure of Iron-Gallium Alloy Single Crystals Processed from Ingot to Wafers	千葉雅樹・丹野健徳・阿部真帆・栢修一郎・石山和志・川又透・梅津理恵・杉山和正 (東北大学) 佐藤成男 (茨城大学) 望月陽介 (素材科) 八代浩二 (材料・燃料電池技術部) 熊谷毅・福田承生 (福田結晶技術研究所) 田中俊一郎・鈴木茂 (東北大学)	Materials Transactions	Vol. 63(4), pp502-507(2022)
Synthesis of a Bio-based Epoxy-carboxy Network and Its Reinforcement with Lignocellulose Nanofiber	森長久豊・小池優孝・埴原俊介 (山梨大学)・芦澤里樹 (化学・燃料電池科)	Chemistry Letters	Vol. 51, pp622-624(2022)
マロラクティック発酵を阻止した伝統製法スパークリングワイン製造における成分推移	恩田匠 (ワイン技術部)・小松正和 (化学・燃料電池科)・中山忠博 (元ワイン技術部)	日本醸造協会誌	Vol. 117(10), pp724-730(2022)
大気圧熱水処理によるマグネシウム合金の耐食性向上技術の開発	八代浩二 (材料・燃料電池技術部)・佐野正明 (機械技術部)・鈴木大介 (工業材料科)・三井由香里 (総合相談・連携推進科)・長田和真 (工業材料科)・野坂洋一 ((株) グローバルマグネシウムコーポレーション関東オフィス)	表面技術	Vol. 74(1), pp54-55(2023)

(5) 専門誌等掲載

題名	発表者氏名 (所属)	誌名	掲載巻・ページ
イノベーションを創出する素形材産学連携 第13回「山梨県産業技術センターにおける産学官連携の取り組み」	石田正文 (工業材料科)・佐野正明 (機械技術部)	素形材	Vol. 63, No. 8, pp46-52 (2022)
3D プリンティングで作製した樹脂型の射出成形への適用	古屋雅章 (機械電子科)	型技術	第37巻, 第11号, 通巻468号, pp76-79
山梨県産業技術センターにおける水素・燃料電池に関する取り組み	三神武文 (化学・燃料電池科)	日本における燃料電池の開発 2022 Fuel Cell RD & D in Japan 2022	pp43-44 (2022)
日本ワインコンクール (Japan Wine competition) 2022 報告	恩田匠 (ワイン技術部)	日本ブドウ・ワイン学会誌	Vol. 33(2, 3) pp121-128 (2022)
県産日本酒の競争力向上のための新規日本酒酵母に関する研究	長沼孝多・橋本卓也・小嶋匡人・尾形美貴 (食品酒類・バイオ科)・有泉直子 (食品酒類・研磨宝飾技術部)	食品試験研究 成績・計画概要集	p69 (2022)
高級ノンアルコール飲料の開発	尾形美貴 (食品酒類・バイオ科)・有泉直子 (食品酒類・研磨宝飾技術部)・小嶋匡人・長沼孝多 (食品酒類・バイオ科)	食品試験研究 成績・計画概要集	p70 (2022)
山梨県産ワインの多様化および品質安定に関する研究	木村英生 (ワイン技術部)・小松正和 (化学・燃料電池科)・佐藤憲亮・恩田匠 (ワイン技術部)	食品試験研究 成績・計画概要集	p71 (2022)
山梨県の新しいブレンド白ワインに関する研究	佐藤憲亮・木村英生 (ワイン技術部)・小松正和 (化学・燃料電池科)・恩田匠 (ワイン技術部)	食品試験研究 成績・計画概要集	p72 (2022)
山梨県産業技術センターにおける食品関連の研究概要	内藤裕利	食品の試験と研究	第57号, pp39-40 (2022)
原点は2階社員食堂 (My Origin from Canteen on the Second Floor)	鈴木大介 (工業材料科)	材料	Vol. 71, No. 9, p809 (2022)
燃料電池のセル評価	大丸明正	燃料電池	Vol. 22, No. 3, pp38-44

人材育成業務

1. 出前技術講座

(1) 講座一覧

※受講者数 () はオンライン参加

	講座	実施日	担当	受講者数
1	yisPIP オンデマンドセミナー 第1回 Raspberry Pi 開発環境構築	R4/5/25	システム開発科	5
2	yisPIP オンデマンドセミナー 第2回 GPIO 制御	オンデマンド (R4/5/9～ 10/28)	システム開発科	5 (5)
3	yisPIP オンデマンドセミナー 第3回 センサデータ取得技術	オンデマンド (R4/5/9～ 10/28)	システム開発科	5 (5)
4	yisPIP オンデマンドセミナー 第4回 PLC データ取得・制御技術	オンデマンド (R4/5/9～ 10/28)	システム開発科	5 (5)
5	yisPIP オンデマンドセミナー 第5回 データ活用技術	オンデマンド (R4/5/9～ 10/28)	システム開発科	5 (5)
6	yisPIP オンデマンドセミナー 第6回 Raspberry Pi による PLC 制御技術	R4/9/5	システム開発科	5
7	yisPIP オンデマンドセミナー 第7回 オンラインストレージを活用した IoT システム構築	オンデマンド (R4/5/9～ 10/28)	システム開発科	5 (5)
8	yisPIP オンデマンドセミナー 第8回 SNS を活用した通知システム構築	オンデマンド (R4/5/9～ 10/28)	システム開発科	5 (5)
9	yisPIP オンデマンドセミナー 第9回 クラウドサービスを活用した対話型システム構築①	オンデマンド (R4/5/9～ 10/28)	システム開発科	5 (5)
10	yisPIP オンデマンドセミナー 第10回 クラウドサービスを活用した対話型システム構築②	オンデマンド (R4/5/9～ 10/28)	システム開発科	5 (5)
11	yisPIP オンデマンドセミナー 第11回 統合 IoT システム構築	オンデマンド (R4/5/9～ 10/28)	システム開発科	5 (5)
12	日川高校 総合的な探求の時間「山梨県織物産地の取組について」	R4/5/9	技術支援科	210 (210)
13	金属材料の機械試験について	R4/5/27	工業材料科	10
14	山梨県立大学 PENTAS YAMANASHI “地域しごと概論” URUSHINASHIKA -Koshu INDEN-	R4/6/2	デザイン技術部	13
15	山梨学院大学 山梨の食 「甲州産ワインの歴史と特性」	R4/6/14	ワイン技術部	34
16	DX 実証フィールドを活用した出前技術講座～生産設備稼働状況 可視化システムの構築～ ①	R4/6/15	システム開発科	3
17	DX 実証フィールドを活用した出前技術講座～生産設備稼働状況 可視化システムの構築～ ②	R4/6/21	システム開発科	3

	講座	実施日	担当	受講者数
18	DX 実証フィールドを活用した出前技術講座～生産設備稼働状況可視化システムの構築～ ③	R4/7/5	システム開発科	3
19	DX 実証フィールドを活用した出前技術講座～生産設備稼働状況可視化システムの構築～ ④	R4/7/8	システム開発科	3
20	DX 実証フィールドを活用した出前技術講座～生産設備稼働状況可視化システムの構築～ ⑤	R4/7/12	システム開発科	3
21	DX 実証フィールドを活用した出前技術講座～生産設備稼働状況可視化システムの構築～ ⑥	R4/7/15	システム開発科	1
22	DX 実証フィールドを活用した出前技術講座～生産設備稼働状況可視化システムの構築～ ⑦	R4/7/19	システム開発科	3
23	DX 実証フィールドを活用した出前技術講座～生産設備稼働状況可視化システムの構築～ ⑧	R4/8/31	システム開発科	4
24	DX 実証フィールドを活用した出前技術講座～生産設備稼働状況可視化システムの構築～ ⑨	R4/9/9	システム開発科	3
25	DX 実証フィールドを活用した出前技術講座～生産設備稼働状況可視化システムの構築～ ⑩	R4/9/12	システム開発科	3
26	DX 実証フィールドを活用した出前技術講座～生産設備稼働状況可視化システムの構築～ ⑪	R4/9/28	システム開発科	4
27	総研研究テーマ「新しい肉質のモモの多様な流通・販売に向けた加工・貯蔵方法の開発」の研究成果報告	R4/7/5	食品酒類・バイオ科	11
28	総研研究テーマ「新しい肉質のモモの多様な流通・販売に向けた加工・貯蔵方法の開発」の研究成果報告	R4/7/6	食品酒類・バイオ科	6
29	機械電子関係の研究紹介	R4/7/21	機械電子技術部	33 (10)
30	ファッションビジネス学会 富士吉田産地ツアー講義「山梨ハタオリ産地の基礎知識」	R4/8/23	技術支援科	15
31	AIにおける画像処理の重要性	R4/9/9	電子応用科	15
32	山梨県中小企業サポート連携拠点事業主催 中小企業・支援機関向けオンラインセミナー「製造業のDX推進への取組み」内「yisPIPの内容と県内企業における導入事例の紹介」	R4/9/20	システム開発科	48 (38)
33	自動搬送システム実習	R4/10/3～ R5/2/28	システム開発科	3 (3)
34	山梨英和大学 山梨学 II「山梨ハタオリ産地の歴史とブランディング活動」	R4/10/3	技術支援科	18
35	山梨大学大学院 山梨地域課題特論「山梨ハタオリ産地の歴史とブランディング活動」	R4/10/14	技術支援科	8

	講座	実施日	担当	受講者数
36	令和4年度山梨大学ワインセミナー「山梨のワインを知る」	R4/10/29	ワイン技術部	40
37	富士の里市民大学「ハタオリマチ今昔物語」	R4/11/22	技術支援科	82
38	産業技術センターで実施している研究について	R4/11/29	食品酒類・バイオ科	23
39	山梨大学 ワインフロンティアリーダー養成プログラム「日本ワイン学」	R4/12/1	ワイン技術部	22
40	酒粕の成分・活用事例・機能性に関して	R4/12/19	食品酒類・バイオ科	3
41	山梨県立大学 PENTAS YAMANASHI VUCA 科目“地域のチャレンジ2” 「郡内織物産地の歴史とブランディング活動」	R5/1/6	技術支援科	20
42	甲府商工会議所 理財部会 1月度議員・評議員合同懇談会「郡内織物の現状について」	R5/1/18	技術支援科	24
43	中央大学経済学部 小森谷ゼミ産地研修「郡内織物産地の歴史とブランディング活動」	R5/3/3	技術支援科	17
44	富士吉田アントレプレナーキャンプ街歩き「郡内織物産地の歴史とブランディング活動」	R5/3/18	技術支援科	8
45	地域に向けたジビエ基礎知識セミナー	R4/10/20	デザイン技術部	18
46	勝沼ワイン協会 2023年勝沼ワインゼミナール 「勝沼扇状地ごとの‘甲州’の果実とワイン分析について」 「土壌サンプリング資料」	R5/3/19	ワイン技術部 デザイン技術部	55
47	織機部品に関する研究について	R4/8/30	デザイン技術部	6
48	大気圧熱処理によるマグネシウム合金の耐食性向上技術の開発	R4/12/15	化学・燃料電池科	13
49	産業技術センター概要	R4/10/12	企画連携推進部	25

※) 派遣先企業は、企業の事業情報につき表示しておりません。

(2) 担当別実績

部	企画連携 推進部	食品酒類・ 研磨宝飾 技術部	電子・ システム 技術部	材料・ 燃料電池 技術部	機械 技術部	デザイン 技術部	ワイン 技術部	繊維 技術部	機械電子 技術部	合計
人数 (講座数)	25 (1講座)	43 (4講座)	154 (25講座)	23 (2講座)	0 (0講座)	37 (3講座)	151 (4講座)	402 (9講座)	33 (1講座)	868 (49講座)

2. ものづくり人材育成研修

(1) 通年

※受講者数 () はオンライン参加

	講座名	講師	担当	実施日	受講者数
1	ノギス・マイクロメータの基礎	センター職員	機械技術部	R4/8/4	2
2	基礎から学ぶ落下・成型シミュレーション	サイバネット (株) 長澤剛	機械技術部	R4/8/23	3
3	ICP 発光分光分析の基本	アジレント・テクノロジー (株) 橋本文寿 センター職員	化学・燃料電池科	R4/8/24	3
4	ライフスタイルの変化とテキスタイルデザイン ①	客員研究員 家安香	繊維技術部	R4/8/24	14
5	販促アイテム制作研修①～撮影基礎編～	センター職員	デザイン技術部	R4/9/7	4
6	製品図面から考える測定戦略の基礎	客員研究員 中村哲夫 センター職員	機械電子技術部	R4/9/13	6
7	販促アイテム制作研修②～画像編集基礎編～	センター職員	デザイン技術部	R4/9/14	2
8	販促アイテム制作研修③～チラシ作成基礎編～	センター職員	デザイン技術部	R4/9/21	1
9	製品図面から考える測定戦略 (実習)	客員研究員 中村哲夫 センター職員	機械電子技術部	R4/9/27	3
10	販促アイテム制作研修④～上達編：プロから学ぼう～	(株) スイッチ 鷹野雅弘 (大阪芸術大学客員教授)	デザイン技術部	R4/9/28	6 (5)
11	基礎から学ぶ破損解析	センター職員	機械電子技術部	R4/10/4	2
12	AI における画像処理入門	センター職員	電子応用科	R4/10/5	4
13	品質工学の基本的な考え方	(有) 増田技術事務所 増田雪也	研磨・宝飾科	R4/10/28	9
14	ライフスタイルの変化とテキスタイルデザイン ②	客員研究員 家安香	繊維技術部	R4/11/16	11
15	思い込みの設計とその解釈の思い込み	客員研究員 中村哲夫 センター職員	機械技術部	R4/11/22	12
16	意外と知らない温度測定の基礎	(株) チノー センサ市場開拓部 営業技術 2 課 課長 小島崇則	工業材料科	R4/11/25	7

講座名	講師	担当	実施日	受講者数
17 X線透視撮影業務に必要な安全教育	(株)島津総合サービス 技術顧問 高山直彦	工業材料科	R4/12/6	6

(2) 担当別実績

部	企画連携推進部	食品酒類・研磨宝飾技術部	電子・システム技術部	材料・燃料電池技術部	機械技術部	デザイン技術部	ワイン技術部	繊維技術部	機械電子技術部	合計
人数(講座数)	—	9(1講座)	4(1講座)	16(3講座)	17(3講座)	13(4講座)	—	25(2講座)	11(3講座)	95(17講座)

3. 県産ワイン・日本酒品質強化支援事業

※受講者数 () はオンライン参加

担当	講座名	講師	実施日	受講者数
食品酒類・バイオ科	評価技術者育成事業 評価技術セミナー (座学) 「アミノ酸分析の原理と基礎 その分析例について」	(株)日立ハイテクサイエンス アプリケーション開発センター 応用技術一課 宮野桃子	R5/3/23	10 (9)
	評価技術者育成事業 評価研修 (実習) 「令和4年度導入備品 高速アミノ酸分析装置の使用方法」	(株)日立ハイテクサイエンス 営業本部 LC営業部 課長代理 南原直人 センター職員	R5/3/23	10 (9)
	ブランド力向上ネットワーク構築事業 交流会 (勉強会) 「どうすれば強いブランドを生み出せるのか-「尖り」をつくるための考察-」	静岡県立大学 経営情報学部 教授 地域経営研究センター長 岩崎邦彦	R5/3/27	25 (18)
	ブランド力向上ネットワーク構築事業 先進地見学会	(株)六歌仙 代表取締役 松岡茂和 米鶴酒造(株) 杜氏 須貝智	R5/3/29 ~30	8

4. 講習会・研修会

(1) 講座一覧

食品酒類・研磨宝飾技術部

※受講者数 () はオンライン参加

担当	講座名	講師	実施日	受講者数
食品酒類・バイオ科	菓子講習会 (I) (山梨県菓子工業組合と共催)	日の本穀粉(株) 企画開発部 課長 栗原久美	R4/6/24	24

担当	講座名	講師	実施日	受講者数
食品酒類・バイオ科	菓子講習会（Ⅱ） （山梨県菓子工業組合と共催）	（株）館山 製品管理開発室 主任 立木恭平	R4/7/13	19
	菓子講習会（Ⅲ） （山梨県洋菓子協会と共催）	（一社）日本洋菓子協会 連合会 公認技術指導委員 アディクト・オ・シユクル オーナー 石井英美	R4/10/12	19
	学校給食パン講習会 （山梨県学校給食パン協同組合、（公財）山梨県学校給食会と共催）	（株）KO堂 輿石輝夫 （一社）山梨県衛生協会 高野陽子	R4/7/26	18
	製パン技術講習会（Ⅰ） （山梨県パン協同組合と共催）	日清製粉（株） 田口託	R4/9/2	18
	製パン技術講習会（Ⅱ） （山梨県パン協同組合と共催）	（株）ニッポン 東部技術センター 北園政敏	R5/2/7	16
	食品開発講習会 技術講座（Ⅰ） （食品技術研究会と共催） 「遺伝子組換え食品について～新制度移行前に知っておきたいこと～」	（一財）日本食品分析センター 受託サービス部 吉原路子	R4/9/22	24 (16)
	食品開発講習会 技術講座（Ⅱ） （食品技術研究会と共催） 「機能性表示食品制度とそのサポートについて」	丸善製菓（株） 営業本部 食品営業部 食品一課 光永俊彦		
	食品表示講習会 「食品表示制度の最近の動き」	（公社）日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会 専門委員 蒲生恵美	R5/2/28	56 (54)
	食品技術講習会 技術講演会（Ⅰ） 「凍結融解を利用した豆乳タンパク質の分画技術」	実践女子大学 生活科学部 食生活科学科 食品加工学研究室 准教授 守田和弘	R5/3/13	30 (15)
	食品技術講習会 技術講演会（Ⅱ） 「腸内フローラの健康への関連とプロバイオティクス」	東京農業大学 生命科学部 分子微生物学科 順天堂大学 プロバイオティクス共同 研究講座 客員教授 野本康二		
研磨・宝飾科	技術講習会 「激動を味方にするための処方箋-「医療」「教育」「芸術」、地方が生き残るためのプランB-」	神奈川県立保健福祉大学 イノベーション政策研究 センター 教授 兪 炳匡	R5/2/6	58 (54)

電子・システム技術部

担当	講座名	講師	実施日	受講者数
電子応用科	電子応用技術セミナーⅠ 「イミュニティ対策の為の接地・グラウンド・シールド技術」	(株) 電研精機研究所 ノイズトラブル相談室 シニアコンサルタント 平田源二	R5/1/26	154 (149)
	電子応用技術セミナーⅡ 「CISPR 改定案 (43.5GHz へ拡張) の背景と現状について」	アンリツ (株) 通信計測カンパニー グローバルセールスセンター 通信計測営業本部 第1営業推進部 エンジニアリングチーム エキスパート 黒岩祥浩	R5/3/7	20 (17)
システム開発科	電子技術講習会 「IoT 製品開発・導入のための画像処理」	山梨大学 大学院総合研究部 教授 小谷信司	R4/8/29	13 (13)
	情報技術講習会 「yisPIP 紹介セミナー&DX 実証フィールド見学会」	センター職員	R4/9/29	26

材料・燃料電池技術部

担当	講座名	講師	実施日	受講者数
工業材料科	材料技術講習会 「断面観察のための埋め込み試料作製方法」	(株) ストルアス ソリューションセンター 福島想	R5/2/21	7
	材料技術講習会 「蛍光エックス線分析の基礎」	(株) 堀場テクノサービス 分析技術本部 分析ラボ東京 安保拓真	R5/3/2	12
化学・燃料電池科	プラスチック技術講習会 「プラスチックの基礎から成形加工の実務まで」	(株) Tech-T 代表取締役 高原忠良	R5/2/2	22
	表面技術講習会 「耐食性試験の基礎-複合サイクル試験機-」	スガ試験機 (株) 柿沼賢太	R5/3/16	15

機械技術部

講座名	講師	実施日	受講者数
技術講習会 「音・振動セミナー」 1部：「マルチコプター型ドローンによる騒音測定技術の開発」 2部：「受託試験の動向と試験方法」	山梨大学工学部准教授 北村敏也 IMV（株） 技術推進統括本部技術企画部兼/テストラボ事業本部長兼/西日本ブロック長 尾崎友哉	R4/10/21	56 (38)
技術講習会 「工場の省エネ対策セミナー」	(一財)省エネルギーセンター エネルギー使用合理化専門員 大西義人	R5/3/2	10 (9)

デザイン技術部

講座名	講師	実施日	受講者数
セルローズ技術講習会 「県産材活用セミナー」	(株)イトーキ 商品開発本部 プロダクトマネジメント部 小島勇 山梨県林政部 林業振興課 木材資源活用担当 主査 佐野洋介	R4/11/25	8 (8)
繊維情報技術講習会 「繊維業界におけるサステナブルの必要性和具体的な取り組み方」	(一財)ボーケン品質評価機構 安田幸正	R5/2/22	6 (6)
デザイン技術講習会 「SDGs先進国スウェーデンの事例紹介とサステナブルが生み出すビジネス機会」	(株)ワンプラネット・カフェ CEO/代表取締役社長 エクベリ聡子	R5/3/3	6 (6)
デザイン特別講座 「3Dプリンタ・スキャナ活用セミナー」	アルテック（株） デジタルプリンタ営業部 3D営業課 立山豪 東京貿易テクノシステム （株）アドバンス営業部 櫻井翔	R5/3/7	19 (5)

ワイン技術部

講座名	講師	実施日	受講者数
山梨県ワイン鑑評会	センター職員	R4/4/13	30
亜硫酸管理技術講習会	センター職員	R4/5/25	12

繊維技術部

担当	講座名	講師	実施日	受講者数
製品開発科	繊維技術講習会 「織物の検査に最適な検査装置の導入に向けて」 「AIを用いた検査の効率化」	フロンティアシステム (株) 古田 隆志 センター職員	R5/2/20	17

機械電子技術部

講座名	講師	実施日	受講者数
講演会 「医用機器開発企業団体 F- met+(エフメットプラス)の活動紹介」	(株) フジネット 代表取締役社長 河合隆徳	R4/7/21	32 (10)
「山梨医療機器研究会の活動紹介」	アイドラス (株) 代表取締役 石原敬三	R4/7/21	32 (10)
「MDC 推進センターの活動実績と本年度の活動について」	メディカル・デバイス・コ リドー推進センター 田中菜結	R4/7/21	32 (10)
講演会 「自動車の業界の現状と未来」	(株) 山一ハガネ 営業企画本部 坂本昭彦	R4/12/13	115 (104)
講演会 「金属 AM 業界の現状と国内普及への課題と将来像」	(一社) 日本 AM 協会 専務理事 澤越俊幸	R4/12/13	115 (104)

(2) 担当別実績

部	食品酒類・ 研磨宝飾 技術部	電子・ システム 技術部	材料・ 燃料電池 技術部	機械 技術部	デザイン 技術部	ワイン 技術部	繊維 技術部	機械電子 技術部	合計
人数 (講座数)	282 (10講座)	213 (4講座)	56 (4講座)	66 (2講座)	39 (4講座)	42 (2講座)	17 (1講座)	326 (5講座)	1,041 (32講座)

5. 技術者研修

(1) テーマ一覧

研修テーマ	研修期間	受講者数	受入担当
1 織物基礎及び設計	R4/4/19～6/9 (14日間)	6	繊維技術部
2 ワインの分析技術、醸造方法、官能評価法	R4/5/9～8/31 (48日間)	1	ワイン技術部
3 Rhinoceros の基本操作習得	R4/6/28～30 (3日間)	1	デザイン技術部
4 グラフィックソフト基礎	R4/6/23～7/14 (7日間)	5	繊維技術部
5 織物基礎及び設計	R4/8/3～9/28 (14日間)	8	繊維技術部
6 solidworks の基本操作習得	R4/8/22～9/8 (4日間)	1	デザイン技術部
7 ワインの醸造方法の習得	R4/9/7～R5/2/28 (48日間)	1	ワイン技術部
8 5軸マシニングによる鏡面加工技術の修得	R4/12/12～R5/3/29 (4日間)	1	機械技術部
9 Illustrator および Photoshop の基本操作習得	R5/3/20～R5/3/24 (4日間)	3	デザイン技術部

※) 派遣元企業は、企業の事業情報につき表示しておりません。

(2) 担当別実績

部	食品酒類・ 研磨宝飾 技術部	電子・ システム 技術部	材料・ 燃料電池 技術部	機械 技術部	デザイン 技術部	ワイン 技術部	繊維 技術部	機械電子 技術部	合計
人数 (件数)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	5 (3)	2 (2)	19 (3)	0 (0)	27 (9)

6. インターンシップ研修

研修テーマ		研修期間	受講者数	受入担当
1	TKF ミニインターンシップ（環境試験について）	R4/8/25（1日間）	3	システム開発科
2	TKF ミニインターンシップ（クリープメータの測定事例について）	R4/10/14（1日間）	2	食品酒類・バイオ科

7. その他

高等学校課題研究サポート

県立吉田高等学校が実施する、同校理数科生徒を対象とした課題研究をサポートした。

○テーマ：「金属の“かたさ”とは」

○実施日：令和4年7月28日、8月4日、9月3日

○参加人数：3名

情報提供業務

1. 研究成果発表

- (1) 産業技術センター研究成果紹介（研究報告書等資料及び動画配信）
 - ・公開日：令和4年11月14日～
 - ・発表：9テーマ（令和3年度終了テーマ）※動画配信
- (2) 産業技術センター研究成果発表会（研究報告書等資料及び動画配信）
 - ・公開日：令和4年12月15日
 - ・発表：23テーマ
- (3) やまなし産学官連携研究交流事業（動画配信）
 - ・公開日：令和4年10月29日～令和5年3月31日
 - ・発表：9テーマ（令和3年度終了テーマ）※動画配信

2. 刊行物の発行

- (1) 研究成果速報
 - ・発行日：令和4年6月2日
 - （※HPへの掲載のみ）
- (2) 年報（令和4年度）
 - ・発行日：令和4年7月1日
 - ・発行部数：400部
- (3) 研究報告（令和3年度 No. 05号）
 - ・発行日：令和4年10月14日
 - ・発行部数：400部
- (4) センターニュース
 - ・発行部数：各1,500部
 - ①センターニュースVol. 16
 - ・発行日：令和4年6月17日
 - ②センターニュースVol. 17
 - ・発行日：令和4年10月31日
 - ③センターニュースVol. 18
 - ・発行日：令和5年2月28日
- (5) デザイン情報紙 DESIGN YAMANASHI Vol. 50～55
 - ものづくりのアイデアの誘因を目的として、ポストカードの形式で情報紙を年間6回発行
 - ・発行日：令和4年5月～令和5年3月
 - ・発行部数：各1,600部

3. センター利用の手引きおよびメールマガジンの発行

- (1) センター利用の手引き：適宜発行

- (2) メールマガジン
- ・発行回数：28回（No. 22-001～028）
 - ・内容：講習会・研修会案内、設備機器案内等

4. その他

- (1) ホームページによる情報提供
センターの研究や設備を紹介したプロポーザルページを作成：7回
(<https://www.pref.yamanashi.jp/yitc/>)
- (2) 甲斐絹ミュージアムホームページによる情報発信
郡内織物産地のルーツ、山梨県が誇る伝統織物『甲斐絹』を紹介
(<https://www.pref.yamanashi.jp/kaiki/>)
- (3) ブログ・フェイスブック「シケンジョテキ」による情報発信
富士技術支援センターに所蔵するビンテージテキスタイルをはじめ、産地企業の職人や技の魅力などを紹介
(ブログ <https://www.shikenjyo.blogspot.jp>)
(フェイスブック <https://www.facebook.com/シケンジョテキ-969866283101120>)
発信数：ブログ 11回、フェイスブック 11回

(4) 公報・書籍・学会誌収集

区分	内容
書籍類	工学・デザイン専門誌（学会誌 31、協会誌 16、その他 48 合計 95 種 [購入・寄贈]） 工学・デザイン専門書（購入 142 冊、寄贈 3 冊 合計 145 冊）
研究報告	国・大学・公設試（52 種）
各種情報	JIS、法規集（23 種）、新聞（17 種）、国・公設試ニュース、その他

- (5) YAMANASHI DESIGN ARCHIVEの運用
山梨県に伝わる過去の優れた物品の造形や模様、自然から得られる色彩、今に伝わる昔話・伝説を産業上で使用することのできるデザインソースとしてデジタル化して配信
(<https://design-archive.pref.yamanashi.jp/>)
- ・掲載デザインソース数 1,122 点（内訳：形状 104 点／模様 365 点／色彩 148 点／昔話 505 点）
 - ・デザインソース使用実績 計 23 点

技術交流

1. 研究機関連絡会議

会議名	期日	会場	出席者		
第63回産業技術連携推進会議 総会	R5/2/14	オンライン開催	内藤裕利		
産業技術連携推進会議					
情報通信・エレクトロニクス部会					
第18回地域交流ワークショップ	R4/6/1	SORA札幌コンベンションセンター (ハイブリッド開催)	中込広幸	保坂 響	布施嘉裕
組込み技術研究会・幹事会	R4/9/12	オンライン開催	布施嘉裕	永田靖貴	
第20回組込み技術研究会	R4/11/18	甲府技術支援センター (ハイブリッド開催)	内藤裕利	河野 裕	布施嘉裕
			阿部正人	永田靖貴	中込広幸
			保坂 響		
情報技術分科会 第15回音・振動研究会	R4/10/20~21	山梨県立やまなし地域づくり交流センター、甲府技術支援センター (ハイブリッド開催)	内藤裕利	岩間貴司	佐野正明
			石黒輝雄	西村通喜	小松利安
			早川 亮	鈴木大介	米山 陽
			坂本智明		
製造プロセス部会					
第28回表面技術分科会	R4/10/13~14	あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター	小松正和		
第62回精密微細加工分科会 第3回積層造形研究会	R4/11/17~18	長崎県大村市ミライon図書館 (ハイブリッド開催)	萩原義人	鈴木大介	寺澤章裕
			古屋雅章		
ライフサイエンス部会					
第30回デザイン分科会	R4/6/16~17	福岡県久留米シティプラザ	鈴木文晃	佐藤博紀	
第31回デザイン分科会 第16回研究発表会	R4/10/27	オンライン開催	吉村千秋	金丸勝彦	串田賢一
			鈴木文晃		
ナノテクノロジー・材料部会					
繊維分科会 総会	—	書面開催	—		
繊維分科会 デザイン研究会	R4/10/21~22	富士技術支援センター	萩原 茂	渡辺 誠	五十嵐哲也
			秋本梨恵		
繊維分科会 繊維技術研究会	R4/10/21	オンライン開催	望月威夫		
繊維分科会 生産・測定研究会	—	書面開催	—		
第60回高分子分科会	R4/10/27	オンライン開催	芦澤里樹		
2022年度素材分科会 総会	R4/11/7	オンライン開催	石田正文		
知的基盤部会					
計測分科会 形状計測研究会	R4/12/7~9	和歌山ビッグ愛 オンライン開催	米山 陽		
			小松利安	早川 亮	萩原義人
分析分科会	R4/12/15	宝山ホール及びオンライン開催	寺澤章裕	古屋雅章	
			三神武文	宮澤航平	尾形正岐
第26回電磁環境分科会及び第31回EMC研究会	R4/11/17~18	KKRホテル熊本	望月陽介		
電磁環境分科会 第20回関東甲信越静EMC研究会 交流会及びMTEP EMCパートナーグループ会	R5/1/20	埼玉県産業技術総合センター本所	中村 卓		
			中村 卓		
関東甲信越静地域部会					
企画調整分科会 (第1回)	R4/6/16	オンライン開催	山田博之		
第2回関東技術交流分科会	R4/10/21	ホテルグリーンタワー幕張	山田博之	上垣良信	
企画調整分科会 (第2回)	R4/11/22	オンライン開催	山田博之		
関東甲信越静地域産業技術連携推進会議及び関東甲信越静地域部会合同総会	R4/11/29	東京都立産業技術研究センター	内藤裕利	上垣良信	
企画調整分科会 (第3回)	R5/2/17	オンライン開催	山田博之		
関東技術交流分科会第2回幹事会	R5/2/17	オンライン開催	山田博之		
製造技術分科会	—	書面開催	—		
首都圏公設試連携会議 (TKF)					
第16回TKFオープンフォーラム	R4/10/21	ホテルグリーンタワー幕張	山田博之	上垣良信	
第62回首都圏公設試連携推進会議 (TKF)	R4/11/29	東京都立産業技術研究センター	内藤裕利	上垣良信	
広域首都圏輸出製品技術センター (MTEP)					
第2回 広域首都圏輸出製品技術支援センター (MTEP) 連携会議	R4/11/29	東京都立産業技術研究センター	内藤裕利	上垣良信	

会議名	期日	会場	出席者		
公立鉦工業試験研究機関長協議会					
第95回公立鉦工業試験研究機関長協議会総会	—	書面開催	—		
第113回全国公設鉦工業試験研究機関事務連絡会議	—	書面開催	—		
令和4年度全国公設鉦工業試験研究機関事務連絡会議 関東甲信越ブロック会議	—	書面開催	—		
第7回地方公設試験研究機関金属AM技術担当者会議	R4/10/6	オンライン開催	萩原義人	寺澤章裕	古屋雅章
全国食品関係試験研究場所長会 令和5年度定期総会および令和4年度食品試験研究推進会議	R5/2/9	つくば国際会議場	恩田 匠		

2. 学会等の会議

会議名	期日	会場	出席者		
第29回燃料電池シンポジウム	R4/5/26~27	オンライン開催	三神武文	川本鉄平	
セルロース学会 第29回年次大会	R4/7/21~22	金沢市文化ホール	芦澤里樹		
(公社)日本材料学会 第56回X線材料強度に関するシンポジウム	R4/7/21~22	日本材料学会 (京都市)	八代浩二	鈴木大介	長田和真
日本食品科学工学会 第69回年次大会	R4/8/24~26	オンライン開催	木村英生		
(公社)日本農芸化学会 関東支部2022年度大会	R4/8/27	東京農業大学アカデミアセンター	長沼孝多		
日本調理科学会 2022年度大会	R4/9/2~3	姫路市文化コンベンションセンターおよび兵庫県立大学姫路環境人間キャンパス (ハイブリッド開催)	樋口かよ		
表面技術協会 第146回講演大会	R4/9/6~7	埼玉工業大学 (深谷市)	八代浩二	佐野正明	鈴木大介
令和4年度日本醸造学会大会	R4/10/4~7	オンライン開催	恩田 匠		
電気加工学会全国大会 (2022)	R4/11/24~25	名古屋工業大学	佐野正明	萩原義人	
第63回電池討論会	R4/11/8~10	福岡国際会議場 (ハイブリッド開催)	三神武文	川本鉄平	小林 誉
(公社)日本材料学会 第59回X線材料強度に関する討論会	R4/11/14~15	AYA'S LABORATORY 量子ビーム研究センター 日本原子力研究開発機構 原子力研究所・J-PARC MLF	鈴木大介		
第9回国際燃料電池ワークショップ2022	R4/11/15~16	オンライン開催	川本鉄平		
日本ブドウ・ワイン学会 (ASEV JAPAN) 2022甲府大会	R4/11/21~27	オンライン開催	恩田 匠	木村英生	
	R4/11/26	山梨大学	恩田 匠		
日本乳酸菌学会 秋期セミナー	R4/11/25	東京農業大学	恩田 匠		
第32回日本MRS年次大会	R4/12/5~7	産業貿易センタービル	芦澤里樹		
第34回高分子ゲル研究討論会	R5/1/19~20	東京大学山上会館	芦澤里樹		
(一社)表面技術協会 第110回 アノード酸化皮膜の機能化部会 (ARS部会) 例会 SURTECH2023 部会講演会	R5/2/3	東京ビッグサイト	塩澤佑一郎		
動画処理実利用化ワークショップDIA2023	R5/3/2~3	ライトキューブ宇都宮	保坂 響	中込広幸	
表面技術協会 第147回講演大会	R5/3/7~8	千葉工業大学 (習志野市)	八代浩二	佐野正明	鈴木大介
令和5年日本食品科学工学会関東支部大会	R5/3/11	実践女子大学	恩田 匠	橋本卓也	樋口かよ
2023年度精密工学会春季大会学術講演会	R5/3/14~16	東京理科大学	米山 陽		
	R5/3/16		寺澤章裕		
2023年第70回応用物理学会春季学術講演会	R5/3/17	上智大学 四谷キャンパス	阿部 治		
電気化学会 第90回大会	R5/3/27~29	東北工業大学 (ハイブリッド開催)	三神武文	川本鉄平	小林 誉

3. 職員派遣

※中止・欠席は記載していません

会議名	期日	依頼者	派遣場所	出席者		
産総研地域イノベーションコーディネータ事業						
山梨県-産総研の連携に係る連絡会議	R4/6/13	(国研)産業技術総合研究所	オンライン開催	岩間貴司	高尾清利	八代浩二
	R4/8/30	〃	〃	中村聖名		
	R4/10/31	〃	〃	岩間貴司	高尾清利	中村聖名
山梨県と産総研の意見交換会及び施設見学	R4/7/15	〃	甲府技術支援センター	内藤裕利	清野 浩	吉村千秋
				岩間貴司	高尾清利	八代浩二
				中村聖名	山田博之	
各県合同連絡会議	R5/1/19	〃	オンライン開催	岩間貴司	高尾清利	八代浩二
第11回地域イノベーションコーディネータ会議	R5/3/27	〃	〃	岩間貴司	高尾清利	八代浩二
広域関東圏交流会	R5/3/27	〃	〃	岩間貴司	高尾清利	八代浩二
第1回地域ICウェビナー	R4/7/7	〃	〃	岩間貴司	高尾清利	八代浩二
				中村聖名		
第2回地域ICウェビナー	R4/11/17	〃	〃	岩間貴司	高尾清利	
山梨テクノICTメッセ2022						
第1回実行委員会	R4/6/16	山梨テクノICTメッセ2022実行委員会	ベルクラシック甲府	岩間貴司		
山梨テクノICTメッセ2022	R4/11/11	〃	アイメッセ山梨	吉村千秋	山田博之	八代浩二
	R4/11/12			岩間貴司	山田博之	
山梨みらいファンド事業審査会	R4/11/28	(公財)やまなし産業支援機構	アイメッセ山梨 中小企業人材開発センター	佐野正明	渡辺 誠	
	R5/2/20					
令和4年度 中小企業等外国出願支援事業						
第1回審査委員会	R4/7/13	(公財)やまなし産業支援機構	アイメッセ山梨	岩間貴司		
第2回審査委員会	R4/9/7	〃	〃	岩間貴司		
公益財団法人やまなし産業支援機構 設備貸与事業						
第1回審査委員会	R4/4/27	(公財)やまなし産業支援機構	アイメッセ山梨	清水章良		
第2回審査委員会	R4/5/31	〃	甲府技術支援センター	清水章良		
第3回審査委員会	R4/6/30	〃	アイメッセ山梨	清水章良		
第4回審査委員会	R4/7/28	〃	〃	清水章良		
第5回審査委員会	R4/8/31	〃	〃	清水章良		
第6回審査委員会	R4/9/30	〃	〃	清水章良		
第7回審査委員会	R4/10/31	〃	〃	清水章良		
第8回審査委員会	R4/11/30	〃	〃	清水章良		
第9回審査委員会	R4/12/26	〃	〃	清水章良		
第10回審査委員会	R5/2/3	〃	〃	清水章良		
第11回審査委員会	R5/3/3	〃	〃	清水章良		
山梨県発明協会理事会						
第1回理事会	R4/4/26	(一社)山梨県発明協会	オンライン開催	高尾清利		
第2回理事会・通常総会	R4/6/13	〃	アイメッセ山梨	内藤裕利		
第3回理事会	R5/3/24	〃	甲府技術支援センター	内藤裕利		
発明表彰事業選考委員会	R4/4/26	(一社)山梨県発明協会	オンライン開催	高尾清利		
山梨県ものづくり発明研究学会						
第1回	R4/10/13	(一社)山梨県発明協会	オンライン開催	高尾清利		
第2回	R4/12/15	〃	〃	高尾清利		
第3回	R5/2/24	〃	〃	高尾清利		
第8回山梨県産業技術支援交流会2022	R4/10/12	(公社)日本技術士会	山梨県立図書館	内藤裕利	山田博之	
令和4年度工業系高校生基幹産業担い手育成事業						
第1回担い手育成委員会	R4/4/14	教育委員会	甲府工業高等学校	佐野正明		
第2回担い手育成委員会	R4/5/6	〃	〃	佐野正明		
第3回担い手育成委員会	R4/10/13	〃	甲府技術支援センター	佐野正明		
第4回担い手育成委員会	R5/1/26	〃	〃	佐野正明		
第1回連携推進委員会	R4/5/30	〃	甲府技術支援センター	内藤裕利		
第2回連携推進委員会	R5/2/21	〃	〃	内藤裕利		

会議名	期日	依頼者	派遣場所	出席者		
山梨県研究推進委員会						
第1回研究推進会議	R4/5/9	山梨県総合理工学研究機構	甲府技術支援センター	内藤裕利		
第2回研究推進会議	R4/9/21	〃	〃	内藤裕利		
第3回研究推進会議	R5/3/10～14	〃	書面開催	—		
第1回ワーキンググループ	R4/4/22	〃	甲府技術支援センター	岩間貴司		
第2回ワーキンググループ	R4/9/13	〃	オンライン開催	岩間貴司		
第3回ワーキンググループ	R4/10/17	〃	山梨大学	岩間貴司		
第4回ワーキンググループ	R4/12/28	〃	オンライン開催	岩間貴司		
第5回ワーキンググループ	R5/3/16	〃	〃	岩間貴司		
やまなしイノベーション創出事業費補助金						
令和4年度やまなしイノベーション創出事業費補助金（研究開発）検討会議	R4/8/25	成長産業推進課	甲府技術支援センター	山田博之	中村聖名	
技能検定試験						
前期委嘱式および技能検定水準調整会議	R4/5/31	山梨県職業能力開発協会	中小企業人材開発センター	阿部 治	鈴木大介	
ダイカスト	R4/7/16	〃	(株)メッツ身延工場	鈴木大介		
	R4/7/30	〃	ジャノメダイカスト(株)	鈴木大介		
金属熱処理	R4/8/28	〃	中小企業人材開発センター	阿部 治		
後期委嘱式および技能検定水準調整会議	R4/11/30	〃	〃	橋本卓也	小松利安	
機械・プラント製図	R5/1/22	〃	(株)アウラテクノロジー	小松利安		
機械・プラント製図	R5/1/24	〃	中小企業人材開発センター	小松利安		
令和4年度 外国人技能実習制度に係る技能検定	R4/10/20	〃	丸十山梨製パン(株)	橋本卓也	樋口かよ	
1級パン製造	R5/2/9～10	〃	甲府技術支援センター	橋本卓也	樋口かよ	
第62回水晶彫刻新作展						
審査会	R4/10/20	山梨県水晶美術彫刻協同組合	甲府市役所	清野 浩		
開会式	R4/10/21					
表彰式	R4/10/21					
山梨県ジュエリーマスター認定制度						
第1回認定委員会	R4/4/22	産業振興課	宝石美術専門学校	清野 浩		
第2回認定委員会	R4/7/29	〃	〃	清野 浩		
第3回認定委員会	R4/9/28	〃	〃	清野 浩		
第1回試験実施委員会	R4/7/1	〃	〃	宮川和博	佐野照雄	鈴木文晃
認定試験	R4/9/26	〃	〃	宮川和博	佐野照雄	鈴木文晃
	R4/9/27	〃	〃	佐藤博紀		
	R4/9/28	〃	〃	佐野照雄	鈴木文晃	佐藤博紀
	R4/9/28	〃	〃	鈴木文晃		
意見交換会	R5/2/3	〃	〃	佐野照雄	鈴木文晃	
第46回「ボランティア・NPO 活動推進月間」ポスター図案審査会	R4/12/6	山梨県(福)山梨県社会福祉協議会(特非)山梨県ボランティア協会	山梨県立やまなし地域づくり交流センター	鈴木文晃		
第20回富士さんへ謹賀新年～富士山あて年賀状～						
予備審査	R5/1/20	富士山憲章山梨県推進会議	富士山ボランティアセンター	秋本梨恵		
本審査	R5/1/27	〃	〃	五十嵐哲也		

会議名	期日	依頼者	派遣場所	出席者	
ハタオリマチのハタ印					
ハタオリマチのハタ印会議	R4/5/27	富士吉田市	富士吉田商工会議所	五十嵐哲也	秋本梨恵
	R4/7/1	〃	〃	五十嵐哲也	秋本梨恵
	R4/12/16	〃	〃	五十嵐哲也	秋本梨恵
	R5/1/27	〃	〃	五十嵐哲也	秋本梨恵
フジヤマテキスタイルプロジェクト					
キックオフミーティング	R4/7/6	東京造形大学 産地織物企業	東京造形大学	五十嵐哲也	秋本梨恵
発会式	R4/8/6	〃	富士吉田商工会議所	五十嵐哲也	秋本梨恵
定例会	R4/9/2	〃	富士技術支援センター	五十嵐哲也	秋本梨恵
定例会	R4/10/7	〃	〃	五十嵐哲也	秋本梨恵
定例会	R4/11/4	〃	〃	五十嵐哲也	秋本梨恵
定例会	R4/12/16	〃	〃	五十嵐哲也	
定例会	R5/1/6	〃	〃	五十嵐哲也	秋本梨恵
定例会	R5/2/3	〃	〃	五十嵐哲也	秋本梨恵
講習会	R5/2/11	〃	Fujihimuro	五十嵐哲也	秋本梨恵
テキスタイル産地ネットワーク					
1日目	R4/11/26	テキスタイル産地ネット ワーク実行委員会・株式 会社 奥田染工場	東京たま未来メッセ他	五十嵐哲也	
2日目、3日目	R4/11/27, 28	〃	〃	五十嵐哲也	秋本梨恵
富士吉田ブランド評議委員会					
第1回	R4/8/5	富士吉田商工会議所	書面開催	五十嵐哲也	
第2回	R4/10/20	〃	富士吉田商工会議所	五十嵐哲也	
2次審査会	R4/10/26	〃	〃	五十嵐哲也	
第3回	R5/3/31	〃	〃	五十嵐哲也	
地域一体型オープンファクトリーのイノベーション機能強化等に係る調査事業					
第1回オープンファクトリーのあり方研究会	R4/12/21	関東経済産業局	オンライン開催	五十嵐哲也	
第2回オープンファクトリーのあり方研究会	R5/2/9	〃	羽田イノベーションシティ	五十嵐哲也	
第1回オープンファクトリーのイノベーション機能強化にかかる勉強会	R5/1/16	〃	ガレージスミダ	五十嵐哲也	
第2回オープンファクトリーのイノベーション機能強化にかかる勉強会	R5/1/30	〃	〃	五十嵐哲也	
桐生モデル事業	R5/2/28	〃	(株)笠盛	五十嵐哲也	
「DESIGN MUSEUM JAPAN展」ギャラリートーク②	R4/12/9	NHK、国立新美術館	国立新美術館	五十嵐哲也	
日本のデザインを語るデザインミュージアムの在り方を考えるカンファレンス	R5/3/17	経済産業省デザイン政策室	〃	五十嵐哲也	
令和4年度 山梨県クリーニング師試験					
第1回試験委員会	R4/7/15	福祉保健部	防災新館	望月威夫	
第2回試験委員会	R4/10/18	〃	敷島総合文化会館	望月威夫	
GI YAMANASHI官能審査会					
第6回	R4/6/20	山梨県酒造協同組合	山梨県酒造組合	長沼孝多	橋本卓也
第7回	R4/7/21	〃	〃	長沼孝多	橋本卓也
第8回	R4/8/18	〃	〃	長沼孝多	橋本卓也
第10回	R4/12/15	〃	〃	長沼孝多	橋本卓也
第11回	R5/1/19	〃	〃	橋本卓也	
第12回	R5/3/1	〃	〃	長沼孝多	橋本卓也
第13回	R5/3/24	〃	〃	長沼孝多	橋本卓也
山梨県原産地呼称日本酒管理委員会官能審査部会					
第12回	R4/6/20	山梨県酒造協同組合 山梨県原産地呼称日本酒 管理委員会	山梨県酒造組合	長沼孝多	橋本卓也
第13回	R4/7/21	〃	〃	長沼孝多	橋本卓也
第14回	R4/12/15	〃	〃	長沼孝多	橋本卓也
第15回	R5/1/19	〃	〃	橋本卓也	
第16回	R5/3/1	〃	〃	長沼孝多	橋本卓也
第17回	R5/3/24	〃	〃	長沼孝多	橋本卓也
令和4年度清酒貯蔵出荷管理技術相談 (呑切)及び県産清酒統一銘柄推奨審査会	R4/7/15	山梨県酒造組合	山梨県酒造組合	長沼孝多	橋本卓也

会議名	期日	依頼者	派遣場所	出席者		
第54回山梨県新酒鑑評会	R5/3/17	山梨県酒造組合	山梨県酒造組合	長沼孝多	橋本卓也	
令和4年度山梨県原産地呼称日本酒管理委員会						
第3回	—	山梨県酒造協同組合 山梨県原産地呼称日本酒 管理委員会	書面開催	清野 浩		
第9回	—	〃	〃	清野 浩		
甲州市原産地呼称ワイン認証制度審査会						
委嘱式	R4/5/24	甲州市原産地呼称ワイン 認証審査会	甲州市ぶどうの丘イベント ホール	木村英生		
第1回審査会	R4/5/24	〃	〃	木村英生		
第2回審査会	R4/7/26	〃	〃	木村英生		
甲州市ワイン品質審査会						
白ワイン部門	R4/6/17	甲州市	甲州市ぶどうの丘イベント ホール	木村英生		
ヌーヴォーワイン（第1回）	R4/9/25	〃	〃	木村英生		
Japan Wine Competition（日本ワインコンクール）						
準備作業	R4/7/12	産業振興課	アイメッセ山梨	木村英生	三科浩二	窪田 守
第1回運営部会	R4/6/24	日本ワインコンクール実 行委員会	東八代合同庁舎	木村英生		
審査会	R4/7/13-14	〃	アイメッセ山梨	恩田 匠 窪田 守	木村英生	三科浩二
第2回運営部会	R5/1/17	〃	東八代合同庁舎	木村英生		
実行委員会・審査部会・運営部会 合同会議	R5/2/27	〃	オンライン開催	恩田 匠		
審査部会	R5/3/24	〃	〃	恩田 匠		
勝沼ワイナリーズクラブ品質審査会						
第66回	R4/8/18	勝沼ワイナリーズクラブ	ワイン技術部	木村英生		
第67回	R5/3/15	〃	パバソロッテ	木村英生		
ワイン・フロンティアリーダー養成プログラム						
第14回山梨大学ワイン科学士認定 証書授与式	R4/5/31	山梨大学	山梨大学	内藤裕利	恩田 匠	
講義「日本ワイン学」	R4/12/1	〃	〃	木村英生		
第3回推進委員会	R5/3/1	〃	〃	恩田 匠		
地理的表示「山梨」審査会						
第88回	R4/4/21	山梨県ワイン酒造組合	かいてらす	恩田 匠		
第89回	R4/6/7	〃	〃	恩田 匠		
第90回	R4/7/6	〃	〃	恩田 匠		
第91回	R4/8/10	〃	〃	恩田 匠		
第92回	R4/9/21	〃	〃	恩田 匠		
第93回	R4/10/27	〃	〃	恩田 匠		
第94回	R4/12/6	〃	〃	恩田 匠		
第95回	R5/1/16	〃	〃	恩田 匠		
第96回	R5/2/23	〃	〃	恩田 匠		
第97回	R5/3/23	〃	〃	恩田 匠		
「山梨ワイン産地確立推進計画」推進連絡会議						
第18回	R4/11/24	果樹・6次産業振興課	オンライン開催	木村英生		
山梨県立農林高等学校マイスター・ハイスクール事業						
第1回事業推進委員会	R4/6/1	教育委員会	農林高等学校	恩田 匠		
第2回事業推進委員会	R5/1/16	〃	〃	恩田 匠		
小規模ワイナリー重点支援事業						
第1回	R4/7/20	山梨県ワイン酒造組合	山梨県ワイン酒造組合	恩田 匠		
第2回	R5/3/17	〃	〃	恩田 匠		
第3回	R5/3/29	〃	〃	恩田 匠	木村英生	

会議名	期日	依頼者	派遣場所	出席者		
山梨県溶接技術競技大会						
令和4年度 山梨県溶接技術競技大会	R4/6/4	(一社)山梨県鉄構溶接協会	ポリテクセンター山梨	内藤裕利 石田正文	八代浩二 鈴木大介	阿部 治 長田和真
令和4年度 山梨県高等学校溶接競技会	R4/6/4	"	"	内藤裕利 石田正文	八代浩二 鈴木大介	阿部 治 長田和真
外観審査会	R4/6/7	"	"	八代浩二 鈴木大介	阿部 治 長田和真	石田正文
曲げ審査会	R4/7/1	"	"	八代浩二 鈴木大介	阿部 治 長田和真	石田正文
表彰委員会	R4/7/6	"	山梨県鉄構会館	内藤裕利	八代浩二	阿部 治
表彰式	R4/7/22	"	"	内藤裕利		
令和5年度キックオフ会議	R5/2/22	"	"	八代浩二	阿部 治	
ロボコンやまなし2022						
第1回実行委員会	R4/7/5	ロボコンやまなし2022実行委員会	アイメッセ山梨	布施嘉裕		
第2回実行委員会	R4/11/4	"	"	中込広幸		
大会	R4/11/12	"	"	河野 裕 永田靖貴	布施嘉裕 中込広幸	阿部正人 保坂 馨
令和4年度県民の日富士吉田会場実行委員会総会	R4/5/27	県民の日富士吉田会場実行委員会	富士吉田合同庁舎	萩原 茂		
山梨大学ワイン科学研究センター新棟開所式	R4/6/9	山梨大学	山梨大学	内藤裕利	恩田 匠	
やまなし次亜塩素酸水研究会						
第1回	R4/7/22	やまなし次亜塩素酸水研究会	古名屋ホテル	吉村千秋	山田博之	
第2回	R4/10/12	"	"	吉村千秋		
第3回	R4/12/23	"	"	吉村千秋	山田博之	
第4回	R5/3/22	"	"	吉村千秋	山田博之	
山梨県スタートアップ支援サイト構築業務委託に係る企画提案審査会	R4/8/5 R4/9/29	成長産業推進課	オンライン開催	鈴木文晃		
ドローンとAIを活用したDX推進データサイエンティスト人材養成プログラム						
第1回	R4/8/18	山梨大学	オンライン開催	内藤裕利		
令和4年度行政課題研修「ワイン県×部局横断」	R4/9/9	職員研修所	勝沼ぶどうの丘	恩田 匠		
令和4年酒類鑑評会	R4/10/5	東京国税局鑑定官室	東京国税局鑑定官室	長沼孝多		
山梨大学ワインセミナー	R4/10/29	山梨大学	フクラシア品川クリスタル	木村英生		
令和4年度やまなしスタック多用途展開加速化事業費補助金検討会議						
第1回	R4/11/7	産業労働部	県庁別館	岩間貴司		
山梨県型技術研究会・山梨県表面処理研究会 先進企業見学会 (「JIMTOF2022 第31回日本国際工作機械見本市」の見学)	R4/11/11	山梨県型技術研究会 山梨県表面処理研究会	東京ビッグサイト	佐野正明 小松正和	西村通喜 宮澤航平	早川 亮
オフフレーバー研究会勉強会	R4/11/15	オフフレーバー研究会	東京家政大学	恩田 匠		
本郷メッセ	R5/2/14	(公財)やまなし産業支援機構 メディカル・デバイス・コリドー推進センター	全国家電会館	岩間貴司	山田博之	
東京国税局職員研修会	R5/2/17	東京国税局鑑定官室	東京国税局鑑定官室	恩田 匠		
(一社)型技術協会金型品質評価研究委員会						
第1回	R4/7/22	金型品質評価研究委員会	工学院大学	佐野正明		
第2回	R4/9/8	"	(株)ソディック工作機械事業本部	佐野正明		
第149回型技術セミナー	R5/3/9	金型品質評価研究委員会	中野サンプラザ	佐野正明		
山梨県表面処理・型技術研究会合同勉強会	R4/8/30	山梨県表面処理研究会 型技術研究会	甲府技術センター オンライン開催	八代浩二 小松正和 宮澤航平	西村通喜 早川 亮	三神武文 芦澤里樹
山梨県表面処理研究会第36回研究発表会	R4/12/15	山梨県表面処理研究会	甲府技術支援センター	八代浩二 芦澤里樹	三神武文 宮澤航平	小松正和
ふじのくに先端医療総合特区地域協議会	R5/2/16	成長産業推進課	静岡県医療健康産業研究開発センター(ハイブリッド開催)	清野 浩	萩原 茂	
令和4年 第3回ワイン・フロンティアリーダー養成プログラム推進委員会	R5/3/1	山梨大学	ワイン科学研究センター	恩田 匠		
勝沼ワイン協会ゼミナール	R5/3/19	勝沼ワイン協会	勝沼ぶどうの丘	恩田 匠		

4. その他会議

会議名	期日	会場	出席者		
産学官連携・国関連					
総合理工学研究機構					
第1回総合理工学研究機構研究員研修会	R4/9/2	オンライン開催	萩原 茂	吉村千秋	岩間貴司
			高尾清利	有泉直子	河野 裕
			山田博之	佐野正明	恩田 匠
			渡辺 誠	中村聖名	三井由香里
			宮川理恵	上垣良信	宮川和博
			布施嘉裕	三神武文	石黒輝雄
			串田賢一	木村英生	望月威夫
			林 善永	尾形美貴	中村 卓
			富永裕輝	中込広幸	保坂 響
			小松正和	芦澤里樹	小松利安
			早川 亮	鈴木文晃	古屋雅章
			渡邊慧輔		
第2回総合理工学研究機構研究員研修会	R5/2/14	富士山科学研究所及びオンライン開催	萩原 茂	吉村千秋	岩間貴司
			高尾清利	有泉直子	河野 裕
			渡辺 誠	中村聖名	三井由香里
			上垣良信	尾形美貴	布施嘉裕
			富永裕輝	保坂 響	三神武文
渡邊慧輔					
第3回総合理工学研究機構研究員研修会	R5/2/20	オンライン開催	有泉直子	河野 裕	保坂 響
			小松正和	古屋雅章	渡邊慧輔
やまなし産学官連携研究交流事業	R4/10/24 ~R5/3/31	〃	関係職員		
組合関連					
山梨県水晶宝飾協同組合 総会	R4/5/23	甲府商工会議所	宮川和博		
山梨県水晶宝飾協同組合 理事会	R4/4/20	山梨県水晶宝飾協同組合	宮川和博		
	R4/5/23	甲府商工会議所	宮川和博		
	R4/7/4	山梨県水晶宝飾協同組合	宮川和博		
	R4/10/3	〃	宮川和博		
	R4/11/7	〃	宮川和博		
	R4/12/5	〃	宮川和博		
	R5/2/6	〃	宮川和博		
	R5/3/13	〃	宮川和博		
山梨県味噌醤油工業協同組合 第74期通常総会	R4/5/13	(株) テンヨ武田	清野 浩		
西桂織物工業協同組合 第50回通常総会	R4/5/17	西桂町産業会館	萩原 茂	渡辺 誠	
都留機械金属工業協同組合 第51回通常総会	R4/5/28	山一	萩原 茂		
都留機械金属工業協同組合 創立50周年記念式典	R5/1/21	ホテル鐘山苑	萩原 茂		
山梨県パン協同組合 意見交換	R4/9/28	コーナーポケット 韮崎本店	内藤裕利	有泉直子	長沼孝多
富士吉田商工会議所 令和5年新年賀詞交歓会	R5/1/11	ハイランドリゾート&スパ	萩原 茂		
山梨県鉄工溶接協会 令和5年度新年互礼会	R5/1/26	アピオ甲府	内藤裕利		
その他					
燃料電池関連					
山梨県公募型プロポーザル方式事業者選定等委員会 水素・燃料電池関係販路開拓・研究開発サポート調査業務委託に係る企画提案審査委員会	R4/11/4	県庁別館	岩間貴司		
やまなし水素・燃料電池ネットワーク協議会 第1回WG合同会議	R4/9/30	山梨大学	山田博之		
令和4年度「水素・燃料電池産業技術人材養成講座」成果報告会・閉講式	R5/2/14	山梨大学	内藤裕利		

会議名	期日	会場	出席者		
NEDO「燃料電池等利用の飛躍的拡大に向けた共通課題解決型産学官連携研究開発事業/共通課題解決型基盤技術開発/電気化学的特性測定技術の研究開発」					
解析内容検討（日本バイリーン）	R4/4/1	オンライン開催	三神武文		
MEA評価結果報告（奈良高専）	R4/4/6	〃	三神武文	川本鉄平	
MEA評価結果報告（東京工業大学）	R4/4/13	〃	三神武文	川本鉄平	小林 誉
電気化学討論会（FC-Cubic他）	R4/4/14	〃	三神武文	川本鉄平	
MEA評価結果報告（同志社大学・産総研）	R4/4/15	〃	大丸明正	三神武文	川本鉄平
			小林 誉		
MI検討会（NIMS）	R4/4/18	〃	三神武文	川本鉄平	
材料解析結果報告（山梨大学）	R4/4/20	〃	三神武文	川本鉄平	小林 誉
MEA評価結果報告（東京都立大学）	R4/4/20	〃	三神武文	川本鉄平	小林 誉
MEA評価結果報告（岩手大学）	R4/4/25	〃	大丸明正	三神武文	川本鉄平
			小林 誉		
材料解析結果報告（兵庫県立大）	R4/4/28	〃	三神武文		
MEA評価結果報告（九州大学）	R4/4/28	〃	大丸明正	三神武文	川本鉄平
			小林 誉		
材料解析結果報告（豊橋技術科学大学）	R4/5/9	〃	三神武文		
解析内容検討（東京工業大学/熊本大学）	R4/5/9	〃	三神武文		
材料解析結果報告（NIMS）	R4/5/11	〃	三神武文	川本鉄平	
解析内容検討（名古屋大学）	R4/5/19	〃	三神武文		
燃料電池評価プロトコル打ち合わせ	R4/5/30	技術研究組合FC-Cubic	三神武文	川本鉄平	小林 誉
MEA評価結果報告（同志社大学）	R4/6/10	オンライン開催	大丸明正	三神武文	川本鉄平
			小林 誉		
解析内容検討（東京理科大学）	R4/6/14	〃	三神武文		
解析内容検討（北海道大学）	R4/6/16	〃	三神武文		
材料解析結果報告（京都大学）	R4/6/16	〃	三神武文		
発電評価検討（信州大）	R4/6/16	〃	大丸明正	三神武文	
MEA評価結果報告（京都大学）	R4/6/22	〃	大丸明正	三神武文	川本鉄平
			小林 誉		
材料解析結果報告（奈良高専）	R4/6/22	〃	三神武文		
電気化学討論会（FC-Cubic）	R4/6/30	〃	三神武文	川本鉄平	
解析内容検討（群馬大学/日清紡）	R4/7/15	〃	三神武文	川本鉄平	小林 誉
シミュレーショングループ討議会（FC-Cubic他）	R4/7/19	〃	三神武文		
シミュレーショングループ討議会（FC-Cubic他）	R4/7/20	〃	三神武文		
MI打ち合わせ（NIMS）	R4/7/21	〃	三神武文	川本鉄平	
材料解析結果報告（岩手大学）	R4/7/22	〃	三神武文		
MI検討（NIMS他）	R4/7/25	〃	三神武文		
解析内容検討（山梨大学）	R4/7/26	〃	三神武文	川本鉄平	小林 誉
材料解析結果報告（東京工業大学）	R4/7/27	〃	三神武文		
MEA評価結果報告（大分大学）	R4/7/27	〃	大丸明正	三神武文	川本鉄平
			小林 誉		
解析内容検討（鶴岡高専）	R4/7/29	〃	三神武文		
MI打ち合わせ（NIMS）	R4/8/2	〃	三神武文	川本鉄平	
解析内容検討（奈良高専）	R4/8/3	〃	三神武文	川本鉄平	小林 誉
材料解析結果報告（群馬大学、日清紡）	R4/8/5	〃	三神武文		
解析内容検討（同志社大学）	R4/8/5	〃	三神武文	川本鉄平	小林 誉
MEA評価結果報告（群馬大学/日清紡）	R4/9/12	〃	三神武文	川本鉄平	小林 誉
材料解析結果報告（群馬大学）	R4/9/12	〃	三神武文		
解析内容検討（名古屋工業大学）	R4/9/12	〃	三神武文		
解析内容検討（大分大学）	R4/9/15	〃	三神武文		
解析内容検討（東京都立大学）	R4/9/26	〃	三神武文		
解析内容検討（神戸大学）	R4/9/26	〃	三神武文		
RDE結果報告（鶴岡高専）	R4/9/28	〃	三神武文		
MEA評価結果報告（同志社大学）	R4/10/4	〃	大丸明正	三神武文	川本鉄平
			小林 誉		
シミュレーショングループ討議会（FC-Cubic他）	R4/10/5	〃	三神武文		
解析内容検討（北海道大学）	R4/10/11	〃	三神武文		
材料解析結果報告（名古屋大学）	R4/10/11	〃	三神武文		
材料解析結果報告（信州大）	R4/10/12	〃	三神武文		
解析内容検討（九州大学）	R4/10/12	〃	三神武文	川本鉄平	小林 誉

会議名	期日	会場	出席者		
解析内容検討（東京工業大学）	R4/10/13	オンライン開催	三神武文	川本鉄平	小林 誉
MEA評価結果報告（群馬大学/日清紡）	R4/10/13	〃	三神武文	川本鉄平	小林 誉
NEDO研究評価委員会（中間評価）	R4/10/14	〃	三神武文		
電気化学討論会（FC-Cubic他）	R4/10/17	〃	三神武文	川本鉄平	
解析内容検討（京都大学）	R4/10/17	〃	三神武文		
材料解析結果報告（同志社大学）	R4/10/18	〃	三神武文	小林 誉	
材料解析結果報告（山梨大学）	R4/10/19	〃	三神武文		
材料解析結果報告（九州大学）	R4/10/21	〃	三神武文		
シミュレーショングループ討議会（FC-Cubic他）	R4/10/24	〃	三神武文		
解析内容検討（東京大学）	R4/10/25	〃	三神武文		
解析内容検討（東京理科大学）	R4/10/25	〃	三神武文		
解析内容検討（群馬大学）	R4/10/27	〃	三神武文		
MEA評価結果報告（大分大学）	R4/11/1	〃	三神武文		
材料解析結果報告（名古屋大学）	R4/11/2	〃	三神武文		
解析内容検討（NIMS）	R4/11/2	〃	三神武文		
材料解析結果報告（神戸大学）	R4/11/7	〃	三神武文		
材料解析結果報告（神戸大学）	R4/11/11	〃	三神武文		
解析内容検討（同志社大学/石福金属）	R4/11/14	甲府技術支援センター	大丸明正	三神武文	川本鉄平
			小林 誉		
連携会議（山梨大学）	R4/11/21	オンライン開催	三神武文		
連携会議（NIMS）	R4/11/22	〃	三神武文		
			大丸明正	三神武文	川本鉄平
			小林 誉		
MEA評価結果報告（九州大学）	R4/11/24	〃			
材料解析結果報告（山梨大学）	R4/11/30	オンライン開催	三神武文		
材料評価結果報告（東京大学）	R4/12/5	〃	三神武文		
MEA評価結果報告（山梨大学）	R4/12/7	〃	三神武文	川本鉄平	小林 誉
連携会議（信州大学）	R4/12/8	〃	三神武文		
連携会議（デンソー）	R4/12/8	〃	三神武文		
MEA評価結果報告（東京都立大学）	R4/12/9	〃	三神武文	川本鉄平	小林 誉
材料解析結果報告（日本原子力研究開発機構）	R4/12/9	〃	三神武文		
連携会議（産業技術総合研究所）	R4/12/16	〃	三神武文		
材料評価結果報告（京都大学）	R4/12/19	〃	三神武文		
			大丸明正	三神武文	川本鉄平
			小林 誉		
MEA評価結果報告（産業技術総合研究所）	R4/12/20	〃			
材料評価結果報告（神戸大学）	R4/12/26	〃	三神武文		
MEA評価結果報告（群馬大学/日清紡）	R4/12/26	〃	三神武文	川本鉄平	小林 誉
RDE結果報告（東京理科大学）	R4/12/26	〃	三神武文		
			大丸明正	三神武文	川本鉄平
MEA評価内容検討（FC-Cubic他）	R5/1/5	〃	小林 誉		
MEA評価結果報告（NIMS）	R5/1/11	〃	三神武文	川本鉄平	小林 誉
材料評価結果報告（群馬大学）	R5/1/17	〃	三神武文		
MEA評価結果報告（日本バイリーン）	R5/1/18	〃	三神武文		
MEA評価結果報告（東京工業大学）	R5/1/18	〃	三神武文	川本鉄平	小林 誉
			大丸明正	三神武文	川本鉄平
MEA評価内容検討（産業技術総合研究所）	R5/1/19	〃	小林 誉		
GDL評価内容検討（九州大学）	R5/1/20	〃	三神武文		
MEA評価結果報告（奈良高専）	R5/1/23	〃	三神武文	川本鉄平	小林 誉
MEA評価結果報告（山梨大学）	R5/1/30	〃	三神武文	川本鉄平	小林 誉
材料評価結果報告（北海道大学）	R5/1/30	〃	三神武文		
シミュレーショングループ討議会（FC-Cubic他）	R5/1/31	〃	三神武文		
シミュレーショングループ討議会（FC-Cubic他）	R5/2/3	〃	三神武文		
材料評価結果報告（大分大学）	R5/2/6	〃	三神武文		
NEDO燃料電池評価解析プラットフォームPL意見交換会	R5/2/7	技術研究組合FC-Cubic	三神武文		

会議名	期日	会場	出席者		
シミュレーショングループ討議会 (FC-Cubic他)	R5/2/8	オンライン開催	三神武文		
シミュレーショングループ討議会 (FC-Cubic他)	R5/2/10	"	三神武文		
材料評価結果報告 (九州大学)	R5/2/13	"	三神武文		
材料評価結果報告 (東京理科大学)	R5/2/13	"	三神武文		
材料評価結果報告 (名古屋工業大学)	R5/2/13	"	三神武文		
MEA評価結果報告 (山梨大学)	R5/2/13	"	三神武文	川本鉄平	小林 誉
材料評価結果報告 (東京大学)	R5/2/14	"	三神武文		
材料解析討議会 (FC-Cubic他)	R5/2/27	"	三神武文		
材料解析討議会 (FC-Cubic他)	R5/2/28	"	三神武文		
MEA評価内容検討 (東京都立大学)	R5/3/6	"	三神武文	川本鉄平	小林 誉
MEA評価結果報告 (産総研)	R5/3/9	"	大丸明正 小林 誉	三神武文	川本鉄平
電気化学討論会 (FC-Cubic他)	R5/3/24	"	三神武文		
第8回FC-Cubicオープンシンポジウム	R4/7/13	オンライン開催	三神武文		
第9回FC-Cubicオープンシンポジウム	R4/10/17	"	三神武文		
第13回新電極触媒シンポジウム&宿泊セミナー	R4/11/25~26	東レ総合研修センター	川本鉄平		
第22回燃料電池基盤技術研究懇話会	R4/11/29	AP東京八重洲	三神武文	小林 誉	
第10回FC-Cubicオープンシンポジウム	R5/3/23	オンライン開催	三神武文		
FCEXP02023	R5/3/15~17	東京ビッグサイト	三神武文	小林 誉	加賀爪広
NEDO戦略的省エネルギー技術革新プログラム「難燃性マグネシウム合金のダイカストによる自動車部材の量産プロセス技術開発」					
鑄造試験	R5/1/30~2/1	茨城県産業技術イノベーションセンター	佐野正明	八代浩二	鈴木大介
	R5/2/2	"	鈴木大介		
	R5/2/27~28	"	鈴木大介		
令和4年度第1回全体会議	R5/1/24	オンライン開催	佐野正明 三井由香里	八代浩二 長田和真	鈴木大介
令和4年度第2回全体会議	R5/3/20	オンライン開催	佐野正明 三井由香里	八代浩二 長田和真	鈴木大介
テクノネット「ふじざくら」					
幹事会	R4/5/23	富士技術支援センター	内藤裕利 山田博之 萩原義人	萩原 茂 中村聖名	柴田克己 勝又信行
総会	R4/7/21	"	内藤裕利 山田博之 萩原義人 望月陽介	萩原 茂 中村聖名 寺澤章裕 渡邊慧輔	柴田克己 勝又信行 古屋雅章 永田靖貴
講演会	R4/7/21	"	内藤裕利 山田博之 萩原義人 望月陽介	萩原 茂 中村聖名 寺澤章裕 渡邊慧輔	柴田克己 勝又信行 古屋雅章 永田靖貴
講演会	R4/12/13	"	中村聖名 寺澤章裕	勝又信行 望月陽介	萩原義人 渡邊慧輔
山梨ジュエリープロジェクト委員会					
第1回ジュエリープロジェクト委員会	R4/4/14	甲府商工会議所	秋本梨恵		
第2回ジュエリープロジェクト委員会	R4/6/2	"	秋本梨恵		
第3回ジュエリープロジェクト委員会	R4/11/4	"	秋本梨恵		
第4回ジュエリープロジェクト委員会	R5/1/24	"	秋本梨恵		
第5回ジュエリープロジェクト委員会	R5/3/15~17	"	秋本梨恵		
メディカル・デバイス・コリドー推進センター月次報告会	R4/5/10	オンライン開催	山田博之		
	R4/6/7	アイメッセ山梨	山田博之		
	R4/7/6	山梨県庁	山田博之		
	R4/8/10	アイメッセ山梨	山田博之		
	R4/9/8	"	山田博之		
	R4/10/5	山梨県庁	山田博之		
	R4/11/8	オンライン開催	山田博之		
	R4/12/7	アイメッセ山梨	山田博之		
	R5/1/12	"	山田博之		
	R5/2/10	"	山田博之		
R5/3/10	産業技術センター	岩間貴司			
R5/3/30	アイメッセ山梨	山田博之			

会議名	期日	会場	出席者		
中小企業経営革新サポート事業「中小企業サポート連携拠点会議」					
第1回A会議	R4/4/19	防災新館	三井由香里		
第2回A会議	R4/6/21	オンライン開催	三井由香里		
第5回A会議	R4/12/20	〃	三井由香里		
第6回A会議	R5/2/21	〃	三井由香里		
山梨青年工業会創立50周年記念式典・懇談会	R4/7/9	フルーツパーク富士屋ホテル	内藤裕利		
山梨ワイナリー協会 第50回定時総会・研修会	R4/8/17	勝沼ぶどうの丘	内藤裕利	恩田 匠	
医療機器産業技術人材育成講座	R4/10/7	ファルマバレーセンター・深澤電工(株)	萩原義人	勝又信行	
第67回全国酒造技術指導機関合同会議	R4/10/21	オンライン開催	恩田 匠	木村英生	
第5回日本ワインの製造に関する技術情報交換会	R5/2/20	オンライン開催	恩田 匠	木村英生	
令和4年東京国税局酒類鑑評会製造技術研究会	R4/11/2	東京国税局	長沼孝多	橋本卓也	
第15回SEMユーザーズミーティング・第41回EPMA・表面分析ユーザーズミーティング	R4/10/27~28	浅草橋ヒューリックホール	石田正文		
理研シンポジウム	R5/1/19~20	(国研) 理化学研究所和光事業所	長沼孝多		

報道関係

1. テレビ等

	題目	名称等	年月日
1	NEWS かいドキ 「プラチナ合金について (ウクライナ情勢による宝飾業界への影響)」	NHK 甲府放送局	R4/4/22
2	NHK おはよう日本 おは Biz 「価格高騰! 変わるジュエリーづくり 価格4分の1 ルテニウム使ったプラチナ」	NHK 全国	R4/6/3
3	#金曜やまなし 「DESIGN MUSEUM JAPAN ～山梨・郡内織物×柴田文江～」	NHK 甲府放送局	R4/6/24
4	「日本ワイン」のコンクールが3年ぶりに開催	NHK 甲府放送局	R4/7/13
5	日本ワインコンクールが3年ぶりに開催	山梨放送	R4/7/13
6	3年ぶり開催の日本ワインコンクール 過去最多108のワイナリーから選りすぐりのワイン706本が出品	テレビ山梨	R4/7/13
7	「日本ワイン」コンクール 山梨 ことしも受賞最多	NHK 甲府放送局	R4/7/26
8	日本ワインコンクール 山梨県産ワインが部門最高賞に	山梨放送	R4/7/26
9	全国のワイナリーから706点 日本ワインコンクール 山梨県は5点が金賞 新型コロナの影響で3年ぶりの開催	テレビ山梨	R4/7/26
10	NEWS かいドキ 「アルゼンチン国立工業技術院の視察 (yisPIP システム) について」	NHK 甲府放送局	R4/11/17
11	デザインミュージアムジャパン	NHK 全国	R4/12/10

2. 新聞・情報誌等

	題目	名称等	年月日
1	県産業技術センター 高度技術開発棟が竣工	山梨建設新聞	R4/4/13
2	3年ぶり鑑評会 73点審査 ワイン 格段に向上	山梨日日新聞	R4/4/14
3	展望台 未来を作るデザイン	山梨日日新聞	R4/4/14
4	県ワイン鑑評会 計73銘柄を審査 3年ぶり開催喜ぶ	朝日新聞	R4/4/14
5	ワイン7点を認証 甲州市産地呼称で販売	山梨日日新聞	R4/5/25
6	県産業技術センターに新棟 イノベーション支援	山梨日日新聞	R4/6/30
7	「日本ワイン」の最高峰は? 3年ぶりコンクール開催	山梨日日新聞	R4/7/13
8	日本ワインコンクール3年ぶりに開催	産経新聞	R4/7/14
9	ワインコンクール、3年ぶり開催	日本経済新聞	R4/7/14
10	日本ワインコンクール審査結果発表	読売新聞	R4/7/26
11	日本ワイン、長野が5部門で最高賞 3年ぶりコンクール	日本経済新聞	R4/7/26
12	日本ワインコンクール 長野、最多12銘柄で金賞 山梨の5銘柄上回る	山形新聞	R4/7/26
13	日本ワインコンクール3年ぶり開催金賞県内醸造5点甲州部門盛田甲州が最高賞	山梨日日新聞	R4/7/27
14	3年ぶりの開催となった「日本ワインコンクール2022」金賞に輝いた24銘柄と審査結果を発表!	酒販ニュース	R4/7/30
15	3年ぶり「日本ワインコンクール」開催 24銘柄が金賞	日本食糧新聞	R4/8/17

	題目	名称等	年月日
16	甲信ワインの切磋琢磨を	毎日新聞	R4/8/21
17	県産の日本酒酵母 開発 水資源生かしブランド化 産業技術センター、研究進む	山梨日日新聞	R4/8/27
18	日本ワインコンクール金賞の16社を表彰	山梨日日新聞	R4/8/28
19	織物技術 高度化へ機器 富士支援センター 試験棟を新設	山梨日日新聞	R4/10/8
20	ワイン戦国時代3 オレンジ色 新たな風 参入加速 県も醸造支援	読売新聞	R4/11/11
21	アルゼンチンからの視察団が山梨県産業技術センターを訪問	NHK WEB 山梨 NEWS WEB	R4/11/17
22	アルゼンチンの技術院職員来県 9人が県産業センター視察	山梨日日新聞	R4/11/18
23	産業9テーマ 研究成果発表	山梨日日新聞	R4/12/16
24	地域経済再生 ヒントを語る 6日に甲府で講演会	山梨日日新聞	R5/2/1
25	柑橘残滓から樹脂生産 新規バイオマス素材で期待	食品化学新聞	R5/2/2
26	展望台 足元にあるデザイン	山梨日日新聞	R5/2/16
27	農業廃棄物からバイオマス樹脂を開発、循環型社会の実現に貢献	月刊フードケミカル	R5/3/1

職員の資質向上

1. 派遣研修

所属・職・氏名	研修テーマ	研修先	期間
国立試験研究機関等			
繊維技術部 製品開発科 主任研究員 尾形正岐	地域産業活性化人材育成事業	産業技術総合研究所 中国センター つくばセンター	R4/10/12～11/11
山梨大学との共同研究			
繊維技術部 製品開発科 研究員 塩澤佑一朗	プラズマ成膜したDLC膜の分光分析	山梨大学	通年
知的財産権研修			
企画連携推進部 企画・情報科 主任研究員 上垣良信	知的財産権研修（初級）（公設試験研究機関等向け）（第2回）	（独）工業所有権情報・研修館 ※オンライン開催	R4/11/15～17
中小企業支援担当者等研修			
材料・燃料電池技術部 化学・燃料電池科 主任研究員 芦澤里樹	「伴走型支援のためのロジカルシンキング」	（独）中小企業基盤整備機構 人材支援部 中小企業大学校 東京校	R4/10/3～5
食品酒類・研磨宝飾技術部 食品酒類・バイオ科 研究員 小嶋匡人	「製造業の新市場への参入支援」	（独）中小企業基盤整備機構 人材支援部 中小企業大学校 東京校	R4/11/9～11
材料・燃料電池技術部 化学・燃料電池科 研究員 宮澤航平	「公設試験研究機関研究職員研修」	（独）中小企業基盤整備機構 人材支援部 中小企業大学校 東京校	R4/11/15～18
機械電子技術部 機械電子科 研究員 古屋雅章	「地域活性化のための地域分析手法と戦略」	（独）中小企業基盤整備機構 人材支援部 中小企業大学校 東京校	R4/12/12～16
基礎技術研修			
デザイン技術部 研究員 佐藤博紀	第1種衛生管理者受験準備講習会	山梨県立中小企業人材開発センター	R4/6/7～8, R5/2/28
繊維技術部 製品開発科 主幹研究員 望月威夫	危険物取扱者試験（甲種）受験準備講習会	専売ビル8階 専売ホール	R4/6/27～28
食品酒類・研磨宝飾技術部 研磨・宝飾科 研究員 佐藤貴裕	実習で学ぶ画像処理・認識技術（Open CV編）	（独）高齢・障害・求職者雇用支援機構「高度ポリテクセンター」	R4/8/18～19
機械電子技術部 素材料 研究員 望月陽介	赤外スペクトルの解析法セミナー	ジャスコエンジニアリング（株）	R4/7/1
材料・燃料電池技術部 工業材料科 研究員 長田和真	FE-SEM標準コース	日本電子（株）	R4/11/16～18
機械技術部 主幹研究員 石黒輝雄	機械研削盤のといし取替え・試運転の業務特別教育（機械研削）	静基連会館 ポリテクセンター静岡	R5/1/23～24
県内民間企業研修 ものづくり研修			
電子・システム技術部 システム開発科 技師 保坂 響	ものづくり研修	（株）ヴァックシステムズ	R4/10/24, 10/27～28, 11/14～15
電子・システム技術部 電子応用科 技師 富永裕輝	ものづくり研修	（株）中家製作所	R5/1/17～18, 2/15～17

2. その他研修

所属・職・氏名	研修テーマ	研修先	期間
電子・システム技術部 電子応用科 技師 富永裕輝 システム開発科 技師 保坂 響 機械電子技術部 機械電子科 技師 渡邊慧輔	職員研修所 新任職員研修 「基礎研修Ⅰ」	山梨県自治会館 (オンライン開催)	R4/4/6～8
電子・システム技術部 電子応用科 技師 富永裕輝 システム開発科 技師 保坂 響	職員研修所 新任職員研修 「文書管理システム研修」	オンライン開催	R4/4/13
電子・システム技術部 電子応用科 技師 富永裕輝 システム開発科 技師 保坂 響 機械電子技術部 機械電子科 技師 渡邊慧輔	職員研修所 新任職員研修 「チームビルディング研修」	山梨県自治会館	R4/4/18
電子・システム技術部 電子応用科 技師 富永裕輝 システム開発科 技師 保坂 響 機械電子技術部 機械電子科 技師 渡邊慧輔	職員研修所 新任職員研修 「基礎研修Ⅱ」	オンライン開催	R4/5/12
電子・システム技術部 電子応用科 技師 富永裕輝 システム開発科 技師 保坂 響 機械電子技術部 機械電子科 技師 渡邊慧輔	職員研修所 新任職員研修 「政策形成研修（事前講義）」	山梨県自治会館 (オンライン開催)	R4/5/24
電子・システム技術部 システム開発科 技師 保坂 響	職員研修所 新任職員研修 「基礎研修Ⅲ」	オンライン開催	R4/5/27～6/30
電子・システム技術部 電子応用科 技師 富永裕輝			R4/6/1, 8/3
機械電子技術部 機械電子科 技師 渡邊慧輔			R4/6/22, 7/29
電子・システム技術部 電子応用科 技師 富永裕輝	職員研修所 新任職員研修 「政策形成研修（宿泊研修）」	(一財) 人材開発センター 富士研修 所	R4/6/9～10
電子・システム技術部 システム開発科 技師 保坂 響 機械電子技術部 機械電子科 技師 渡邊慧輔			R4/6/28～29

所属・職・氏名	研修テーマ	研修先	期間
食品酒類・研磨宝飾技術部 食品酒類・バイオ科 主任研究員 橋本卓也	第116回酒類醸造講習（短期製麹コース）	（独）酒類総合研究所	R4/9/12～16
電子・システム技術部 電子応用科 技師 富永裕輝 システム開発科 技師 保坂 響	職員研修所 新任職員研修 「災害対応研修」	防災新館	R4/7/13
機械電子技術部 機械電子科 技師 渡邊慧輔			R4/7/14
職員30名	IoT・DX研修会	甲府技術支援センター イノベーション支援棟 イノベーションルーム	R4/8/9
		富士技術支援センター （オンライン開催）	
電子・システム技術部 部長 河野 裕 システム開発科 主任研究員 布施嘉裕 企画連携推進部 企画・情報科 研究員 林 善永	令和4年度リモートラーニングによる 情報セキュリティ研修 「デジタルリテラシー修得コース」	地方公共団体情報システム機構 （オンライン開催）	R4/9/6～11/31
機械電子技術部 機械電子科 技師 渡邊慧輔	職員研修所 新任職員研修 「ワイン県×部局横断」	メルシャン圃場・ワイナリー・勝沼ぶどうの丘	R4/9/9
電子・システム技術部 電子応用科 技師 富永裕輝 システム開発科 技師 保坂 響 機械電子技術部 機械電子科 技師 渡邊慧輔	職員研修所 新任職員研修 「地方自治法研修」	職員研修所 （オンライン開催）	R4/9/15
電子・システム技術部 電子応用科 技師 富永裕輝 システム開発科 技師 保坂 響 機械電子技術部 機械電子科 技師 渡邊慧輔	職員研修所 新任職員研修 「リフレクション研修」	山梨県立図書館	R4/9/29
電子・システム技術部 電子応用科 技師 富永裕輝	TKFミニインターンシップ（電磁界シミュレータ（CST Studio Suite））	東京都立産業技術研究センター 多摩テクノプラザ	R4/10/12
電子・システム技術部 電子応用科 技師 富永裕輝 システム開発科 技師 保坂 響 機械電子技術部 機械電子科 技師 渡邊慧輔	職員研修所 令和4年度新任職員研修 「基礎研修Ⅳ」	山梨県立文学館	R4/10/18

所属・職・氏名	研修テーマ	研修先	期間
電子・システム技術部 電子応用科 技師 富永裕輝 システム開発科 技師 保坂 響	職員研修所 新任職員研修「行政課題 研修（イノベーション×産業）」	山梨県自治会館	R4/11/10
食品酒類・研磨宝飾技術部 食品酒類・バイオ科 主任研究員 長沼孝多 主任研究員 橋本卓也	TKFミニインターンシップ（清酒の試 験醸造）	埼玉県産業技術総合センター 北部研 究所	R4/11/16～17
電子・システム技術部 電子応用科 技師 富永裕輝 システム開発科 技師 保坂 響 機械電子技術部 機械電子科 技師 渡邊慧輔	職員研修所 新任職員研修 「フォローアップ研修」	山梨県JA会館	R4/12/1
デザイン技術部 主任研究員 鈴木文晃 研究員 佐藤博紀	令和4年度デザイン政策研修「地域× デザインの「限界」と「可能性」」	経済産業省デザイン政策室 （オンライン開催）	R4/12/20
デザイン技術部 部長 金丸勝彦	令和4年度能力開発研修（市町村職員 研修所主催の開放研修） 「広報研修」	山梨県自治会館	R5/2/10
機械電子技術部 素材科 研究員 望月陽介	JIMTOF2022精密測定機器活用セミナー	東京ビッグサイト （オンライン開催）	R4/11/10
食品酒類・研磨宝飾技術部 食品酒類・バイオ科 主任研究員 長沼孝多	第58回独立行政法人酒類総合研究所講 演会	（独）酒類総合研究所 （オンライン開催）	R4/6/3
食品酒類・研磨宝飾技術部 食品酒類・バイオ科 主任研究員 長沼孝多	フードテックセミナー	成長産業推進課 （オンライン開催）	R5/1/17
食品酒類・研磨宝飾技術部 食品酒類・バイオ科 主任研究員 長沼孝多 主任研究員 尾形美貴	令和4年度 食の安全・安心を語る会	県民生活課 自治会館 （オンライン開催）	R5/3/3
食品酒類・研磨宝飾技術部 食品酒類・バイオ科 主任研究員 長沼孝多	味覚センサー活用セミナー ～公設試験研究機関向け～	（株）インテリジェントセンサーテク ノロジー （オンライン開催）	R5/2/8

学会・協会等からの表彰

テーマ名	学会・協会等名	受賞名	受賞者名	受賞日
マスト発酵中のカルボニル化合物について	日本醸造協会	技術賞	渡辺正平 乙黒親男 加々美久	S56/9/10
酸素吸収剤による食品の鮮度保持技術とその評価	日本包装技術協会	優秀包装文献賞	小宮山美弘	S60/6/14
スモモ果実の品質保持及び利用に関する生化学的研究	日本食品工業学会	研究奨励賞	小宮山美弘	S61/4/18
スモモ果実の成熟、貯蔵、利用における成分特性とその挙動に関する研究	日本果汁協会	技術賞	小宮山美弘	S63/6/10
建築鉄骨用多層溶接ロボットの開発（名称：勘助）	(社)溶接協会	溶接技術奨励賞	古屋重彦 中山信一 清水誠司 斎藤 修	H1/4/24
建築鉄骨用多層溶接ロボットの開発（名称：勘助）	平成6年度関東地方発明表彰	関東通商産業局長賞	古屋重彦 中山信一 清水誠司 斎藤 修	H6/10/20
ツーピース	第32回全国繊維技術展	通商産業省生活産業局長賞	ニット・縫製科	H6/10/30
ニットスーツ	第32回全国繊維技術展	技術振興賞	ニット・縫製科	H6/10/30
形状モデリングシステム	ニコグラフ展	プロセス賞	清水誠司 河西伸一 平川寛之 萩原 茂 阿部正人 井上陽介	H6/11/15
小ウメ果実の塩蔵中における硬度保持機構に関する研究	日本食品保蔵科学会	学会賞	乙黒親男	H7/6/3
梅漬けの硬度保持機構とその製造技術の開発	(財)山梨科学アカデミー	奨励賞	乙黒親男	H8/6/5
婦人ニットキュロットスーツ	第34回全国繊維技術展	工業技術院賞	ニット・縫製科	H8/6/19
表面処理金型鋼の残留応力に及ぼす熱サイクルの影響	日本ダイカスト協会	小野田賞	日原政彦 八代浩二 佐野正明 増沢隆久	H9/5/22
スモモ果実の高温下での品質保持に関する研究	日本食品保蔵科学会	奨励賞	辻 政雄	H9/5/24
ワッシャー加工婦人アンサンブル	第36回全国繊維技術展	工業技術院物質工学工業研究所賞	ニット・縫製科	H10/10/26

テーマ名	学会・協会等名	受賞名	受賞者名	受賞日
セラミックスと活性金属ろうとの 接合界面挙動解析	(財)山梨科学アカデミー	奨励賞	斎藤 修	H11/11/29
Influence of re-nitriding for thermal fatigue properties on nitrided hot work die steel	2001 DENVER X-RAY CONFERENCE XRD Poster Award	Poster Award	八代浩二 佐野正明 日原政彦 倉元眞實	H13/8/1
ICP-MS、CVおよびEQCM法を用いた 極微量アトーム触媒の析出状態	(社)表面技術協会	平成14年度表面技術協会進歩 賞	有泉直子	H14/2/27
高速ツーリング焼きバメ用誘導加熱装置 (MEGA HEATER)	(財)あさひ中小企業財団・ (株)日刊工業新聞社	第14回中小企業新技術・新製 品賞	橋田鉄雄	H14/6/10
食品の品質管理への近赤外分光分 析法の応用に関する研究	日本食品保蔵科学会	奨励賞	恩田 匠	H14/6/28
耐食性貴金属素材及びその製造方 法とその貴金属製品	全国中小企業団体中央会	奨励賞	中山信一 佐野照雄 宮川和博	H14/9/27
ラピッドプロトタイピングによる 義肢ソケットの直接造形	第4回日本福祉工学会	論文賞	萩原 茂 河西伸一 石田正文 清水誠司 木島一広 大柴勝彦	H14/11/30
山梨県の新しいデザイン産業・ビ ジネスモデルづくり	(財)日本産業デザイン振興会	新領域部門グッドデザイン賞	工業技術センター	H15/10/30
レーザーソグラフィを用いた模型 の造形装置	(社)発明協会	平成15年度関東地方発明表彰 山梨県知事賞	萩原 茂	H15/11/5
安全かつ高品質味噌醸造のための 微生物学的解析とバクテリオンシ ン産生乳酸菌に関する研究	(財)山梨科学アカデミー	奨励賞	恩田 匠	H18/5/29
フォトリソグラフィとアノード酸 化を利用したAl薄膜の表面加工	(社)表面技術協会	平成20年度表面技術協会進歩 賞	勝又信行	H20/2/27
甲州種ワインの高品質化に関する 研究	全国食品関係試験研究所長会	平成19年度優良研究・指導業 績表彰	原川 守	H20/3/6
宝石の精密加工方法の考案	文部科学省	平成21年度科学技術分野の文 部科学大臣表彰創意工夫功勞 者賞	坂本正純	H21/5/27
3次元アルミニウムマスクを用い たシリコン基板の反応性イオン エッチング加工技術の開発	日本真空協会	第35回真空技術賞	勝又信行 石田正文	H22/11/5
ワイン醸造工程における炭酸ガス 使用手法の改善	文部科学省	平成24年度科学技術分野の文 部科学大臣表彰創意工夫功勞 者賞	中山忠博	H24/4/17
大型高強度溶接ペローズの開発等	(一社)溶接学会	平成23年度溶接技術普及賞	宮川和幸	H24/5/18

テーマ名	学会・協会等名	受賞名	受賞者名	受賞日
高品質な国産赤ワインの製造方法の開発	全国食品関係試験研究場所長会	平成25年度優良研究・指導業績表彰	恩田 匠	H26/2/28
山梨県固有のデザインソースの編集とアーカイブ構築	日本デザイン学会	第62回春季研究発表大会グッドプレゼンテーション賞	佐藤博紀	H27/6/25
瓶内二次発酵法によるスパークリングワイン製造についての技術情報普及および基礎的研究	日本ブドウ・ワイン学会	日本ブドウ・ワイン学会技術賞	恩田 匠	H28/11/26
金型鋼の耐熱疲労特性評価をはじめとしたX線応力測定技術の素形材産業への展開	日本材料学会	平成28年度日本材料学会X線材料強度部門委員会業績賞	八代浩二	H29/1/27
天然素材のバナジウム媒染による機能化に関する研究	山梨県総合理工学研究機構	平成30年度Y-CROST研究奨励賞	上垣良信	H31/3/18
山梨県における県産小麦と県産パン酵母に関する研究開発とその普及	全国食品関係試験研究場所長会	令和元年度優良研究・指導業績表彰	木村英生	R2/2/13
日本のスパークリングワイン製造に関する研究	日本醸造協会	日本醸造協会技術賞	恩田 匠	R2/10/12
燃料電池に関する一連の研究とその成果の企業支援への展開	山梨県総合理工学研究機構	令和2年度Y-CROST研究奨励賞	三神武文	R3/2/5
X線材料強度部門委員会運営と活性化への貢献	日本材料学会	令和2年度日本材料学会X線材料強度部門委員会功労賞	八代浩二	R3/2/19
ワインをはじめとする県産農産物加工品の品質向上と開発	山梨県総合理工学研究機構	令和3年度Y-CROST研究奨励賞	小松正和	R4/2/14

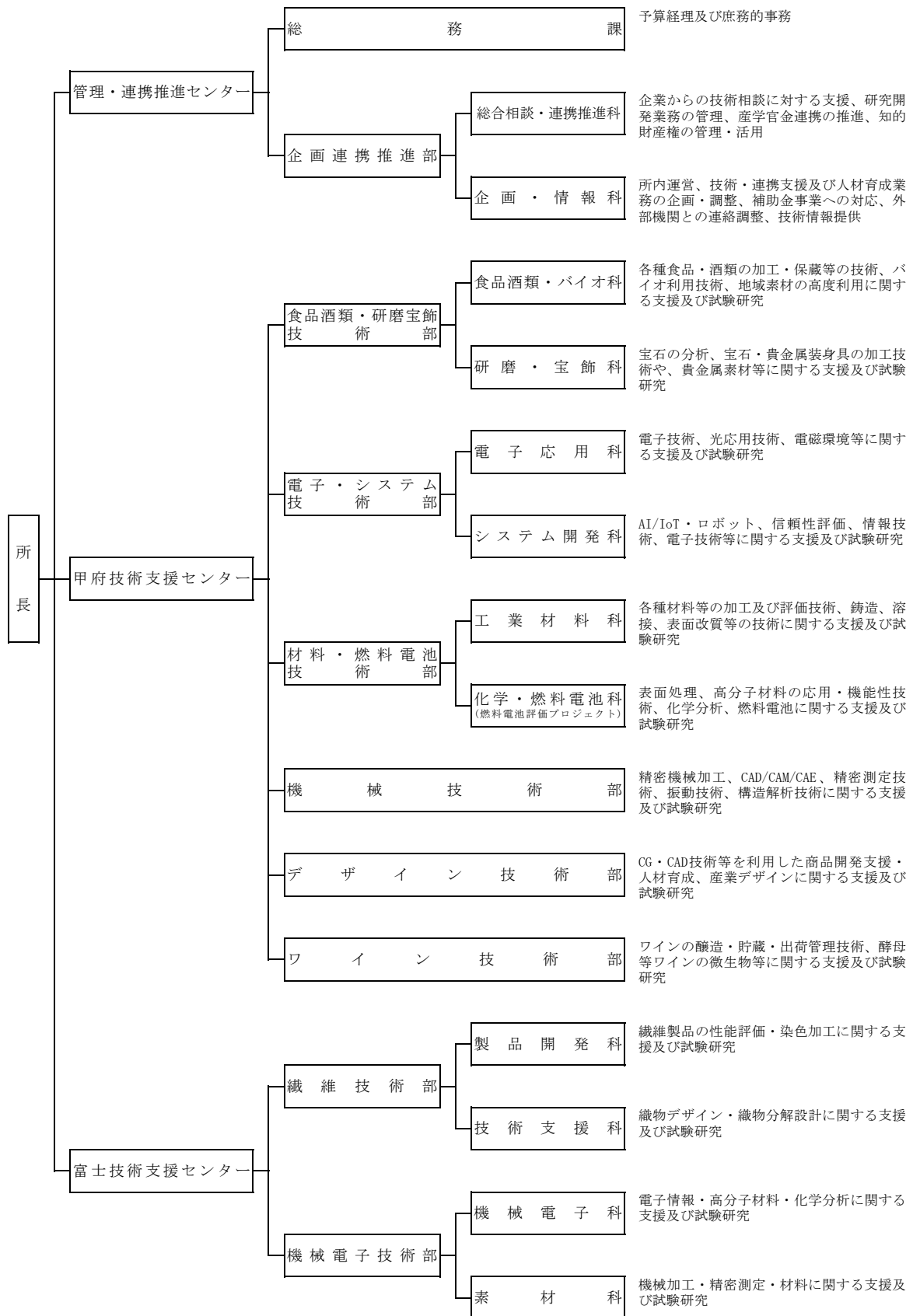
加入学会・協会等

学会名	所在地	電話番号
(一社)山梨県発明協会	山梨県甲府市大津町2192-8 アイメッセ3階	055-243-6145
(公社)日本食品科学工学会	茨城県つくば市観音台2-1-12 農研機構 食品研究部門内	029-838-7980
全国食品関係試験研究場所長会	茨城県つくば市観音台2-1-13 農研機構 食品研究部門内	029-838-8116
(公社)日本農芸化学会	東京都文京区弥生2丁目4番16号 学会センタービル2階	03-5803-9561
(公財)日本醸造協会	東京都北区滝野川2-6-30	03-3910-3853
(公社)砥粒加工学会	東京都新宿区百人町2-22-17 セラミックビル4F	03-3362-4195
宝石学会(日本)	東京都台東区上野3-20-8 小島ビル6F	03-3834-7057
(一社)繊維学会	東京都品川区上大崎3-3-9-208	03-3441-5627
(一社)日本繊維製品消費科学会	大阪府大阪市北区天満橋2-2-7-403	06-6358-1441
(一社)日本繊維機械学会	大阪府大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センタービル内	06-6443-4691
(公社)日本木材加工技術協会	東京都文京区後楽1丁目7-12 林友ビル	03-3816-8081
(一社)日本熱処理技術協会	東京都中央区日本橋茅場町3-2-10 鉄鋼会館6階	03-6661-7167
(一社)日本非破壊検査協会	東京都江東区亀戸2-25-14 立花アネックスビル10階	03-5609-4011
(一社)型技術協会	神奈川県横浜市中区太田町6-79 アブソルート横浜馬車道ビル201	045-224-6081
(一社)溶接学会	東京都千代田区神田佐久間町4丁目20番地 溶接会館6F	03-5825-4073
(公社)日本鑄造工学会	東京都港区芝浦4-15-33 芝浦清水ビル2F	03-6809-2303
(公社)日本金属学会	宮城県仙台市青葉区1番町1丁目14番32号	022-223-3685
(一社)表面技術協会	東京都千代田区神田岩本町4-9	03-3252-3286
(公社)高分子学会	東京都中央区入船3-10-9 新富町ビル6F	03-5540-3770
(公社)日本分析化学会	東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ304	03-3490-3351
(公社)精密工学会	東京都千代田区九段北1-5-9 九段誠和ビル2F	03-5226-5191
(一社)電気加工学会	東京都新宿区大久保2丁目4番地12号 新宿ラムダックスビル	03-5291-6231
(一社)日本機械学会	東京都新宿区信濃町35番地 信濃町煉瓦館5階	03-5360-3500
日本工芸技術協会	東京都渋谷区千駄ヶ谷5-2-3-402 (財)工芸財団内	03-3356-4966
ASEV 日本ブドウ・ワイン学会(アメリカ・日本)	山梨県甲府市北新1丁目13-1 山梨大学ワイン科学研究センター内	055-220-8658
(公社)日本ジュエリーデザイナー協会	東京都中央区八丁堀4-11-7 アライビル6F	03-3523-7344
(一社)日本デザイン学会	東京都杉並区西荻北3-21-15 ベルフォート西荻703	03-3301-9318
NPO法人ヒューマンインタフェース学会	京都府京都市下京区中堂寺栗田町93番地 京都リサーチパーク6号館3階	075-315-8475
(一社)日本人間工学会	東京都新宿区若葉1-10 大洋ビル4C	03-6380-6730
(一社)日本色彩学会	東京都杉並区阿佐谷南1-16-9 平野ビル3階	03-5913-7079
(公社)日本インダストリアルデザイン協会	東京都港区六本木5-17-1 AXISビル4F	03-3587-6391
日本感性工学会	東京都中央区日本橋浜町2-55-5 グランドハイツ1003	03-3666-8000
(公財)日本デザイン振興会	東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー5F	03-6743-3772
(一社)KEC関西電子工業振興センター	京都府相楽郡精華町光台3-2-2	0774-93-4563
(公社)日本化学会	東京都千代田区神田駿河台1-5	03-3292-6161
(一社)プラスチック成形加工学会	東京都品川区大崎5-8-5 グリーンプラザ五反田第2 205号室	03-5436-3822
(一社)情報処理学会	東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F	03-3518-8370
(公社)応用物理学会	東京都文京区根津1-21-5 応物会館	03-3828-7722
(一社)電気学会	東京都千代田区五番町6-2 HOMAT HORIZONビル8階	03-3221-7312
(一社)レーザ加工学会	大阪府茨木市美穂ヶ丘11-1 大阪大学 接合科学研究所	06-6879-8642
(一社)芸術科学会	東京都文京区大塚2-1-1 お茶の水女子大学 理学部情報科学科	-

(令和5年3月31日現在)

付-1 組織と業務

(令和5年4月1日現在)



付-2 職員名簿

(令和5年4月3日現在)

所長 丹沢 竜	[研磨・宝飾科]	デザイン技術部
管理・連携推進センター	主任研究員 宮川 和博	部長 金丸勝彦
センター長(兼1) 花形俊彦	専門員 佐野照雄	主任研究員 串田賢一
特別研究員(兼2) 河西伸一	研究員 佐藤貴裕	主任研究員 鈴木文晃
特別研究員 高尾清利	会計年度任用職員 山本季彦	研究員 佐藤博紀
研究管理幹 宮川和幸	会計年度任用職員 鶴田裕太	会計年度任用職員 数野真裕美
特別職非常勤 大丸明正	電子・システム技術部	会計年度任用職員 岡治美
総務課	部長 河野 裕	ワイン技術部
課長(事務取扱) 花形俊彦	[電子応用科]	主幹研究員・部長(兼1) 恩田 匠
主査(兼2) 矢野貴士	主任研究員 木島一広	主任研究員 木村英生
副主査 杉田洋輔	主任研究員 清水章良	主任研究員 小松正和
専門員 若林貴義	専門員 萩原茂	研究員 佐藤憲亮
主任 杉野巧	研究員 富永裕輝	会計年度任用職員 三科浩仁
会計年度任用職員 流石由香里	会計年度任用職員 和光順子	会計年度任用職員 窪田 守
会計年度任用職員 飯田恵子	[システム開発科]	富士技術支援センター
会計年度任用職員 中村澄香	主任研究員 布施嘉裕	センター長 吉村千秋
会計年度任用職員 芦沢由美子	専門員 阿部正人	副センター長 武川 守
企画連携推進部	研究員 中村卓	研究管理幹(兼1) 宮川和幸
主幹研究員・部長 恩田 匠	技師 保坂 響	
[総合相談・連携推進科]	材料・燃料電池技術部	繊維技術部
主任研究員 三井由香里	主幹研究員・部長 山田博之	主幹研究員・部長 渡辺 誠
主幹研究員(兼1) 勝又信行	[工業材料科]	[製品開発科]
研究員(兼1) 長田和真	主幹研究員 阿部 治	主幹研究員 望月威夫
[企画・情報科]	主任研究員 石田正文	主任研究員 尾形正岐
主任研究員 宮本博永	主任研究員 鈴木大介	専門員(兼1) 若林貴義
主任研究員 宮川理恵	研究員 深澤郷平	研究員 塩澤佑一朗
主幹研究員(兼1) 勝又信行	[化学・燃料電池科]	会計年度任用職員 渡邊直子
研究員 長田和真	主任研究員 三神武文	会計年度任用職員(兼1) 流石由香理
会計年度任用職員 馬場真奈美	主任研究員 上垣良信	[技術支援科]
甲府技術支援センター	主任研究員 芦澤里樹	主幹研究員 五十嵐 哲也
センター長 花形俊彦	研究員 宮澤航平	主任研究員 秋本梨恵
副センター長 岩間貴司	(燃料電池評価プロジェクト)	会計年度任用職員 勝俣久美
食品酒類・研磨宝飾技術部	研究員 川本鉄平	会計年度任用職員 高山美和
主幹研究員・部長 有泉直子	研究員 小林 誉	機械電子技術部
[食品酒類・バイオ科]	会計年度任用職員 加賀爪 広一	主幹研究員・部長 中村聖名
主任研究員 長沼孝多	会計年度任用職員 穴水弘一	[機械電子科]
主任研究員 尾形美貴	会計年度任用職員 平賀庸子	主幹研究員 勝又信行
主任研究員 橋本卓也	会計年度任用職員 丸山知子	主任研究員 古屋雅章
研究員 兼坂匡人	機械技術部	技師 渡邊慧輔
研究員 樋口かよ	主幹研究員・部長 佐野正明	[素材料]
(兼1): 所内兼務	主幹研究員 石黒輝雄	主任研究員 萩原義人
(兼2): 総合理工学研究機構と兼務	主任研究員 西村通喜	主任研究員 寺澤章裕
	主任研究員 小松利安	主任研究員 望月陽介
	主任研究員 早川 亮	
	主任研究員 米山 陽	
	研究員 坂本智明	
	会計年度任用職員 神澤隆彦	

付-3 職員配置

(令和5年4月3日現在)

	行政職							研究職										会計年度任用職員	合計					
	所長	センター長	副センター長	課長	主査	副主査	専門員	主任	センター長	副センター長	特別研究員	研究管理幹	特別職非常勤	主幹研究員・部長	部長	主幹研究員	主任研究員			専門員	研究員	技師		
山梨県産業技術センター	1																					1		
管理・連携推進センター		(1) ¹																				3	(2)	
総務課				(1) ¹	(1) ²	1	1	1														4	7	(2)
企画連携推進部														1									1	
総合相談・連携推進科																(1) ¹	1		(1) ¹			1	1	(2)
企画・情報科																(1) ¹	2		1			1	4	(1)
甲府技術支援センター		1																					2	
食品酒類・研磨宝飾技術部														1									1	
食品酒類・バイオ科																	3		2				5	
研磨・宝飾科																1	1	1				2	5	
電子・システム技術部															1								1	
電子応用科																	2	1	1			1	5	
システム開発科																	1	1	1	1			4	
材料・燃料電池技術部														1									1	
工業材料科																1	2		1				4	
化学・燃料電池科																	3		1				4	
(燃料電池評価プロジェクト)																			2			4	6	
機械技術部														1		1	4		1			1	8	
デザイン技術部															1		2		1			2	6	
ワイン技術部														(1) ¹			2		1			2	5	(1)
富士技術支援センター			1						1			(1) ¹											2	(1)
繊維技術部														1									1	
製品開発科							(1) ¹									1	1		1			1	4	(2)
技術支援科																1	1					2	4	
機械電子技術部														1									1	
機械電子科																1	1				1		3	
素材科																	3						3	
合計	1	1	1	(1) ¹	(1) ²	1	1	1	1	1	1	1	1	6	2	5	29	3	14	2	20	92		
		(1) ¹		(1) ¹	(1) ²		(1) ¹				(1) ²	(1) ¹		(1) ¹		(2) ¹		(1) ¹		(1) ¹	(11)			

(括弧)¹：所内兼務

(括弧)²：総合理工学研究機構と兼職

付-4 令和5年度予算

(令和5年4月1日現在)

区分	予算額 (単位:千円)	備考
技術支援 ・機器整備((公財)JKAによる補助事業) ・保有機器の保守・校正・修繕 ・やまなしテキスタイルブランド確立強化支援事業	77,829	
研究開発 ・経常研究 ・総理研研究 ・競争的資金研究 ・客員研究員事業費 ・成長戦略研究 ・受託研究 ・技術情報取得	53,793	
人材育成 ・ものづくり人材育成研修 ・講習会、研修会	3,090	
情報提供 ・研究報告、年報、センターニュース、デザイン情報紙の発行	1,430	
技術移転・事業化支援 ・フォローアップ、企業ニーズ対応試作開発	1,000	
職員職務発明特許出願費 ・特許等出願費、維持管理費	1,271	
地方創生推進交付金事業 ・県産ワイン・日本酒品質強化支援事業	28,956	事業期間 R4~R6
燃料電池評価解析技術高度化事業	51,654	事業期間 R2~R6
その他 管理費等(会計年度任用職員等人件費、庁舎管理費 等)	290,639	
計	509,662	

※正規職員人件費を除く

2023

令和4年度年報

発行日 令和5年9月29日

発行 山梨県産業技術センター

〒400-0055
山梨県甲府市大津町2094
Tel 055-243-6111
Fax 055-243-6110

印刷 (株)少國民社

〒400-0851
山梨県甲府市住吉1-13-1
Tel 055-226-2125
Fax 055-231-2100

